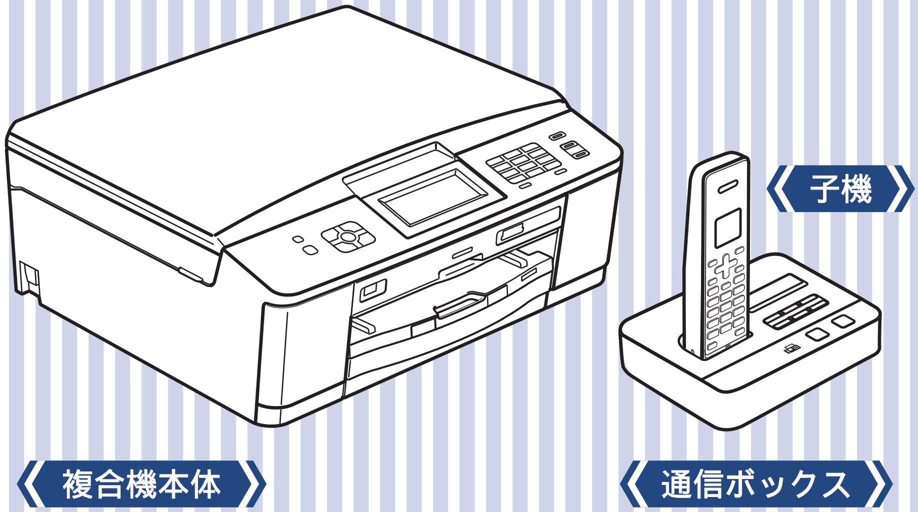
brother

MFC-J810DN/J810DWN
MFC-J860DN/J860DWN
ユーザーズガイド
－基本編－



CD-ROM収録のユーザーズガイドもご活用ください

付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。
あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

1ページ

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 第9章「こんなときは」で調べる 191ページ

2 ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる

サポート ブラザー　検索　▶ http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version A JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	付属 CD-ROM内のユーザーズガイドの見かた ⇒ 1 ページ
5. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式） ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 6 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	サポートサイト http://solutions.brother.co.jp/
モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF 形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリント ™ サービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
AirPrint ガイド（PDF 形式） パソコンを介さずに、iOS を搭載した携帯端末からデータを直接印刷する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属の CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。
スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXXX*1］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

*1 「XXXX」はモデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、「マイ コンピュータ（コンピューター）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする



3 ［画面で見るマニュアル　PDF形式］をクリックする



収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [ユーザーズガイド] をダブルクリックする



3 [top.pdf] をダブルクリックする

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

目次

付　録 279

その他 .... CD-ROM

付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください
●プリンター
●スキャナー
● PC-FAX
●メモリーカードアクセス
●リモートセットアップ
● RSS 設定（MFC-J860DN/J860DWN のみ）
● ControlCenter

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があり、かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J810DN、MFC-J810DWN、MFC-J860DN、MFC-J860DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト / 画面

本書では本製品や操作パネルおよび画面の説明に、MFC-J860DN のイラストを使用しています。

編集ならびに出版における通告

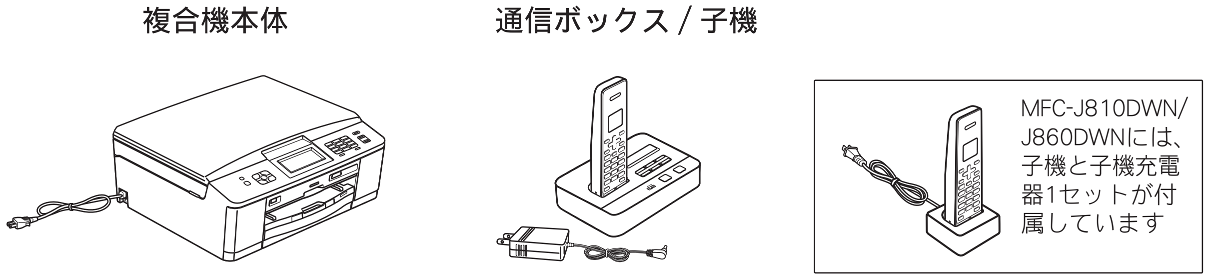
本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 269 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

本製品のしくみと特長

本製品は、複合機本体と通信ボックス、子機で構成されています。
（各部の名称については第 1 章で詳しく説明しています。）

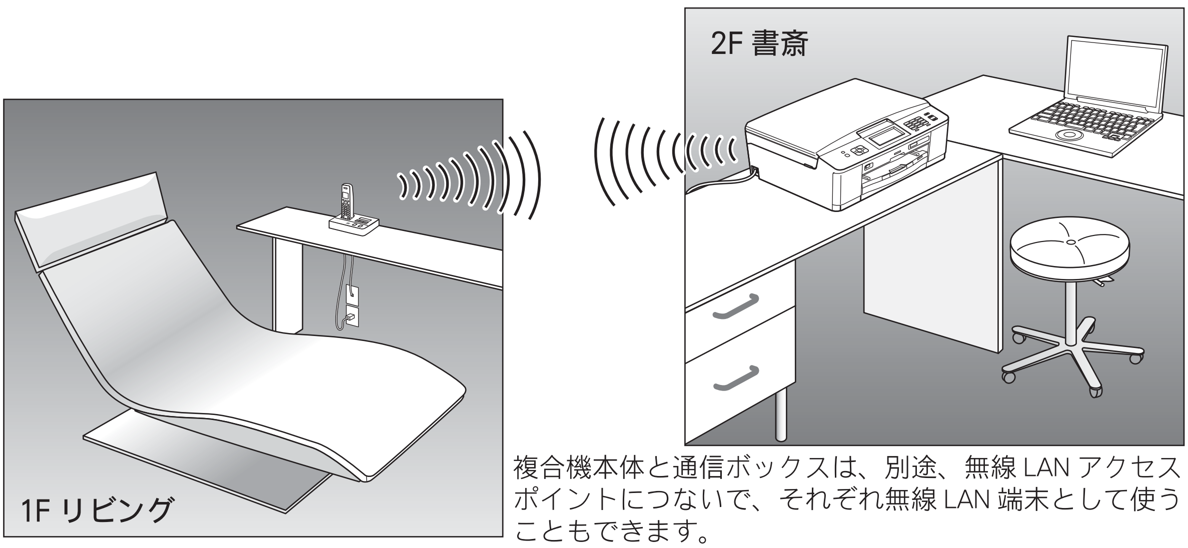


各部が受け持つ機能は次のとおりです。

複合機本体	通信ボックス / 子機	子機
・コピー	・電話	・電話
・スキャナー	・留守番電話	
・ファクス送受信（設定・操作）	・ファクス送受信（通信）	
・デジカメプリント		
・プリンター		

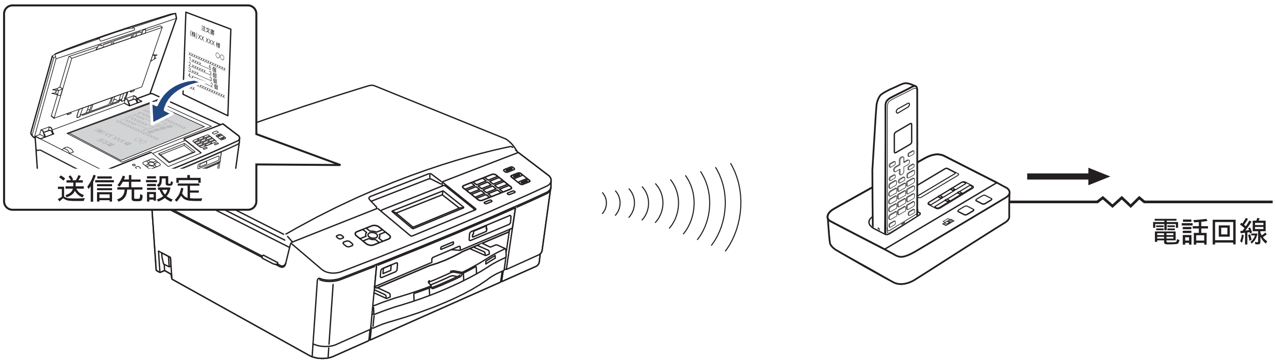
ファクス付き複合機の『置き場所フリー』を実現！

従来のファクス機能付き複合機は、電話回線をつなぐ必要性があり、場所を取る複合機を電話回線差し込み口の近くに置かなければならなかったり電話機コードを延長したりして、設置場所に制約がありました。
しかし、本製品は、複合機本体に電話回線を接続する必要がありません。電話回線は、場所を取らない通信ボックスに接続すれば OK。両者は、ファクスデータを無線通信で受け渡しします。操作は従来のファクスと変わりません。
今後は、電話回線接続から解放された複合機本体を、ご家庭や事務所のどこにでも自由に設置していただけます。



複合機本体と通信ボックスは、別途、無線 LAN アクセスポイントにつないで、それぞれ無線 LAN 端末として使うこともできます。

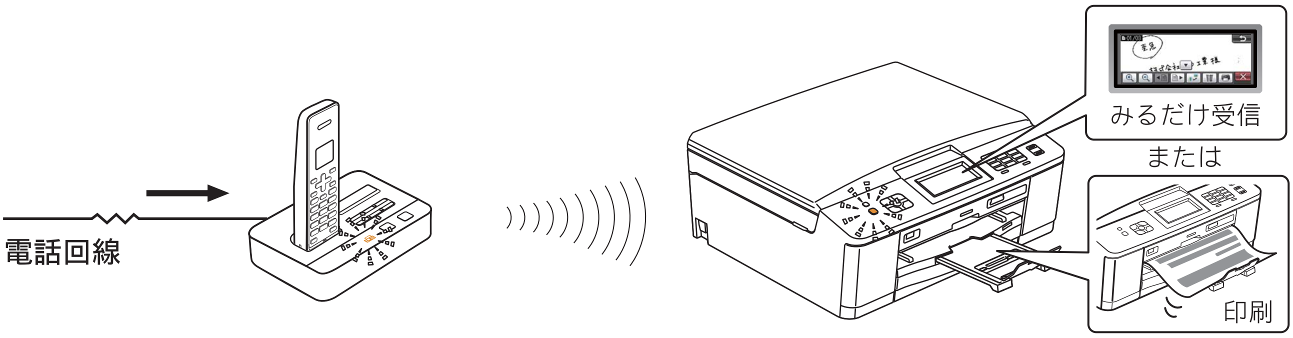
ファクスを送るとき



①原稿データは、複合機本体で読み取っていったんメモリーに保存したのち、自動的に通信ボックスに転送されます。

②通信ボックスが原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。

ファクスを受けるとき



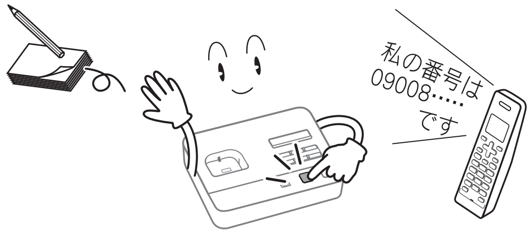
①ファクスが送られてくると通信ボックスで受信して、いったんメモリーに保存したのち、自動的に複合機本体に転送されます。

②ファクスデータを受け取ります。

本製品ではこんなことができます

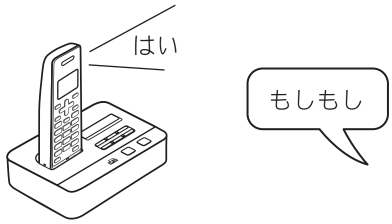
■ 電話を便利に使う

● 通話を録音する



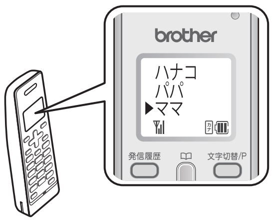
63 ページ

● 子機を持たずに電話する（スピーカーホン）



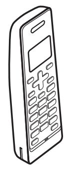
64 ページ

● 電話帳や履歴から電話をかける



63 ページ
64 ページ

● 通話中のいろいろな機能

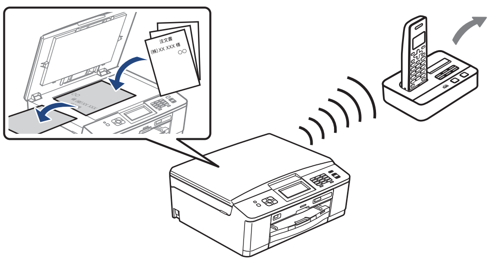


- 迷惑電話を拒否する
- スピーカーホンに切り替える
- プッシュホンサービスを利用する
- 受話音質を調節する
- 内緒話モードにする

70 ページ
65 ページ

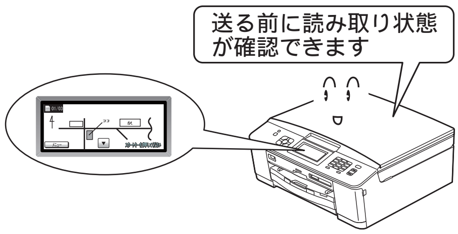
■ ファクスを送る

● 複数枚の原稿をメモリーに読み取ってから送る



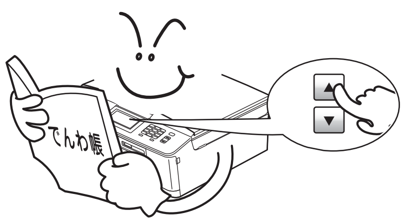
79 ページ

● 読み取った原稿を画面で確認してから送る



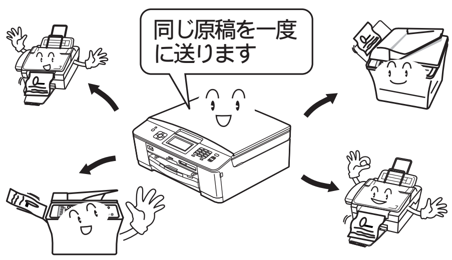
81 ページ

● 電話帳から相手を選んで送る



84 ページ

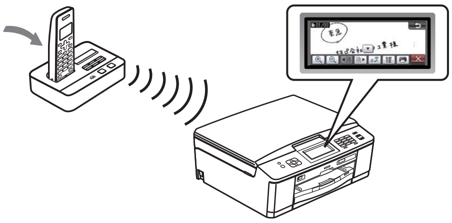
● 一度の操作で複数の相手に送る



88 ページ

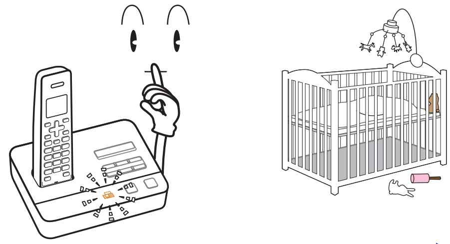
■ ファクスを受ける

● ファクスを画面で見る（みるだけ受信）



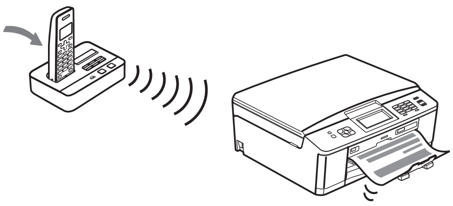
95 ページ

● 着信音を鳴らさず自動で受ける



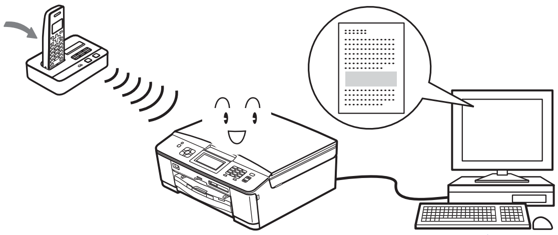
33 ページ

● ファクス受信後、自動的に印刷する（みるだけ受信しない）



97 ページ

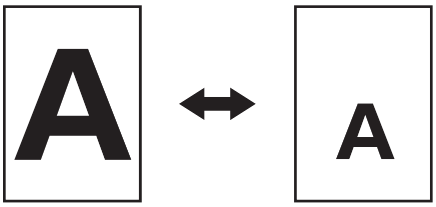
● 受信したファクスをパソコンに転送する



100 ページ

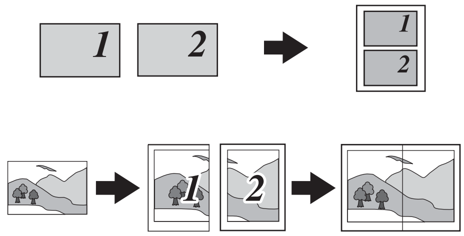
■ コピーする

● 拡大 / 縮小コピーする



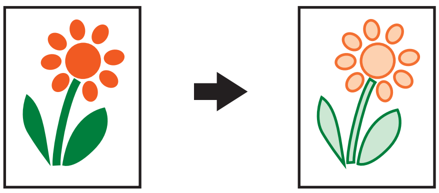
141 ページ

● N in 1 コピー / ポスターコピーする



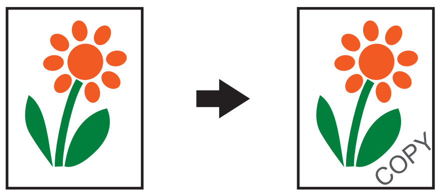
142 ページ

● インク節約モードでコピーする



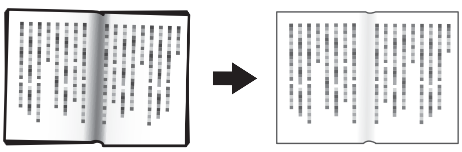
147 ページ

● 文字や写真をコピーに重ねる（透かしコピー）



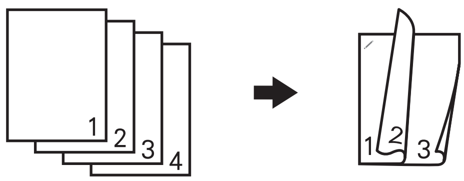
150 ページ

● 綴じられた原稿をきれいにコピーする（ブックコピー）



149 ページ

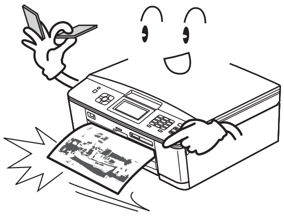
● 両面コピーする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）



145 ページ

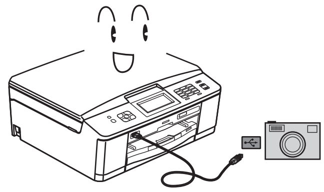
■ 写真をプリントする

● メモリーカードに保存されている写真をプリントする



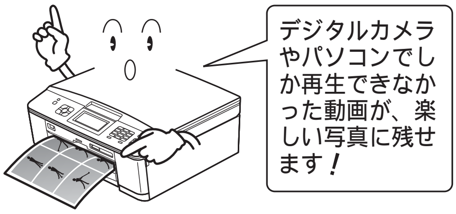
160 ページ

● デジタルカメラから直接プリントする（PictBridge）



172 ページ

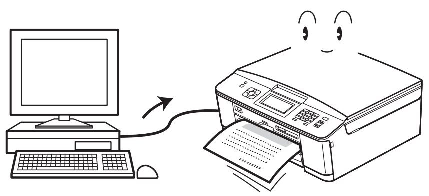
● 動画を 9 分割の写真としてプリントする



159 ページ

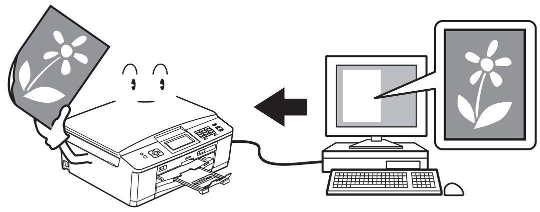
■ プリンターとして使う

● パソコンと接続してプリンターとして使う



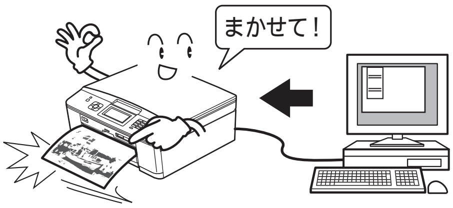
パソコン活用編（CD-ROM）

● 記録紙いっぱいに印刷する（ふちなし印刷）



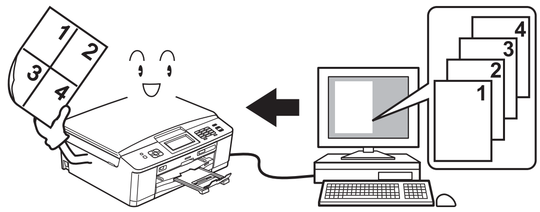
パソコン活用編（CD-ROM）

● 登録されている設定パターンを使って印刷する（おまかせ印刷）



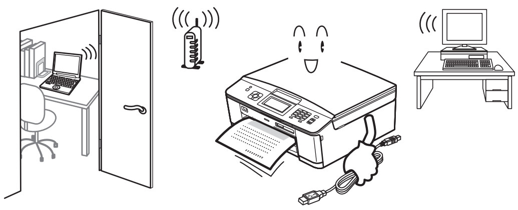
パソコン活用編（CD-ROM）

● 1 枚の記録紙に複数ページを並べて印刷する（レイアウト印刷）



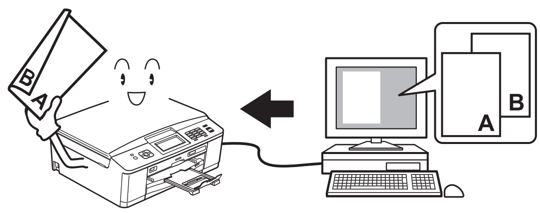
パソコン活用編（CD-ROM）

● ワイヤレスでネットワークプリンターとして使う



パソコン活用編（CD-ROM）

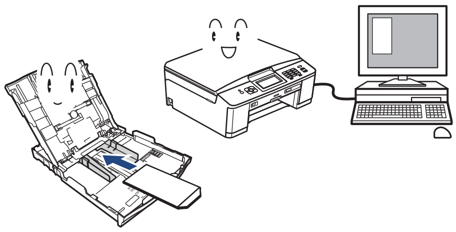
● 自動両面印刷する（MFC-J860DN/J860DWN のみ）



パソコン活用編（CD-ROM）

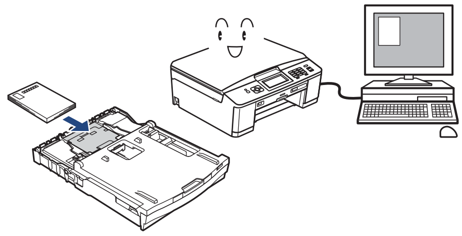
■ 封筒やはがきに印刷する

● 封筒に印刷する



41 ページ

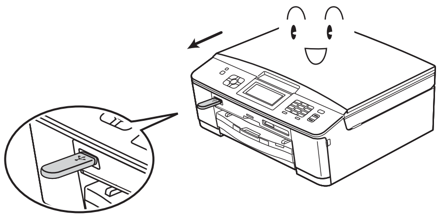
● はがき（年賀状）に印刷する



270 ページ

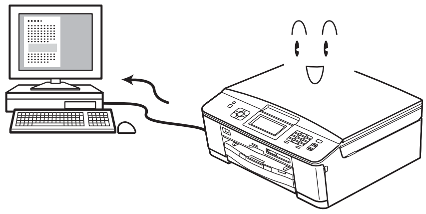
■ スキャナーとして使う

● 原稿をスキャンしてメディアに保存する



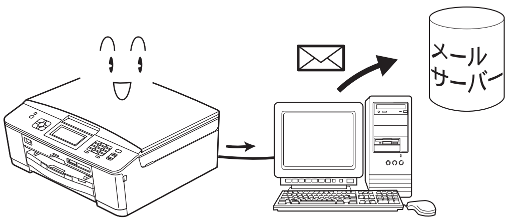
174 ページ

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する



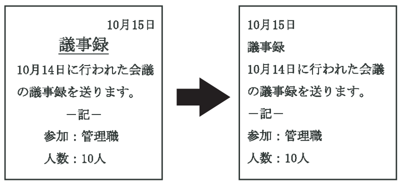
パソコン活用編（CD-ROM）

● 原稿をスキャンして E メールで送る



パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャンした原稿の中の文章をテキストデータに変換してパソコンに保存する



パソコン活用編（CD-ROM）

● 複数枚の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）



175 ページ

■ レーベルプリントする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

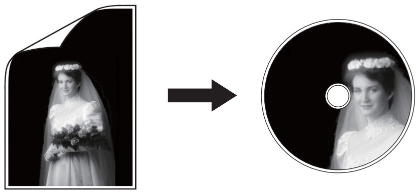
記録ディスクのセット方法については、下記をご覧ください。
⇒ 49 ページ「記録ディスクをセットする」

● 既存のディスクレーベルをそのままコピーする



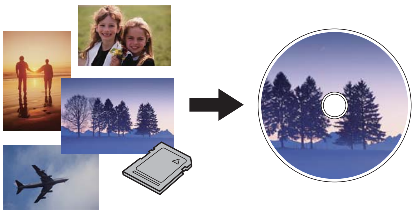
パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真やポストカードをディスクにコピーする



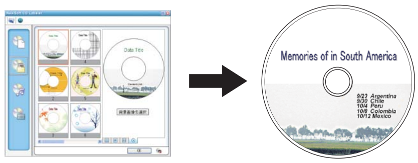
パソコン活用編（CD-ROM）

● メモリーカードやUSBフラッシュメモリーから写真を選んでプリントする



パソコン活用編（CD-ROM）

● 付属のソフトウェア「NewSoft CD Labeler」でレーベル面をデザインして、パソコンからプリントする



パソコン活用編（CD-ROM）

※市販のディスクやポストカードなどから複製したディスクは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上 、権利者に無断で使用できません。

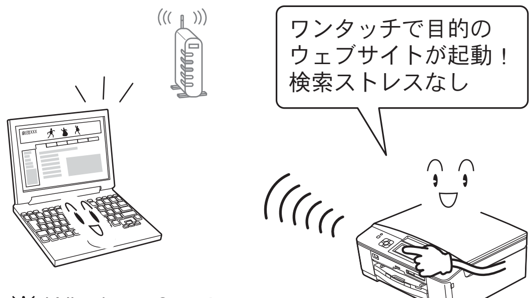
■ RSS を楽しむ（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

● 画面上に RSS を表示させ、お気に入りのウェブサイトやブログの最新情報を取得する



178 ページ

● 気になる RSS 記事はパソコンでウェブサイトを起動して読む（PC で閲覧）

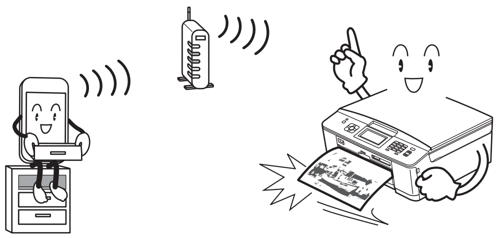


※ Windows®のみ

186 ページ

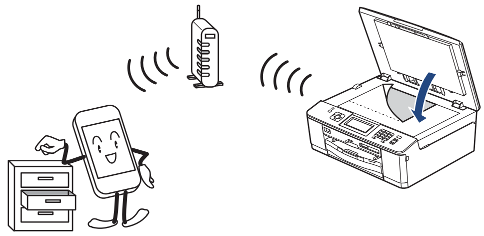
■ 携帯端末とアクセスする

● 携帯端末上のデータを本製品で印刷する



モバイルプリント&スキャンガイド（ダウンロード）

● 本製品でスキャンしたデータを携帯端末に送る



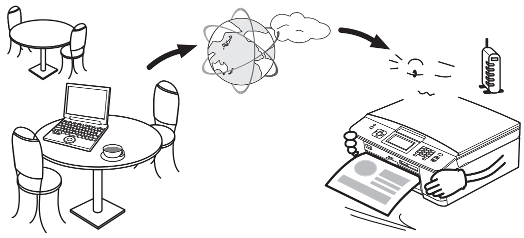
モバイルプリント&スキャンガイド（ダウンロード）

● iOS 端末から、AirPrint 機能を利用してデータを印刷する



AirPrint ガイド（ダウンロード）

● Google アカウントを本製品に登録し、Google クラウド プリント™サービスを利用してデータを印刷する



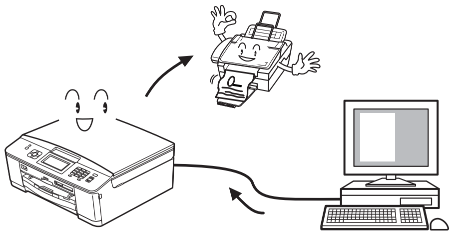
Google クラウド プリントガイド（ダウンロード）

※各マニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

■ その他

● パソコンからファクスを送る
［PC-FAX 送信］

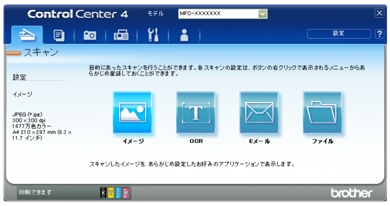
パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。



パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡単に起動する
［ControlCenter］

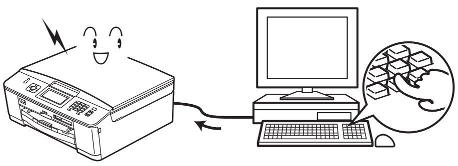
プリンタードライバーと同時にインストールされる「ControlCenter」は、パソコンの画面上でスキャンや写真プリント、PC ファクスの設定および実行が簡単にできるソフトウェアです。



パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品の設定をパソコンから変更する
［リモートセットアップ］

パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更したりできます。



パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真をプリント／加工する
［FaceFilter Studio］

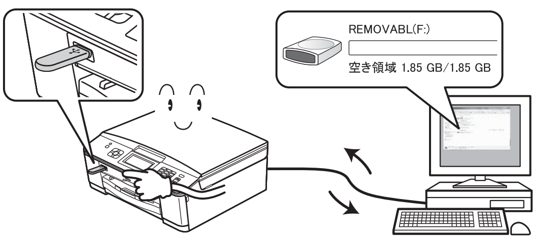
写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。（Windows® のみ）



パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する
［リムーバブルディスクドライブ］

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、パソコン上で［リムーバブル ディスク］として使用できます。



※リムーバブルディスクドライブとして使用できるのは、USB 接続した場合のみです。パソコンから、ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。

158 ページ

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

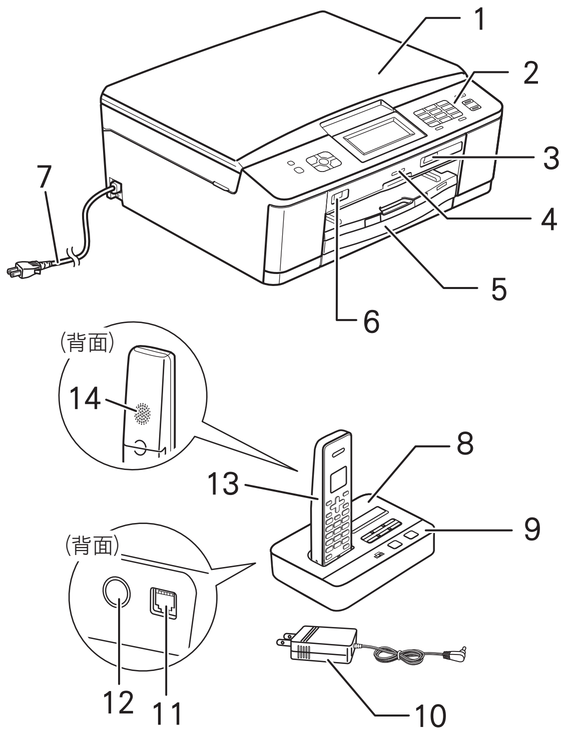
お好みで設定してください

各部の名称とはたらき

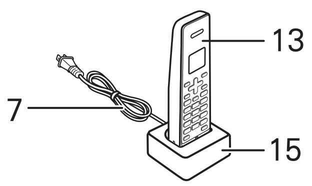
かならずお読みください

全体図

外観



MFC-J810DWN/J860DWNには子機と子機充電器1セットが付属します



複合機本体	
1	原稿台カバー
2	操作パネル
3	カードスロット
4	ステータスランプ • 点灯：電源オン • 消灯：電源オフ • 点滅：メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの読み込みまたは書き込み中です。点滅中はメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。
5	記録紙トレイ
6	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
7	AC 電源コード
通信ボックス / 子機	
8	通信ボックス
9	操作パネル
10	AC アダプター
11	電話回線接続端子
12	AC アダプタープラグ差し込み口
13	子機
14	スピーカー
子機充電器	
15	子機充電器

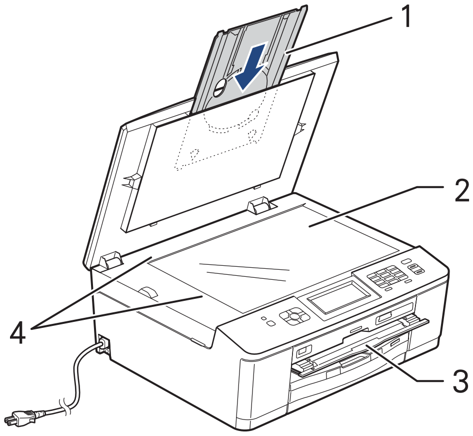
複合機本体の電源が入っていない（操作パネル上の On/Off を押して、電源オンになっていない）場合は、以下の機能が使用できなくなります。

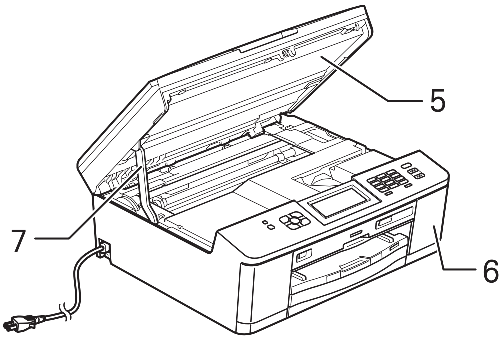
- ファクス / コピー / デジカメプリント / スキャン
- パソコンからの印刷
- レポート印刷
- （MFC-J860DN/J860DWN のみに搭載）RSS/ レーベルプリント

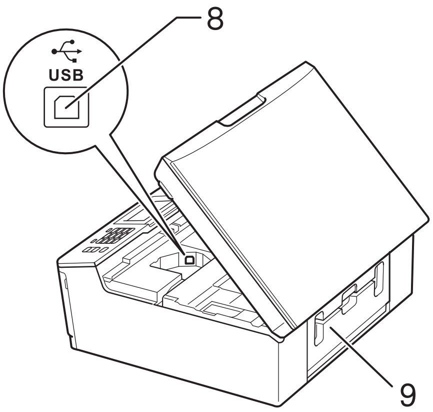
通信ボックスの電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行います。電源プラグが抜かれているときは、以下の機能が使用できなくなります。電話機コードが接続されているだけでは電話はつながりません。

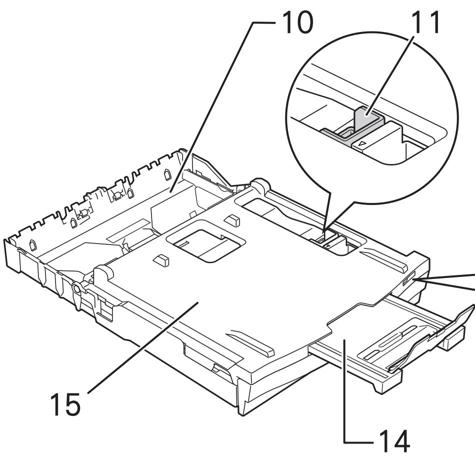
- ファクス
- 電話 /（子機が 2 台以上ある場合の）内線通話

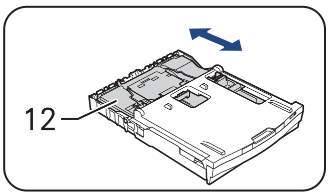
内部

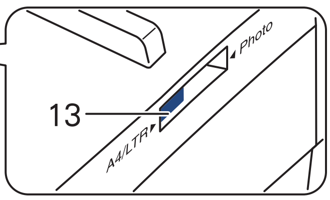








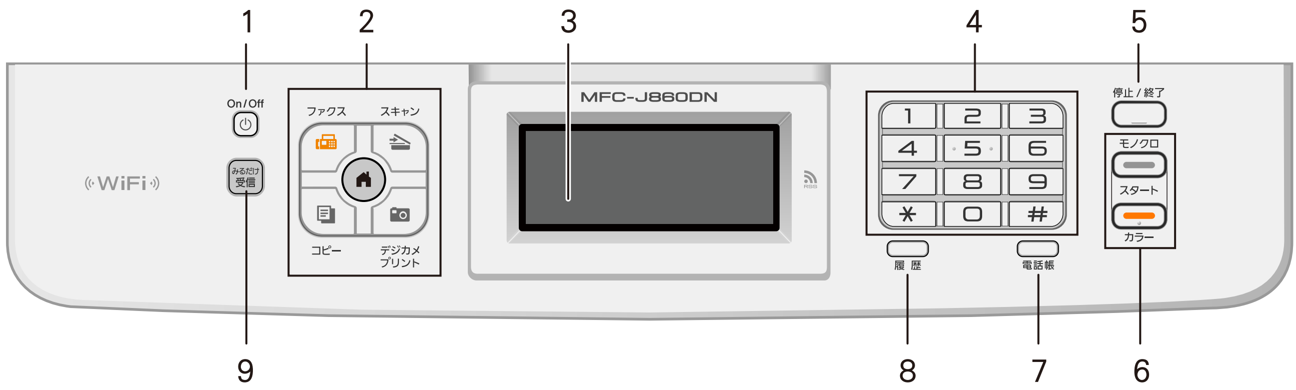




1	ディスクトレイ（MFC-J860DN/J860DWNのみ）
2	原稿台ガラス
3	ディスクガイド（MFC-J860DN/J860DWNのみ） レーベルプリントを行うときに引き出して、ディスクトレイをセットします。ディスクトレイを正しい位置に引き込むための部品です。
4	原稿ガイド
5	本体カバー
6	インクカバー（インク挿入口）
7	カバーサポート
8	USB ケーブル差し込み口
9	紙づまり解除カバー
10	記録紙トレイ
11	リリースボタン
12	スライドトレイ L 判記録紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでカバー部分を奥にスライドさせます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。
13	給紙トレイマーカー 記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかを示します。
14	記録紙ストッパー
15	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。

複合機本体

操作パネル



1	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。
2	モードボタン	ファクス / スキャン / コピー/ デジカメプリントの各モードに切り替えます。中央の を押すと、待ち受け画面に戻ります（動作中は無効）。 点灯しているボタンが現在選択されているモードです。
3	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。 画面に直接タッチして各設定を行います。 4 段階で角度調整できます。
4	ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、コピー部数を入力するときに押します。
5	停止 / 終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
6	モノクロ / カラースタートボタン	ファクス、コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
7	電話帳ボタン	電話帳登録や登録済みの相手先リストを検索するときに押します。
8	履歴ボタン	発信履歴、着信履歴（ナンバーディスプレイ機能を契約している場合のみ表示可能）を表示させるときに押します。履歴から直接電話帳に登録したり、ファクス送信したりできます。
9	みるだけ受信ボタン / ランプ	「みるだけ受信」に設定するときに押します。また、「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスを受信するとボタンが点滅します。受信したファクスの内容を確認するときに押します。

■ 電源のオン / オフのしかた

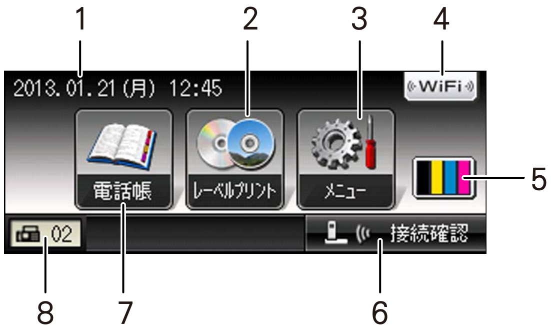
- オンにするとき：On/Off を押す
- オフにするとき：On/Off を 2 秒以上押す

■ 電源とヘッドクリーニングについて

本製品は、電源ボタンでオフにしていても、電源プラグが接続されているときは自動でヘッドクリーニングが行われます。これは、本製品の印刷品質を維持するための機能です。定期的にヘッドクリーニングを行って印刷品質を維持するため、電源プラグは抜かないで本製品をご利用ください。なお、ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。

⇒ 203 ページ「定期メンテナンスについて」

待ち受け画面



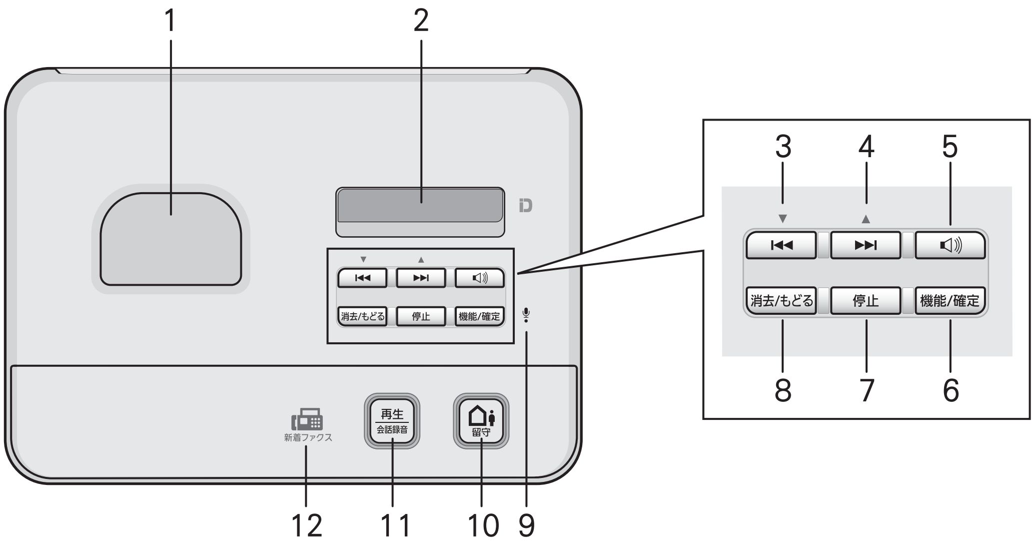
1	日時 / メッセージ表示	現在の日時および曜日が表示されます。2 分半に 1 回、通信ボックスで設定されている時刻に合わせる同期機能が働きます。 ⇒ 26 ページ「時計の同期機能について」 ファクスの着信があった場合やエラーが発生した場合などは、メッセージを表示してお知らせします。 メッセージが重複した場合は交互に表示します。
		エラーが発生したり、保守の必要がある場合は、このアイコンとともにメッセージが表示されます。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。⇒ 220 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。【×】を押すと待ち受け画面に戻ります。
		みるだけ受信が設定されている場合に、ファクスを受信すると、このアイコンとともに新着ファクスの件数が表示されます。
	 (MFC-J860DN/J860DWN のみ)	【RSS】を【オン】に設定すると常時表示されます。画面の最上部には、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが流れて表示されます。
2	レーベルプリントボタン (MFC-J860DN/J860DWN のみ)	レーベルプリントメニューを表示させるときに押します。
3	メニューボタン	メインメニューを表示させるときに押します。
4	Wi-Fi 設定用ボタン / 無線 LAN 電波強度	Wi-Fi 設定を行うときに押します。(Wi-Fi 接続されていることを示す表示ではありません。)接続中は電波強度を 4 段階( )で表示します。
5	インク残量表示 / インクメニューボタン	ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクメニューが表示されます。
6	接続状態確認ボタン	複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認するときに押します。
7	電話帳ボタン	登録されている宛先や短縮ダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。
8	メモリーに保存されている受信ファクス件数の表示	「みるだけ受信」および「メモリー受信」でメモリーに保存されている受信ファクスの件数を表示します。

確認

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。先のとがったもの、ペンなどを使用するとタッチパネルの損傷や汚れの原因になります。

通信ボックス

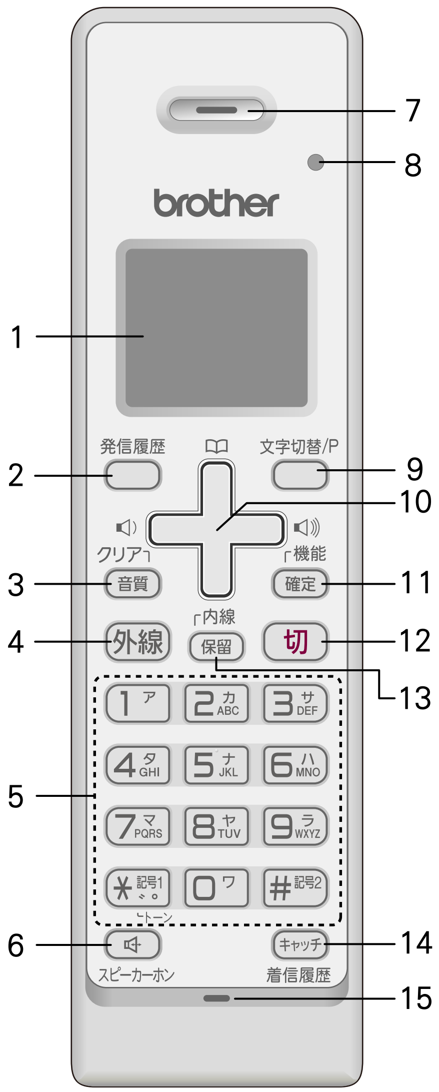
操作パネル



1	充電器	子機を置いて充電します。
2	画面	通信ボックスの各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。 無操作のまま 5 分が経過すると、画面が暗くなり、待機状態（スリープモード）になります。
3	次項目選択またはメッセージ頭出しボタン	メニュー操作時：項目を選択するときに押します。 音声再生時:再生中のメッセージの頭出しをするときに押します。2 度押しで前のメッセージの頭出しをします。
4	前項目選択またはメッセージスキップボタン	メニュー操作時：項目を選択するときに押します。 音声再生時：次のメッセージにとばすときに押します。
5	音量ボタン	音声再生時：再生音量を調節します。 臨時着信時：スピーカー音量を調整します。 ⇒ 272 ページ「子機が使用できないときは（臨時着信）」
6	機能 / 確定ボタン	メニュー操作を開始するとき、また項目選択後、内容を確定するときに押します。
7	停止ボタン	メニュー操作時：操作を中止するときや設定を終了するときに押します。 音声再生時：メッセージの再生を中止するときに押します。 会話録音時：録音を中止するときに押します。
8	消去 / もどるボタン	メニュー操作時：入力中の値を 1 桁消去するときに、項目決定後には 1 つ前の階層に戻るときに押します。 音声再生時：再生中のメッセージを消去するときに押します。 ⇒ 127 ページ「音声メッセージを確認する」 無操作時：メモリー内の音声メッセージを一括消去するときに押します。
9	マイク	応答メッセージの録音や臨時着信用の送話口として使用します。 ⇒ 124 ページ「応答メッセージを録音する」 ⇒ 272 ページ「子機が使用できないときは（臨時着信）」
10	留守ボタン	留守モードにするとき、留守モードを解除して未再生のメッセージを聞くときに押します。 ⇒ 126 ページ「留守番機能をセットする」
11	再生 / 会話録音ボタン	電話中の会話を録音するときや、メモリー内のメッセージを再生するときに押します。
12	ファクス受信ランプ	ファクス受信時に点滅します。

子機

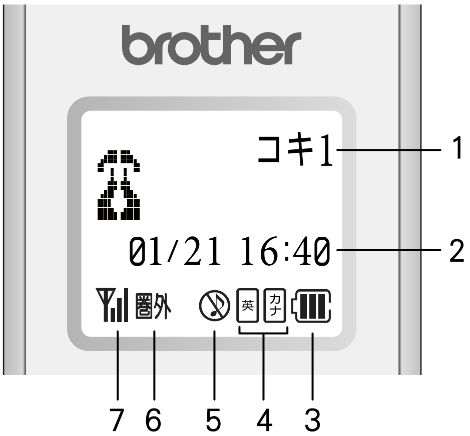
操作パネル



1	画面	子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
2	発信履歴ボタン	最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。
3	クリア / 音質ボタン	文字を消すときと、通話中、相手の声の聞こえかたを調整するときに押します。
4	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号 1/ トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号 2 ボタン	記号を入力するときに押します。
6	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
7	受話口	相手の声が聞こえます。
8	充電表示ランプ	充電中に点灯します。充電が終わると消灯します。
9	文字切替 /P ボタン	文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押します。
10	マルチセレクトボタン	上下を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン	電話帳を表示するときに押します。
	音量ボタン	着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに左右を押します。
11	機能 / 確定ボタン	各機能を設定するとき、設定内容を確定するときまたは通話中にメッセージを流して通話を拒否するときに押します。
12	切ボタン	電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
13	内線 / 保留ボタン	内線通話をするとき、または保留にして相手にメロディを流すときに押します。
14	キャッチ / 着信履歴ボタン	キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
15	マイクと送話口	子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

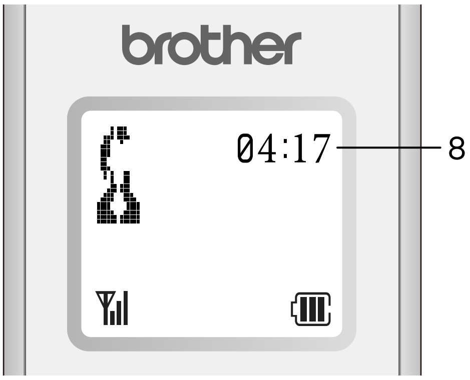
画面

ー非接続中/各種設定中ー



※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

ー外線接続中ー



1	内線番号（子機名）	
2	日時表示	
3	（バッテリー表示）	バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリー残量の目安〉 ：20%以上　：20%未満 ：10%未満　：要充電
4	英 カナ	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は（文字切替/P）を押して切り替えます。 英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。 カナ：半角カタカナが入力できます。
5	（着信音OFF表示）	着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
6	圏外	電波の届かない場所にいるときに表示されます。
7	（電波表示）	通話中の電波の状態が表示されます。の数が多いほど、電波状態が良好です。
8	外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の（外線）を押してからの経過時間）	

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは設定し直してください。
また、通信ボックスに「カイセンシュベツ　ヲ　セッテイシテクダサイ」というメッセージが表示された場合にも、下記の手順で手動設定を行ってください。

回線種別を設定する

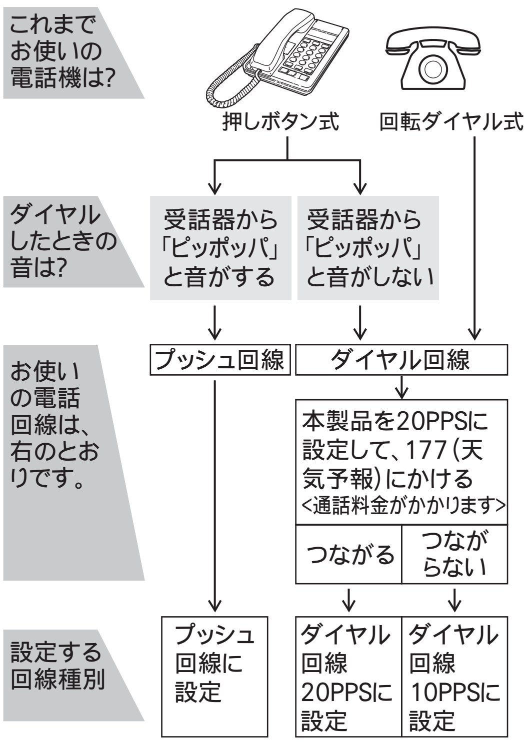
［カイセンシュベツ　セッテイ］

通信ボックスの設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

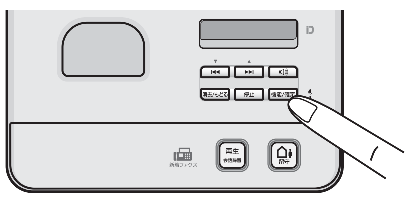
1 通信ボックスから子機を取り、「ツー」という音が聞こえることを確認して、子機を戻す

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
  ⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 回線種別を確認する



3 通信ボックスの 機能/確定 を押す



4 ⏮/⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

5 ⏮/⏭ で【2. カイセンシュベツ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

6 ⏮/⏭ で回線種別を選び、機能/確定 を押す

> 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ　カイセン】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
>
> ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ　カイセン】に設定してください。

設定が有効になります。

7 停止 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）などにつながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

日付と時刻を設定する

時計の同期機能について

本製品は、複合機本体、通信ボックス、子機のそれぞれが個別に時計機能を持っています。時刻にはそれぞれ下表のような用途があります。必要に応じて設定を行ってください。ただし、複合機本体と通信ボックスは 2 分半に 1 回、互いのデータを共有しあう同期機能が働くため、通信ボックスの時刻は設定する必要がありません。

複合機本体	複合機本体画面の時刻表示、スキャンした画像に自動で付けられるファイル名の中 6 桁、ファクスの発信履歴
通信ボックス	通信ボックスの時刻表示
子機	子機画面の時刻表示

複合機本体の時計を設定する

通信ボックスとの接続確認後、複合機本体で時計を設定します。複合機本体で時計を設定すれば、通信ボックスの時計も自動的に設定されます。

確認

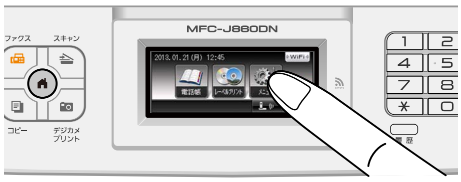
- 通信ボックスとの時刻誤差が 2 分未満のときは同期されません。
- 時計の設定は、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されていなければ行えません。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止/終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止/終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【時計セット】を押す

年の入力画面が表示されます。



5 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

例：2013 年の場合は、【1】【3】と押します。

> 日付や時刻を間違って入力したときは、【×】を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、【OK】を押す

例：1 月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

7 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

例：21 日の場合は、【2】【1】と押します。

時刻の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、【OK】を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、【1】【2】【4】【5】と押します。

日付と時刻が設定されます。

9 停止/終了 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



> 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。
>
> 時計設定がしてあっても、発信元登録をしないと、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

通信ボックスで時計を設定するには

複合機本体の時計を設定すると、通信ボックスの時計も自動的に設定されるため、通信ボックス単体で時計設定をする必要はありません。
ただし、（複合機本体と通信ボックス間の 2 分半に 1 回の同期機能が働いても）、2 台の時刻誤差が 2 分を超えるまでは、時計は同期しないため、誤差が気になるかたは、通信ボックスで時計設定をしてください。

(1) 通信ボックスの 機能/確定 を押す

(2) ▼⏮ / ▲⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 押す

(3) ▼⏮ / ▲⏭ で【1. トケイセット】を選び、機能/確定 押す

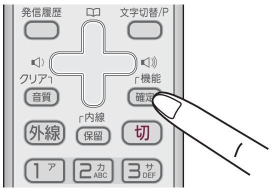
(4) ▼⏮ / ▲⏭ で西暦の下 2 桁を設定し、機能/確定 押す

(5) 手順（4）と同様の手順で、「月」、「日」、「時」、「分」を入力する

(6) 停止 を押して設定を終了する

子機の時計設定

1 子機の 機能/確定 を押す



2 ✚ で「トケイセッテイ」を選び、機能/確定 を押す

3 日付を入力し、機能/確定 または ✚ を押す

例：2013 年 1 月 21 日の場合

[1ア] [3サDEF] [0ワ] [1ア] [2カABC] [1ア] と押します。

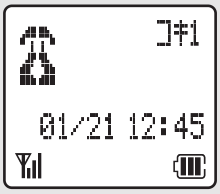
4 時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、機能/確定 を押す

例：12 時 45 分の場合

[1ア] [2カABC] [4タGHI] [5ナJKL] と押します。

5 切 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



- 数字を入れ間違えたときは、✚ で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

電話とファクスの受信設定

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。30 ページから 35 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

在宅モード：留守番機能がセットされていないとき

着信音が7回鳴る



- 着信音が鳴っているあいだに電話に出たとき → 回線がつながる
  ※ここから相手に料金がかかります。
  - 電話のとき → 通話
  - ファクスのとき
    - そのまま7秒待つ → ファクスを自動受信（親切受信）
    - 手動で受ける → 通信ボックスの ▲ ▶▶| を押し、「ジュシン　シマスカ？」「▼　ハイ　▲　イイエ」と表示されたら ▼ |◀◀ を押して受信
- 電話に出ないとき → 自動的に回線がつながる
  ※ここから相手に料金がかかります。
  - 電話のとき → 再呼出音が鳴る
    電話に出なければ、約20秒後に在宅応答メッセージを流し、再呼び出しから約30秒で回線が切られます。
  - ファクスのとき → ファクスを自動受信

子機の着信音をメロディに設定しても、再呼び出しからは通信ボックスでもベル音が鳴ります。

7 回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。このとき電話に出ないでいると、約 20 秒後に「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを流し、再呼び出し開始から約 30 秒で回線が切れます。

留守モード：通信ボックスの留守ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき

着信音が5回鳴る

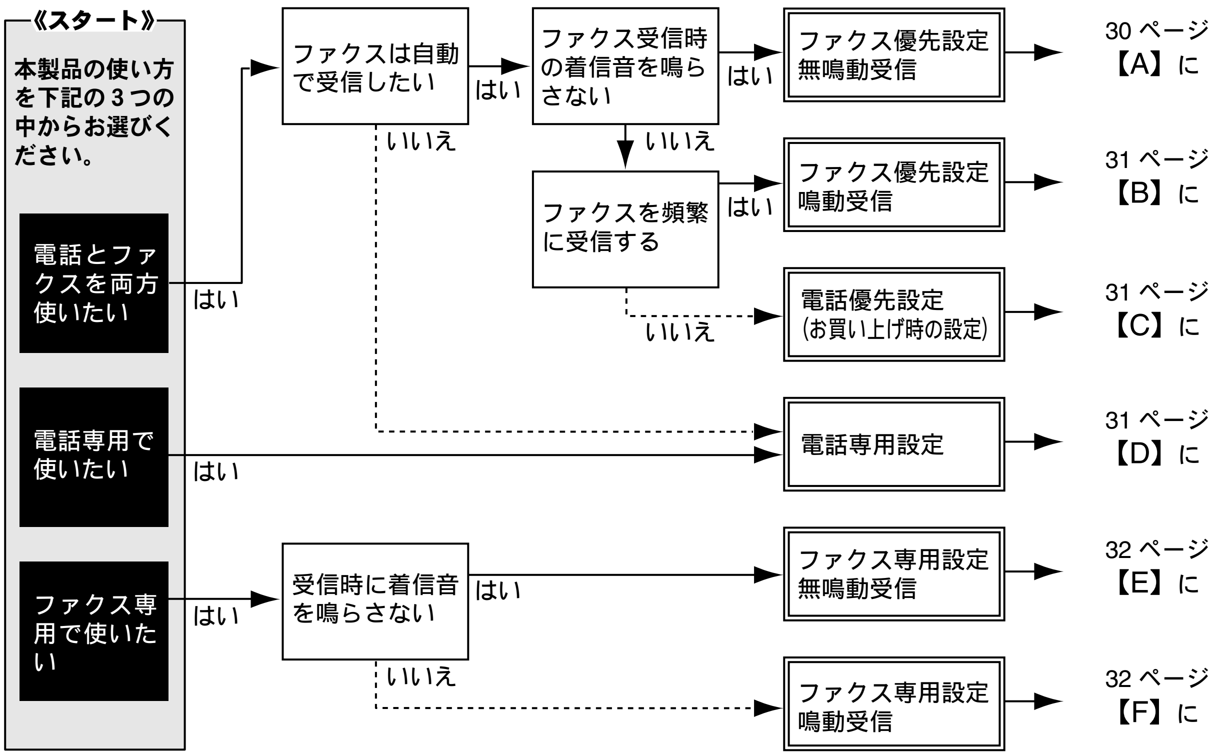


→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。
- 電話のとき → 留守応答メッセージが流れる
  （相手からのメッセージを録音して回線を切る）
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

5 回の着信音が鳴ったあとに自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

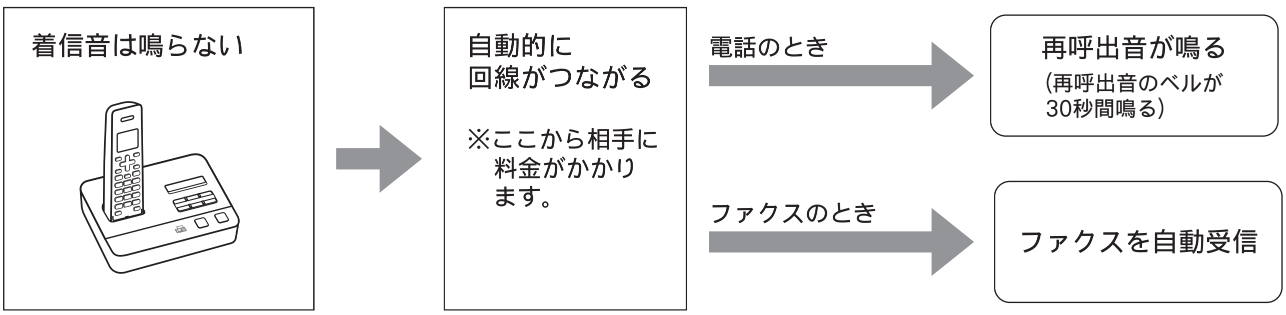
電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

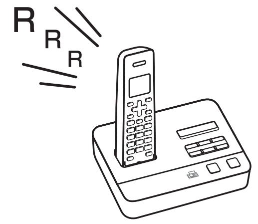
無鳴動受信を設定します。
⇒ 33 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）」



【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン】に設定します。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 35 ページ「再呼出の設定をする」
例 : 呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン】、再呼出音を【相手にベル】、再呼出時間を【20 秒】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



→ 自動的に回線がつながる

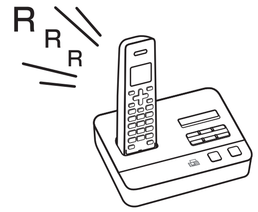
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが20秒間鳴る）
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信を知らせる呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン】に設定します。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 35 ページ「再呼出の設定をする」
例 : 呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン】、再呼出音を【相手にベル】、再呼出時間を【70 秒】に設定した場合

着信音が鳴る（8回）



→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

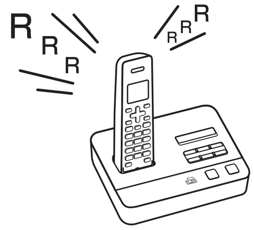
- 電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが70秒間鳴る）
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

回線が自動的につながる前に子機をとって、相手がファクスだった場合は、ファクスを手動で受信してください。
⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」

【D】電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信を知らせる呼出回数を【無制限】に設定します。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」

着信音が鳴り続く



→ 子機をとる → 回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

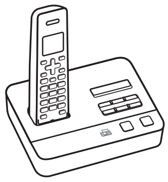
- 電話のとき → 通話
- ファクスのとき → ▲ [▶▶I] を押し、「ジュシン　シマスカ？」「▼　ハイ　▲　イイエ」と表示されたら ▼ [I◀◀] を押して受信

親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）にしていると、子機をとったときに相手がファクスだった場合、子機を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受けることができます。
⇒ 93 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

【E】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オフ】に設定します。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 35 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 0 回、再呼出設定を【オフ】に設定した場合

着信音は鳴らない



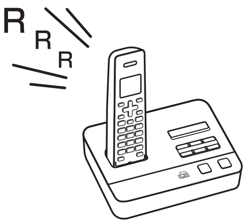
→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 電話に出られません
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

【F】本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オフ】に設定します。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 35 ページ「再呼出の設定をする」
例：呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オフ】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 電話に出られません
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

［ファクス無鳴動受信］

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。お買い上げ時は、【しない】に設定されており、電話、ファクスともにかかってきたときには着信音が鳴ります。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

確認

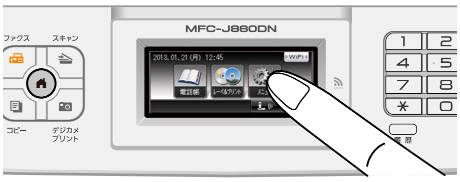
- ■ 無鳴動受信を有効にすると、かかってきた電話がファクスでない場合は、再呼び出しに切り替わると着信音が鳴り始めます。このとき通信ボックスでもベル音が鳴ります。
- ■ 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話をとらなくても相手側には通話料金が発生します。
- ■ 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 複合機本体の［接続確認］を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または［停止／終了］を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、［停止／終了］を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【ファクス / 電話】を押す

4 【受信設定】を押す

5 【ファクス無鳴動受信】を押す

6 【する】を押す

- 【する】：
  ファクス受信を優先する無鳴動受信が設定されます。
  無鳴動受信を設定すると、呼出回数は在宅モード時、留守モード時ともに【0】、再呼出設定が【オン（相手にベル）：30 秒】に設定されます。
- 【しない】：
  無鳴動受信は設定されません。
  電話、ファクスどちらの場合も着信音が鳴ります。無鳴動受信を設定しない場合、呼出回数は在宅モード時【7】、留守モード時【5】になり、再呼出設定が【オン（相手にベル）：30 秒】に設定されます。

【しない】を選んだ場合は、メッセージを確認して【OK】を押します。

7 ［停止／終了］を押して設定を終了する

呼出回数を設定する

[呼出回数]

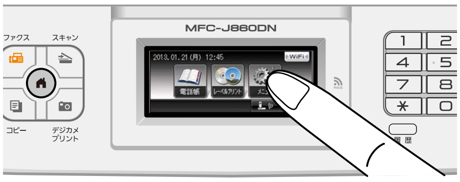
本製品が応答してから回線が自動的につながる（電話かファクスかを自動判定する）までに鳴る着信音の回数を設定します。
お買い上げ時は「在宅モード 7 回」、「留守モード 5 回」に設定されています。呼出回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。）また、電話のときは相手に料金がかかります。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止 / 終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止 / 終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【ファクス / 電話】を押す

4 【受信設定】を押す

5 【呼出回数】を押す

6 【在宅モード】を押す

7 呼出回数を選ぶ

- 【0 ～ 15（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】：
  子機をとるまで着信音が鳴り続けます。子機をとると回線がつながります。

8 【留守モード】を押す

9 呼出回数を選ぶ

- 【0 ～ 7（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】：
  外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
  ⇒ 34 ページ「トールセーバーを利用する」

10 停止 / 終了 を押して設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ 129 ページ「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

［再呼出設定］

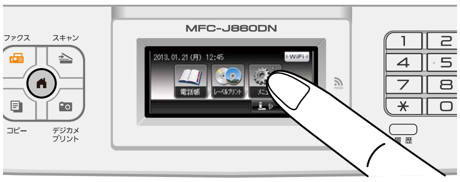
着信を知らせる呼出音が、⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」で設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。［留守］が押されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的に行います。ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。お買い上げ時は、ファクスの場合はすぐに受信を開始、電話の場合は 30 秒のベル音が鳴ってから電話が切れるように設定されています。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

1 複合機本体の［接続確認］を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または［停止 / 終了］を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、［停止 / 終了］を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【ファクス / 電話】を押す

4 【受信設定】を押す

5 【再呼出設定】を押す

- 【オン】：
  電話とファクスの両方を使うときに選びます。電話のときは再呼出音が鳴ります。ファクスは自動的に受信します。
- 【オフ】：
  本製品をファクス専用として使うときに選びます。回線接続後は再呼び出しをせず、すぐにファクス受信を開始するため電話は受けられません。

- 【オン】を選んだ場合：⇒手順 6 へ
- 【オフ】を選んだ場合：⇒手順 8 へ

6 再呼出音を選ぶ

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音（声）を選びます。

- 【相手にベル】：
  「トゥルートゥルー」という音が相手に流れます。
- 【相手にメッセージ】：
  在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
  在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
  ⇒124ページ「応答メッセージを録音する」

7 再呼び出し時間を選ぶ

再呼出音を何秒鳴らすかを設定します。
【20 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 70 秒】から選びます。

8 ［停止 / 終了］を押して設定を終了する

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する

電話会社と下記の有料サービスを契約している場合に設定します。電話会社と契約するだけでは、正しく動作しない場合がありますので、契約の有無に従って設定を行ってください。

- ナンバーディスプレイ機能
- キャッチディスプレイ機能

この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

> 本製品はキャッチホン機能、ボイスワープ機能にも対応していますが、特に設定を必要としません。
>
> 本製品はネーム・ディスプレイ機能には対応していません。

ナンバーディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【あり】に設定されています。契約されていない場合は、【なし】に設定してください。ナンバーディスプレイ機能をご契約の上、【あり】に設定しているときは、各種のオプション機能が利用できます。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 71 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

確認

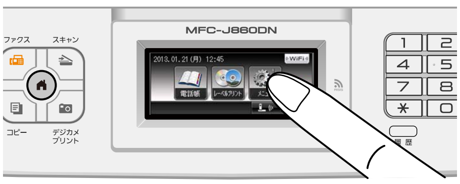
■ ナンバーディスプレイ機能を契約されている場合は、必ず【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止／終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止／終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【ナンバーディスプレイ】を押す

5 【ナンバーディスプレイ】を押す

6 【あり】または【なし】を押す

7 停止／終了 を押して設定を終了する

> ナンバーディスプレイ機能を利用するときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。
> ⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」

キャッチディスプレイ機能を設定する

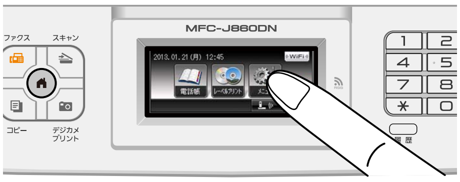
お買い上げ時は、【なし】に設定されています。
キャッチディスプレイ機能を契約されている場合は、下記の手順で【あり】に設定してください。キャッチディスプレイについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 76 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止／終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止／終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【ナンバーディスプレイ】を押す

5 【ナンバーディスプレイ】を押す

6 【あり】を押す

7 ⮌ を押す

8 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【キャッチディスプレイ】を押す

9 【あり】を押す

10 停止／終了 を押して設定を終了する

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」(⇒ 47 ページ「記録紙の種類を設定する」)またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。(Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」、Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」)
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	厚さ	一度にセットできる枚数	サイズ表記			参照
			コピー	デジカメプリント	プリンター	
普通紙	$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$ (0.08mm ～ 0.15mm)	100[*1]	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ JIS B5 A5 A6	⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
インクジェット紙	$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$ (0.08mm ～ 0.25mm)	20	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ JIS B5 A5 A6	
光沢紙	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)[*2]	20	A4 B5 A5	A4		
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	A4 B5 A5	－		
封筒	$75g/m^2$ ～ $95g/m^2$	10	－	－	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 COM-10 DL 封筒	
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	$120g/m^2$ 以下 (0.15mm 以下)	30	－	－	インデックスカード	
往復はがき	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)	20	－	－	往復ハガキ	
2L 判[*3] (127mm × 178mm)	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)	20	2L 判	2L 判	2L 判	
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)	0.25mm 以下	20	－	－	ポストカード	⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」
L 判[*3]	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)[*2]	20	L 判	L 判	L 判	
はがき[*3]	$220g/m^2$ 以下 (0.25mm 以下)	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	

*1 $80g/m^2$ の記録紙を使用した場合の目安です。

*2 ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

*3 普通紙、インクジェット紙、光沢紙に対応しています。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

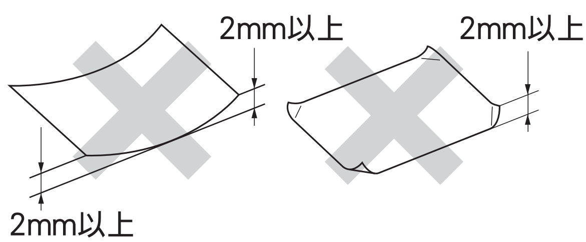
記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
  住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410
- OHP フィルムとブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。

確認

- ■ 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
  傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- ■ 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ■ ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。
- ■ 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- ■ 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

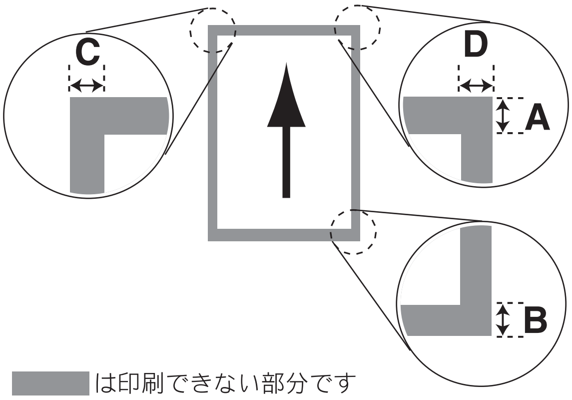
- カールしている記録紙について
  特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。
  カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を選択すると、印刷できない部分（余白）は、基本的に「0」になりますが、お使いのパソコンの OS によっては、完全に「0」にならない場合もあります。



（単位：mm）

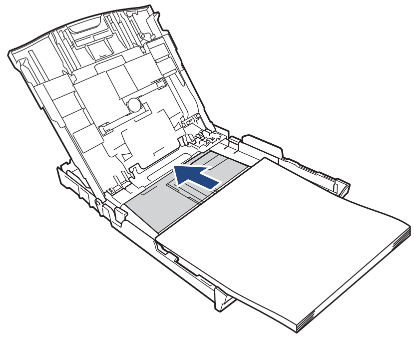
記録紙	A	B	C	D
A4/A5/A6/JIS B5 レター / エグゼクティブ 2L 判 /L 判 インデックスカード ポストカード はがき	3	3	3	3
長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒	12	22	3	3
COM-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。この数値はお使いの記録紙によっても変わることがあります。

トレイの種類

記録紙をセットするトレイは、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類があります。

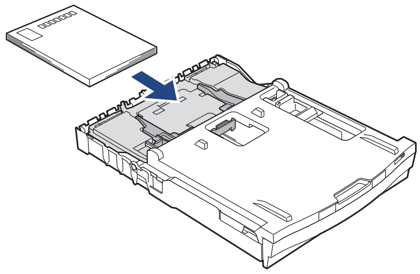
記録紙トレイ



L 判、はがき以外の記録紙と封筒をセットします。

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L 判記録紙とはがきをセットします。

⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」

給紙トレイマーカーの見かた

記録紙トレイ正面右側の給紙トレイマーカーで、現在、記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかがわかります。スライドトレイの位置によって、青色のマーカーが自動的に切り替わります。

A4/LTR 側：記録紙は記録紙トレイから供給されます。

Photo 側：記録紙はスライドトレイから供給されます。

最大排紙枚数について

厚さ 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。

写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

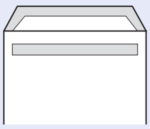
- 普通紙
- インクジェット紙
- 光沢紙
- OHP フィルム
- 封筒
- インデックスカード
- 往復はがき

はがきおよび L 判記録紙は、スライドトレイにセットしてください。

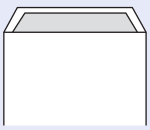
⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」

確認

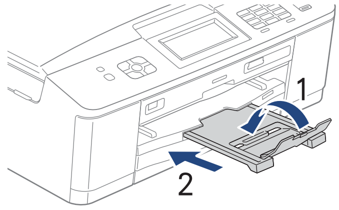
- ■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- ■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- ■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・窓付き封筒
  - ・エンボス加工がされたもの
  - ・留め金のついたもの
  - ・内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ふたにのりが付いているもの



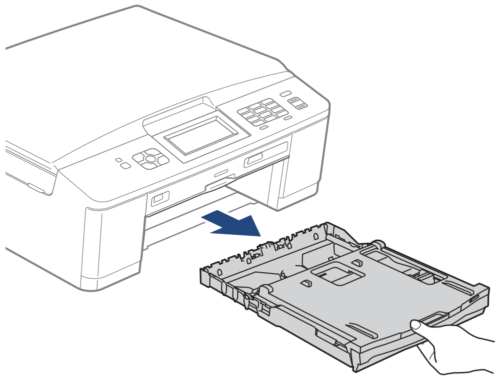
  - ・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



1 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2）

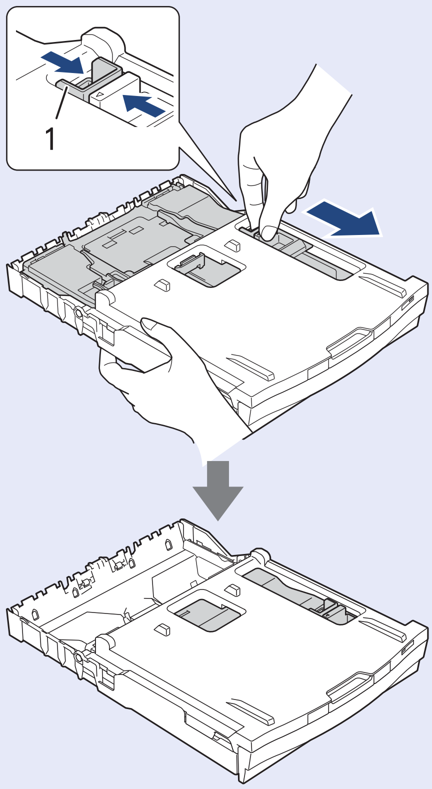


2 記録紙トレイを引き出す



確認

■ 記録紙トレイから給紙させるときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。リリースボタン（1）をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。

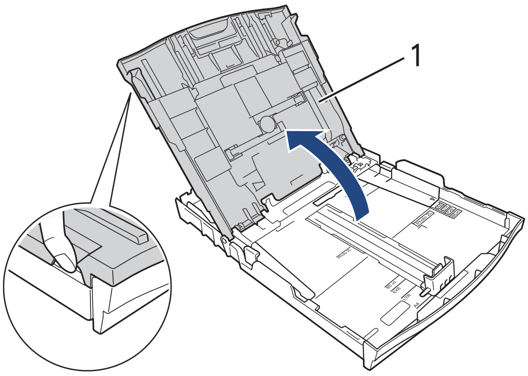


ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付 録

3 トレイカバー（1）を開く

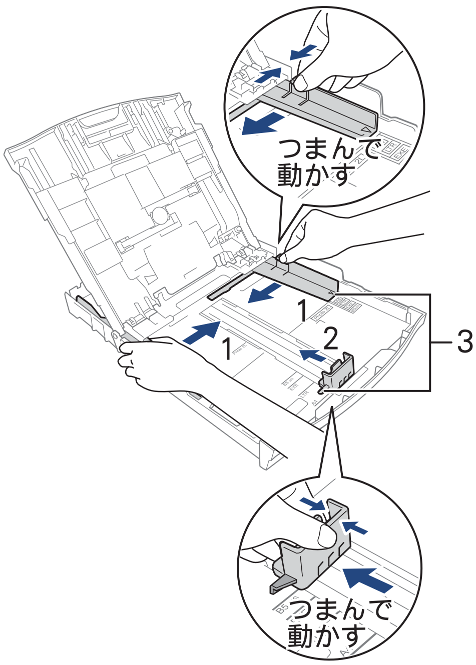
⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



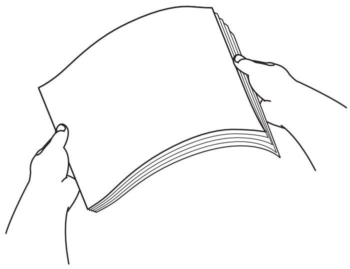
4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



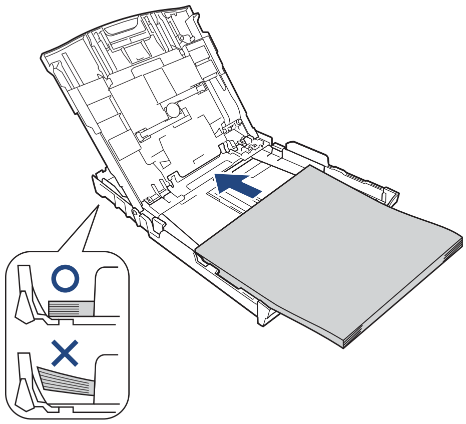
5 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。



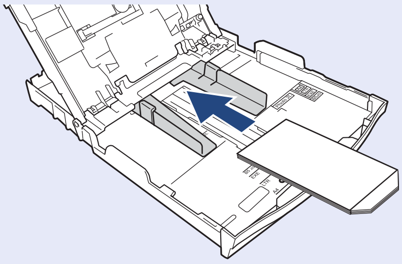
6 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

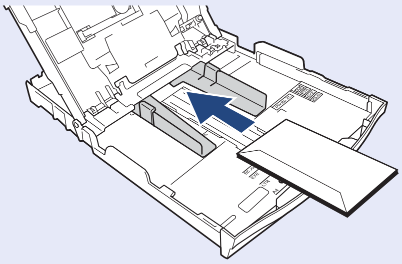


確認

- ■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ■ 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。
  また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーの［拡張機能］で［上下反転］に設定してください。
  - Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」
  - Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張機能」



- ■ 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。

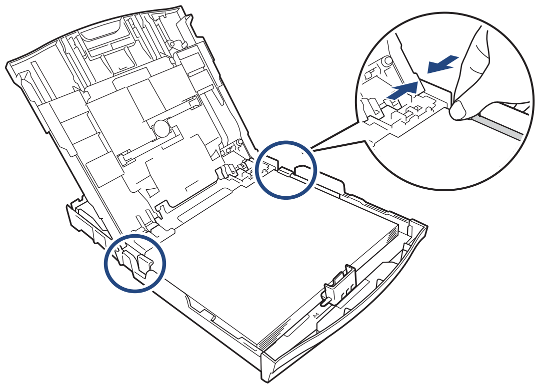


6 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる

⚠注意

- ● トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- ● トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

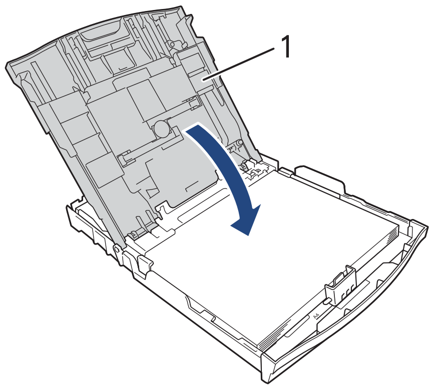
幅のガイドは両手で動かしてください。



確認

- ■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

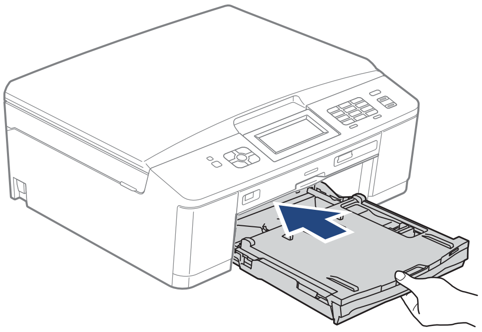
7 トレイカバー（1）を閉じる



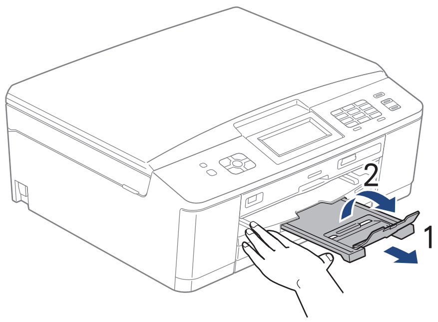
8 給紙トレイマーカーが「A4/LTR」側になっていることを確認する

9 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に複合機本体に戻します。
力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。



10 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



確認

■ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。

■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

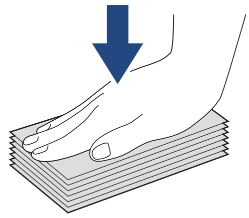
- ポストカード
- L 判
- はがき

確認

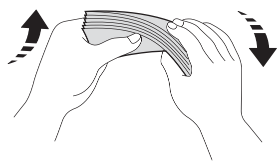
■ MFC-J860DN/J860DWN のみ

- インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。宛先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

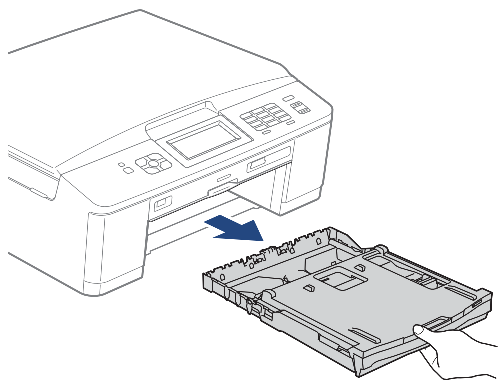
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



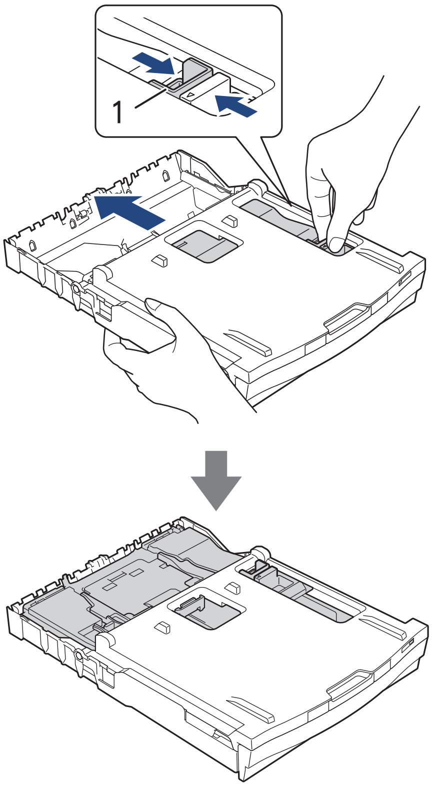
記録紙が反っているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、反りを直します。



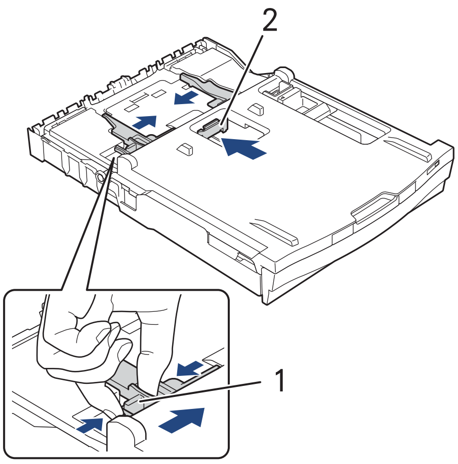
2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



❸ リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす



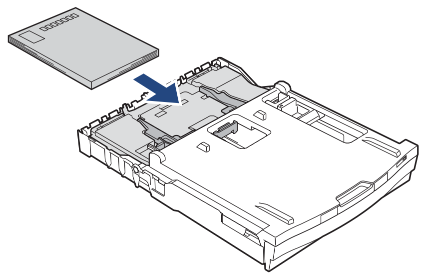
❹ 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる



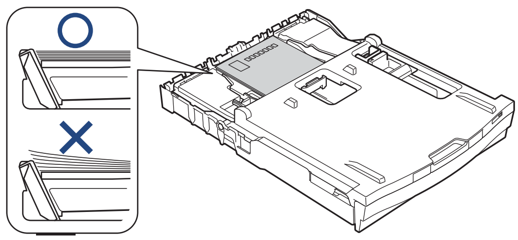
❺ 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。

> 印刷時は、一番上にある記録紙から順に給紙されます。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



確認

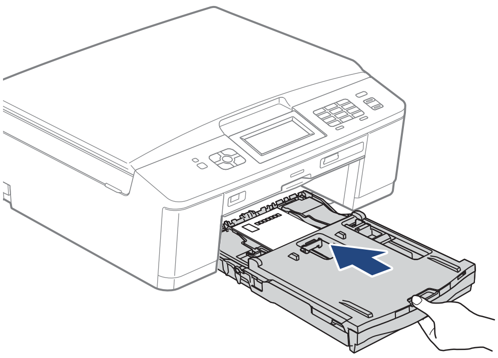
- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

❻ 給紙トレイマーカーが「Photo」側になっていることを確認する

7 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



> 年賀状や暑中見舞いなど、はがきの印刷の設定方法については下記をご覧ください。
> ⇒ 270 ページ「はがき（年賀状）に印刷するには」

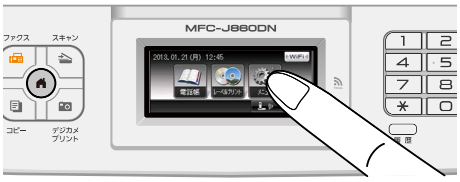
記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

> コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
> ⇒ 141 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
> ⇒ 164 ページ「L 判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
> - Windows® の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
> - Macintosh の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【記録紙タイプ】を押す

4 記録紙タイプを選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】から選びます。

> ブラザー BP71、BP61 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
>
> カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

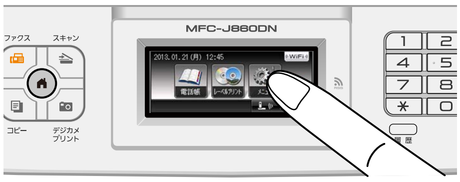
記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

> コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
> ⇒ 141 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
> ⇒ 164 ページ「L 判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
> - Windows® の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
> - Macintosh の場合
>   ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
>   「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【記録紙サイズ】を押す

4 記録紙サイズを選ぶ

【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

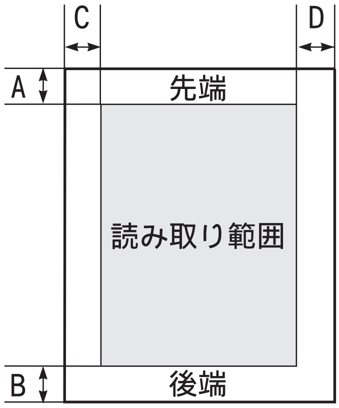
設定が有効になります。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3			
コピー	3			
スキャン	3			

原稿をセットする

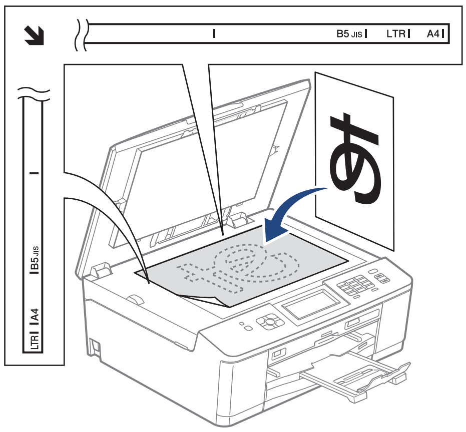
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

確認

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

記録ディスクをセットする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

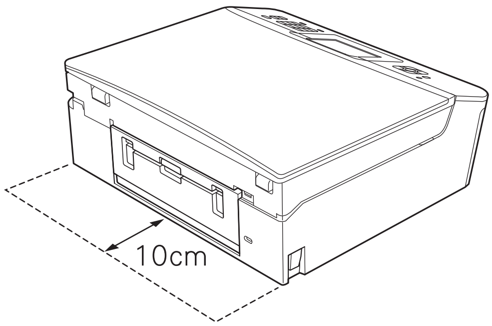
ここでは記録ディスクのセット方法について説明します。印刷方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「レーベルプリント」をご覧ください。

> レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズの CD/DVD/BD です。

記録ディスクをセットする

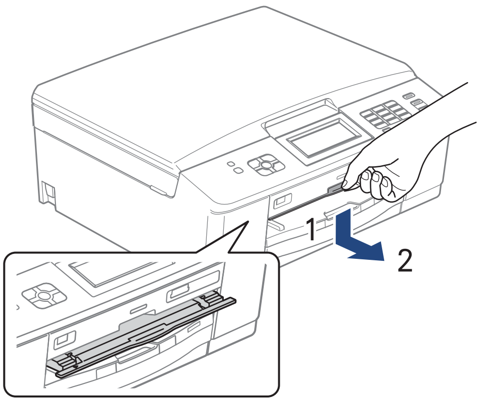
1 複合機本体の背面に 10cm 以上のスペースがあることを確認する

印刷時、ディスクトレイが複合機本体の背面にいったん突き出るため、背面にスペースが必要です。

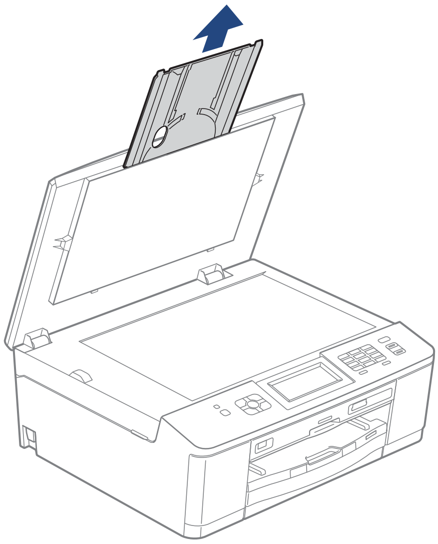


2 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引きながらゆっくりと手を離す（2）

手の力をゆるめると、強いスプリング機構によりディスクガイドがせり出し、自動的に固定されます。



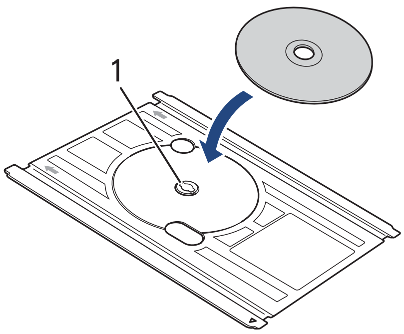
3 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜き、原稿台カバーを閉じる



4 記録ディスクの穴を、ディスクトレイの爪（1）にしっかりはめる

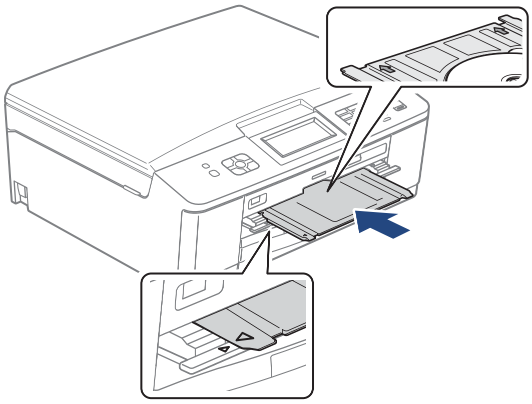
印刷面を上にしてセットします。

> 記録ディスクをセットする前に、トレイ上に、記録面を傷付けたり汚したりするようなゴミがないことを確認してください。



5 **ディスクトレイをディスクガイドに挿入し、トレイとガイドの三角マークを合わせる**

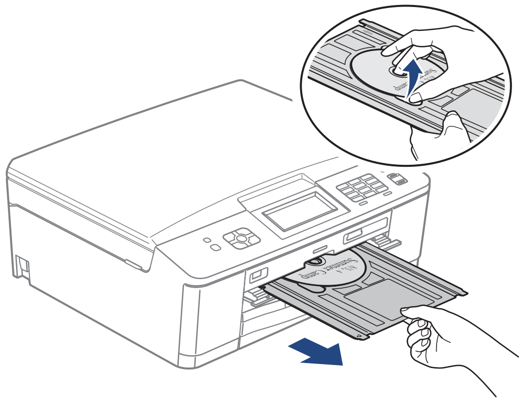
ディスクトレイ上に刻印されている矢印の方向に挿入します。



記録ディスクを取り出す

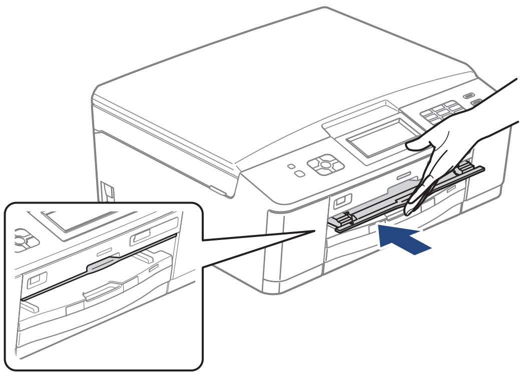
印刷が終わると、画面に【印刷が完了しました　ディスクトレイを取り出してディスクガイドを閉じてください】と表示されます。

1 **画面の【OK】を押して、ディスクトレイを引き抜き、記録ディスクをはずす**



2 **ディスクガイドを水平に複合機本体に押し込む**

強く押し込むようにするとスプリング機構により、ディスクトレイが元の位置に戻り、固定されます。



3 **原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する**

確認

- ■ 印刷位置がずれてディスクトレイ上に印刷された場合や、記録ディスク中央の透明部分に印刷された場合はすぐに拭き取ってください。
- ■ ディスクトレイは、印刷が終了したら必ず原稿台カバーに収納してください。ディスクトレイが反ったり変形したりすると動作不良の原因になる恐れがあります。

音量を設定する

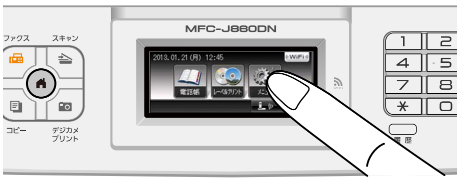
お好みで設定してください

複合機本体、通信ボックス、子機それぞれに音量を調整します。

複合機本体のボタン確認音量を設定する

操作パネル上のボタンを押したときに鳴る音の大きさを調整できます。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ボタン確認音量】を押す

4 好みの音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

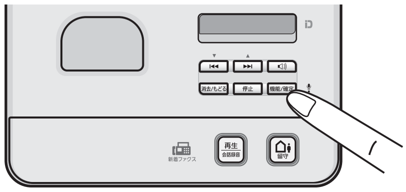
5 [停止/終了]を押して設定を終了する

> ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通信ボックスの音量を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の大きさと留守モードでの応答／録音メッセージ再生音量、留守録モニター音量を調整できます

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭]で【1.キホン　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭]で【1.オンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭]で【2.ボタンカクニン　オンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

5 [▼⏮]/[▲⏭]で好みの音量を選び、[機能/確定]を押す

【オフ／ショウ／チュウ／ダイ】から選びます。

> お買い上げ時は、【ショウ】に設定されています。

6 [▼⏮]/[▲⏭]で【3.スピーカー オンリョウ】を選び、[機能/確定]を押す

7 ▼⏮／▲⏭で好みの音量を選び、機能/確定を押す

【オフ／ショウ／チュウ／ダイ】から選びます。

お買い上げ時は、【チュウ】に設定されています。

8 停止を押して設定を終了する

スピーカーの音量は、音声再生中に🔊を押しても調整できます。

スピーカーの音量を【オフ】に設定していても、下記の場合は【ショウ】の音量で音が鳴ります。

- 留守ボタンを押したときの応答メッセージ、新規留守録メッセージ再生音
- 再生 / 会話録音ボタンを押したときの録音メッセージ再生音

ボタンの確認音量は【オフ】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

着信を知らせる呼出音の音量が調整できます。お買い上げ時は、【■■■□】（3 段階目）に設定されています。

1 **を押す**

2 **で音量を選ぶ**

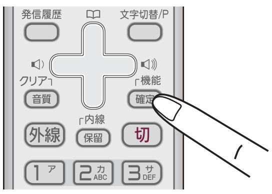
音量はオフ【□□□□】を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面にが表示されます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の【ON ／ OFF】を設定します。お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

1 **子機の 機能/確定 を押す**



2 **で【メイドウオンセッテイ】を選び、機能/確定 を押す**

3 **で【3. ボタンカクニンオン】を選び、機能/確定 を押す**

4 **で【ON】または【OFF】を選び、機能/確定 を押す**

5 **切 を押して設定を終了する**

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

スピーカーホン を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中に設定できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 **スピーカーホン を押す**

2 **を押す**

3 **で音量を選ぶ**

スピーカー音量は 4 段階から選べます。

4 **スピーカーホン を押して設定を終了する**

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げて使用ください。

受話音量を設定する

受話口から聞こえる相手の声の大きさが調整できます。お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています

1 **通話中に を押す**

2 **で音量を選ぶ**

受話音量は 4 段階から選べます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げて使用ください。

保留 / 着信メロディを設定する

保留メロディは通信ボックスで、着信メロディは子機で設定します。

確認

■ 通話中に保留 / 着信メロディを設定することはできません。

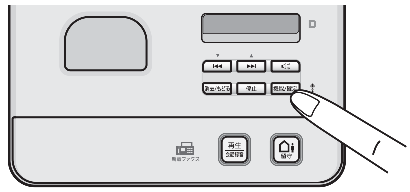
保留メロディを選ぶ

[ホリュウメロディ]

保留メロディは下表にある 30 曲の中から選べます。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 **通信ボックスの [機能/確定] を押す**



2 **[▼⏮] / [▲⏭] で【2. ファクス／デンワ】を選び、[機能/確定] を押す**

3 **[▼⏮] / [▲⏭] で【4. ホリュウメロディ】を選び、[機能/確定] を押す**

4 **[▼⏮] / [▲⏭] でメロディを選び、[機能/確定] を押す**

現在選択されているメロディが流れます。

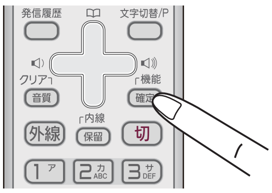
5 **[停止] を押して設定を終了する**

着信メロディを選ぶ

着信メロディは下表にあるベル音と 6 曲の中から選べます。お買い上げ時は、ベル音に設定されています。
子機は個体それぞれで好みの着信メロディに設定できます。

曲名	
1	(ベル音)
2	アヴェ・マリア
3	大きな古時計
4	ガボット
5	きらきら星
6	四季より「春」
7	花のワルツ

1 子機の「機能 確定」を押す



2 ✥で【メイドウオンセッテイ】を選び、「機能 確定」を押す

3 ✥で【1.　チャクシンオン】を選び、「機能 確定」を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 ✥で着信音を選び、「機能 確定」を押す

5 切を押して設定を終了する

電話帳登録先の着信音を変える

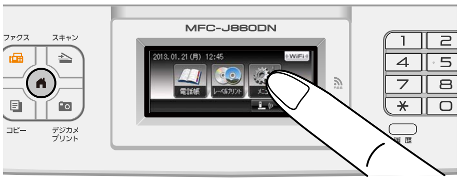
ナンバーディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手の電話番号のみ着信音を変えることができます。
⇒ 74 ページ「着信鳴り分けを設定する」

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

複合機本体の画面設定を変更する

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【画面の設定】を押す

4 変更したい項目を選ぶ



- 【画面の明るさ】：
  画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】：
  画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

5 設定値を選ぶ

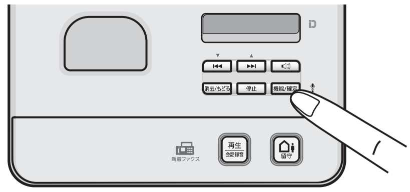
- 画面の明るさ：
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー：
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

6 停止/終了 を押して設定を終了する

通信ボックスの画面のコントラストを変更する

お買い上げ時は、5 段階の中間に設定されています。

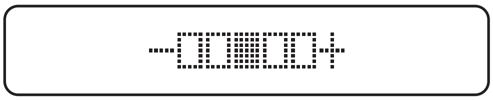
1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【1. キホン　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【2. エキショウ　コントラスト】を選び、機能/確定 を押す

4 画面を見ながら、▼⏮ / ▲⏭ で好みのコントラストを選び、機能/確定 を押す

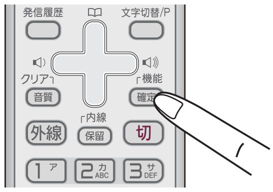


5 停止 を押して設定を終了する

子機の画面のコントラストを変更する

お買い上げ時は、7 段階の中間に設定されています。

1 **子機の機能確定を押す**



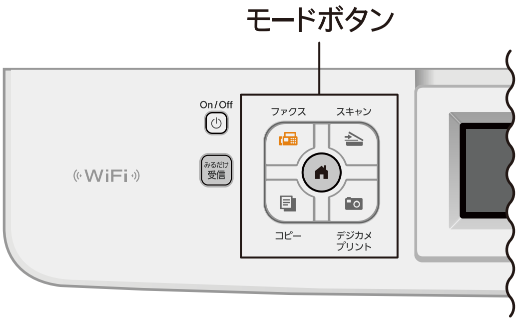
2 **で【ガメンノコントラスト】を選び、機能確定を押す**

3 **画面を見ながら、で好みのコントラストを選び、機能確定を押す**

4 **切を押して設定を終了する**

モードタイマーを設定する

複合機本体は、操作パネル上のファクス、スキャン、コピー、デジカメプリントの 4 つのモードボタンを押すことによって、それぞれのモードに切り替えることができます。点灯しているボタンが現在のモードです。お買い上げ時は、各モードの操作終了後 2 分が経過するとファクスモードに戻る設定になっています。

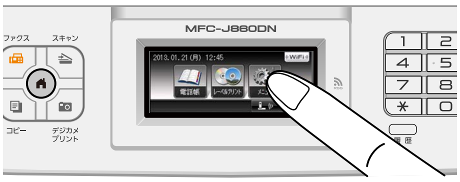


ファクスモードに戻る時間を変更する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を変更できます。【切】を選んで、最後に使ったモードを維持するように設定することもできます。

お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【モードタイマー】を押す

4 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

5 停止 / 終了 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

本製品は、設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに再起動します。複合機本体は、待機状態に切り替わるまでの時間が設定できます。

1 【メニュー】を押す



2 【基本設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【スリープモード】を押す

4 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

目的の時間が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが装着されているときは、スリープモードに切り替わりません。
- お買い上げ時は【5 分】に設定されています。
- 使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

通信ボックスのスリープモードについて

通信ボックスは無操作のまま 5 分が経過すると、自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。切り替わる時間は選べません。
待機状態になると画面が暗くなります。使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押せば、すぐに再起動します。

Memo

第 2 章

電話

電話の基本機能

電話の応用機能

電話をかける / 受ける

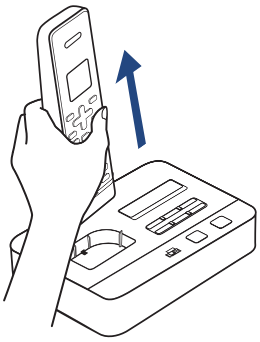
電話の基本機能

電話をかけたり受けたりするときの基本操作です。この章では、特に限定がなければ通信ボックス、子機充電器をともに「充電器」と総称します。

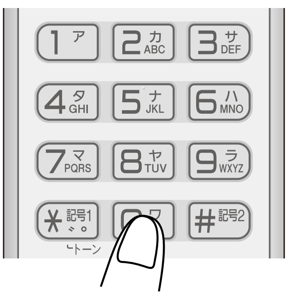
電話をかける

1 充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、外線を押します。



2 0ワ～9ラWXYZを押して相手に電話をかける



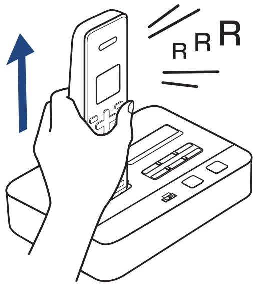
3 通話が終わったら、子機を充電器に戻す

切を押しても電話を切ることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、外線を押します。



2 通話が終わったら、子機を充電器に戻す

切を押しても電話を切ることができます。

電話帳からかける

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

1 充電器から子機をとる

2 （電話帳ボタン）を押す

3 （カーソルキー）で電話をかける相手を選ぶ

4 外線 を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

通話を保留にする

1 通話中に 内線/保留 を押す

保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。

2 通話に戻る時は、内線/保留 を押す

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。通信ボックスで操作します。

- 1 回の通話で録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は終了します。
- 録音した内容は、留守録メモリーに記憶されます。再生する場合は、電話を切った状態で 再生/会話録音 を押します。
- 通信ボックスから離れたところで外線通話中のときでも録音は可能ですが、子機では操作できないため、通信ボックスのところまで移動してください。

1 通話中に通信ボックスの 再生/会話録音 を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、停止 を押す

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

(1) 充電器から子機をとる

(2) [発信履歴] を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

(1) 充電器から子機をとる

(2) [切] を押す

(3) [外線] が消灯していることを確認し、[発信履歴] を押す

(4) [十字キー] で相手先を選ぶ

(5) [外線] を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合のみ使用できます。

(1) 充電器から子機をとる

(2) [切] を押す

(3) [外線] が消灯していることを確認し、[キャッチ/着信履歴] を押す

(4) [十字キー] で相手先を選ぶ

(5) [外線] を押す

充電器に置いたままかける（スピーカーホン）

(1) [スピーカーホン] を押す

(2) 相手先の電話番号を押す

(3) 相手が出たら、マイクに向かって話す



※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器からとって話してください。

(4) 通話が終わったら [切] を押す

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に スピーカーホン を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、スピーカーホン を押す

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。
ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) 充電器から子機をとり、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、＊記号1トーン を押す

(3) サービスの指示に従ってダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に クリア/音質 を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2) クリア/音質 を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に クリア/音質 を約 2 秒押す

◆「ナイショ：ON」と表示されます。

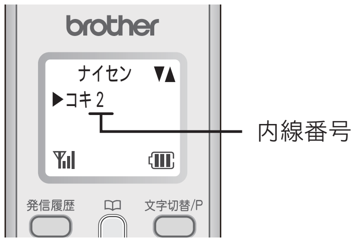
※設定を解除するには、もう一度 クリア/音質 を約 2 秒押します。

電話を取り次ぐ

電話を別の子機（MFC-J810DN/J860DN は増設した場合）に取り次ぐときの操作方法です。電話の取り次ぎに際しては、子機は互いの内線番号を選んで呼び出します。

内線番号表 (表示名)

子機種類 ＼ 機種名	付属子機		別売り 増設子機 1 台目	別売り 増設子機 2 台目	別売り 増設子機 3 台目
MFC-J810DN	コキ 1	−	コキ 2	コキ 3	コキ 4
MFC-J810DWN	コキ 1	コキ 2	コキ 3	コキ 4	
MFC-J860DN	コキ 1	−	コキ 2	コキ 3	コキ 4
MFC-J860DWN	コキ 1	コキ 2	コキ 3	コキ 4	



電話を取り次ぐ

ここでは、「コキ 1 で受け、コキ 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 コキ 1 で通話中に 内線/保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

> 呼び出している子機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、内線/保留 を押します。
>
> 取り次ぎの内線呼び出しをされたときは、子機を充電器からとります。子機を充電器から外して置いてあった場合は、内線/保留 または 外線 を押します。

3 コキ 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、コキ 1 を充電器に戻す、または 切 を押す

コキ 2 と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。居間で自分が受けた電話を、自分の部屋の子機にまわすなど、ひとりで取り次ぎ操作を完結させたいときなどにも使えます。ここでは、「コキ 1 で受け、コキ 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 コキ 1 で通話中に 内線/保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 1 を充電器に戻す

4 コキ 2 を充電器からとる

コキ 2 と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
⇒ 66 ページ「電話を取り次ぐ」
ここでは、「コキ 1 からコキ 2 に内線をかける場合」を例として説明します。

1 コキ 1 を充電器からとり、[切] を押してから [内線/保留] を押す

2 で「コキ 2」を選び、[機能/確定] を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、[内線/保留] または [外線] を押します。

コキ 1 とコキ 2 のあいだで通話できます。

> 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す（トリプル通話）

子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。
ここでは、「コキ 1 と外線で通話中に、コキ 2 を参加させる場合」を例として説明します。

確認

- 外線の相手2人と同時に通話することはできません。
- いったんトリプル通話をすると、そのあと保留にはできません。
- トリプル通話から通常（二者間）の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の [切] を押してください。

1 コキ 1 で外線通話中に [内線/保留] を押す

通話が保留になります。

2 で「コキ 2」を選び、[機能/確定] を押す

コキ 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 コキ 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、[内線/保留] または [外線] を押します。

4 コキ 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、コキ 1 の [内線/保留] を押す

トリプル通話が始まります。

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

確認

- ご利用には別途、電話会社との契約（NTT の場合、「キャッチホン／キャッチホン II」）が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プッブッ」と聞こえたら、子機の キャッチ/着信履歴 を押す

別途、ナンバーディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、とる前に相手を確認することもできます。
⇒ 76 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、キャッチ/着信履歴 を押す

最初の相手に戻ります。

キャッチ/着信履歴 を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プッブッ」と聞こえたら、子機の キャッチ/着信履歴 を押す

「ピーピー」という音が聞こえます。
先の相手との通話は保留になります。

2 再度 キャッチ/着信履歴 を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度 キャッチ/着信履歴 を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

確認

- 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 **通信ボックスの ▲ ⏭ を押す**

通信ボックスの画面には、【ジュシン　シマスカ？】と【▼　ハイ　▲　イイエ】が交互に表示されます。

5 **▼ ⏮（ハイ）を押す**

6 **通信ボックスの画面に【ジュシンチュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す**

迷惑電話を拒否する

かかってきた電話が迷惑電話だったときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。

1 通話中の電話が迷惑電話の場合、子機の［機能/確定］を長押しする

メッセージが流れ、電話が切れます。

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

2 子機を充電器に戻す

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合は、本製品でも当サービスの機能をご利用いただくことができます。電話会社と当サービスの契約をしていない場合は、本製品では着信履歴が表示できません。また、本製品をご購入いただいてしばらくご利用いただいたのち、電話会社と当サービスの契約を解除された場合は、本製品の設定も変更する必要があります。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

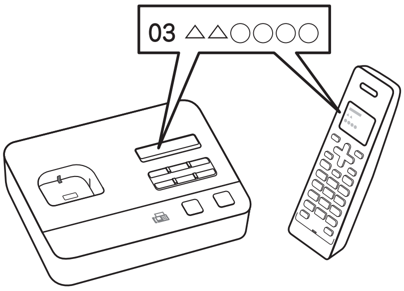
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示させることができる電話会社の有料サービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

確認

- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】に設定してください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバーディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバーディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバーディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- 本製品は「ネーム・ディスプレイサービス」には対応していません。

電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。



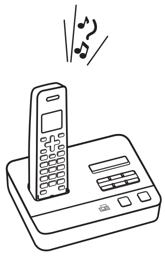
名前表示機能

電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。



着信音鳴り分け機能

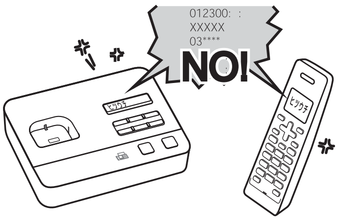
電話帳に登録してある相手の着信音を、通常とは異なるメロディに変更して、区別することができます。



迷惑電話防止／非通知着信拒否／公衆電話拒否機能／表示圏外拒否機能

迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。



着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- 画面に表示する
- 着信履歴を印刷する
- 電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける / ファクスを送る



ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能

ナンバー・ディスプレイサービスを契約し、本製品の設定を【あり】に設定しているときは、下記のような機能が利用できます。

● 【あり】に設定されていれば使える機能
- 名前と電話番号を含めた着信履歴を残す

● 【あり】に設定した上で、更に本製品の設定を必要とする機能
- 着信鳴り分け
- 非通知着信拒否
- 公衆電話拒否
- 表示圏外拒否
- 着信拒否モニター
- キャッチディスプレイ（電話会社とキャッチホン機能のご契約が必要です）

お買い上げ時は、ナンバーディスプレイは【あり】に設定されています。設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 36 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。



● その他の表示例
- 【ヒツウチ】：
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【コウシュウデンワ】：
  公衆電話からかけてきたとき
- 【ヒョウジケンガイ】：
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

着信履歴を利用する

[着信履歴]

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴を残すことができます。着信履歴は、過去の通話相手を見るだけでなく、見てそのまま電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。また、着信履歴から、迷惑電話の相手として本製品に登録し、その後の着信を拒否することもできます。

着信履歴を見る

複合機本体の場合

(1) 複合機本体の 履歴 を押す

(2) 【着信履歴】を押す

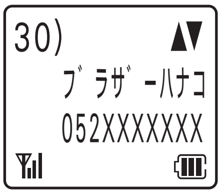
◆最新の着信履歴が表示されます。



子機の場合

(1) 子機の キャッチ/着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。



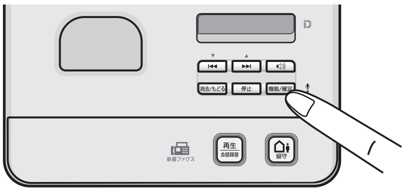
- 着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
- 着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
  ⇒ 64 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」
  ⇒ 110 ページ「電話帳に登録する」

迷惑電話指定する

［メイワク　シテイ］

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から迷惑先として本製品に登録し、今後着信音を鳴らさないようにできます。

1. **通信ボックスの 機能/確定 を押す**



2. **⏮/⏭で【2. ファクス／デンワ】を選び、機能/確定 を押す**
3. **⏮/⏭で【6. メイワク　シテイ】を選び、機能/確定 を押す**
4. **⏮/⏭で【1. チャクシンリレキカラトウロク】を選び、機能/確定 を押す**
   迷惑指定を解除する時は【2. ショウキョ】を選んでください。
5. **⏮/⏭で迷惑指定（または解除）する電話番号を選び、機能/確定 を押す**
6. **停止 を押して設定を終了する**

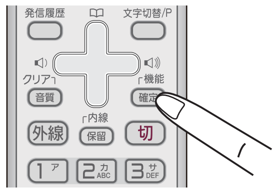
> 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

着信鳴り分けを設定する

［チャクシン　ナリワケ］

ナンバーディスプレイ機能を契約している場合は、電話帳に登録してある相手の着信音を、それ以外の外線着信とは異なるメロディに変更して区別することができます。
登録してある相手先について、子機は個体それぞれで設定できます。

1. **ナンバーディスプレイの設定が【あり】になっていることを確認する**
   ⇒ 36 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
2. **子機の 機能/確定 を押す**



3. **✥で【メイドウオンセッテイ】を選び、機能/確定 を押す**
4. **✥で【2. チャクシン　ナリワケ】を選び、機能/確定 を押す**
5. **✥で着信音を選び、機能/確定 を押す**
   ⇒ 54 ページ「保留 / 着信メロディを設定する」
6. **切 を押して設定を終了する**

> 電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

ナンバーディスプレイの設定が【なし】のときは設定できません。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

(1) **複合機本体の［接続確認］を押して、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されていることを確認する**

◆確認できたら［停止／終了］を押してください。接続されていない場合は下記をご覧ください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

(2) **複合機本体の【メニュー】を押す**

(3) **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

(4) **【ナンバーディスプレイ】を押す**

(5) **【非通知着信拒否】または【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を押す**

◆手順 (4) で目的の項目が選べない場合は、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっています。【あり】にしてください。

(6) **【する】を押す**

(7) **他の項目も設定する場合は、手順 (4)、(5) を繰り返す**

(8) **［停止／終了］を押して設定を終了する**

- 番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
- 着信拒否メッセージは、通信ボックスのスピーカーから聞くことができます。
⇒ 75 ページ「着信拒否モニターを設定する」
- ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。
ナンバーディスプレイの設定が【なし】のときは設定できません。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

(1) **複合機本体の［接続確認］を押して、複合機本体と通信ボックスの接続が確立されていることを確認する**

◆確認できたら［停止／終了］を押してください。接続されていない場合は下記をご覧ください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

(2) **複合機本体の【メニュー】を押す**

(3) **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

(4) **【ナンバーディスプレイ】を押す**

(5) **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【着信拒否モニター】を押す**

(6) **【する】を押す**

(7) **［停止／終了］を押して設定を終了する**

キャッチディスプレイを設定する

⇒ 37 ページ「キャッチディスプレイ機能を設定する」

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、NTT のサービスです。本製品はこの機能に対応しています。また、他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチディスプレイ機能は【なし】に設定されています。設定のしかたについては、下記をご覧ください。
⇒ 37 ページ「キャッチディスプレイ機能を設定する」

確認

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示できません。キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」と「ナンバー・ディスプレイサービス」（それぞれ NTT の場合のサービス名 / 有料）の両方のサービスを、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。
⇒ 68 ページ「キャッチホンで電話を受ける」
⇒ 71 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホン・ディスプレイされると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬途切れます。
- キャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

第３章

ファクス

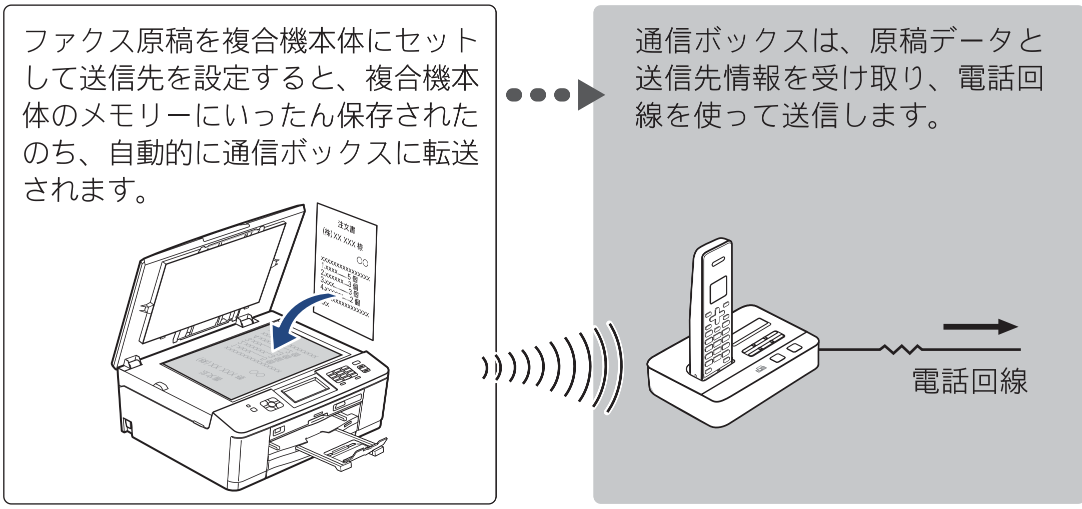
送信

受信

通信管理

本製品のファクス送信のしくみ

送信



通信ボックスとの接続を確認する

ファクスを送信する前に、離れたところにある通信ボックスとの通信状態が良好かどうか、子機が使用中でないかどうかなどが確認できます。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。



正常に接続できていない場合は、下記をご覧ください。

⇒ 254 ページ「複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは」

2 【OK】または 停止/終了 を押して確認を終了する

ファクスの送りかた

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質などを変更することもできます。

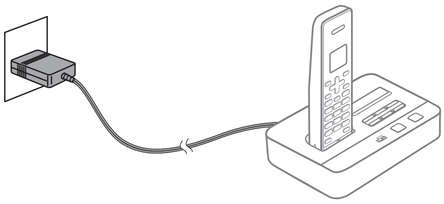
確認

- ■ 相手先のファクス機がモノクロ専用で、カラーファクスを受信できない場合は、カラー送信しないでください。カラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもありません。
- ■ モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ■ ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。
- ■ カラーファクスには、発信元情報が付きません。

ファクスを送る

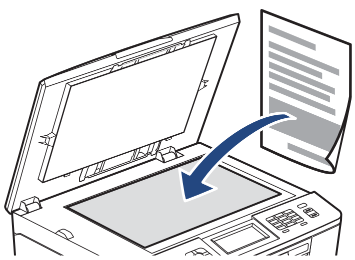
すべての原稿は、メモリーに蓄積してから送信します。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



1） 1 枚目の原稿を読み取る

2 複合機本体に 1 枚目の原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

確認

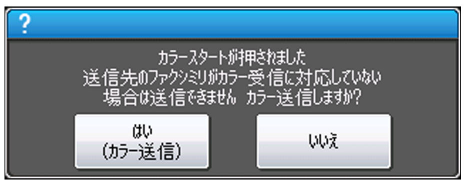
- ■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 [ファクス] を押す

4 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

5 モノクロで送る場合は、[モノクロスタート] を、カラーで送る場合は、[スタートカラー] を押す

[スタートカラー] を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、[モノクロスタート] を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合⇒手順 6 へ
- これで送信する場合⇒手順 9 へ

6 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み取る

7 原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、[モノクロ スタート]または[スタート カラー]を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- これで送信する場合⇒手順 9 へ

3）3 枚目の原稿を読み取る

8 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、[モノクロ スタート]または[スタート カラー]を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 6、7 を繰り返します。

9 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または[モノクロ スタート]または[スタート カラー]を押す

ファクスが送られます。

確認

■ スタートボタンを押してもファクスが送れない場合は、複合機本体と通信ボックスが接続できていない可能性があります。接続状態を確認してください。
⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、[停止 / 終了]を押してください。
※【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

ダイヤル中に通信ボックスでもキャンセルすることができます。その場合は、「ダイヤル　チュウ」と表示されているときに[停止]を押してください。
※【テイシ ▼ スル ▲ シナイ】と表示されたら、[▼ ⏮]（スル）を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、通信待ちデータを削除します。
⇒ 107 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

送信・印刷中の次の原稿の読み取り（デュアルアクセス）について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。
これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。

内容を確認してからファクスを送る

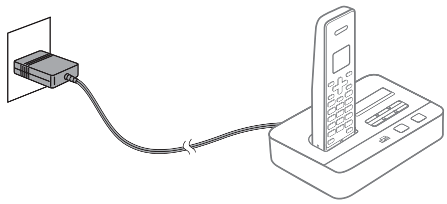
［みてから送信］

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 86 ページ「変更した設定を保持する」

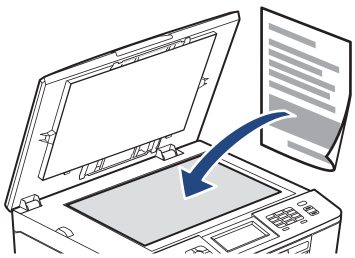
確認

■【みてから送信】するときは、カラーでの送信はできません。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 ファクス を押す

4 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

5【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なファクス設定】を押す

6【みてから送信】を押す

7【する】を押す

8 ↩ を押す

9 モノクロ スタート を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 2 枚目の原稿がある場合⇒手順 10 へ
- これで送信する場合⇒手順 11 へ

10【はい】を押し、2 枚目の原稿をセットして、モノクロ スタート を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

11 すべての原稿の読み取りを終えたら【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

12 画面で、ファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
【メニュー】	プレビュー画面でメニューバーを表示します。
【▲】/【▼】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
/	拡大／縮小表示します。
/	前のページ／次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
【×】	メニューバーを閉じます。

A) ファクスを送る場合

13 モノクロ スタート を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

13 停止/終了 **を押す**

画面に【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

14 **【はい】を押す**

送信が中止されます。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

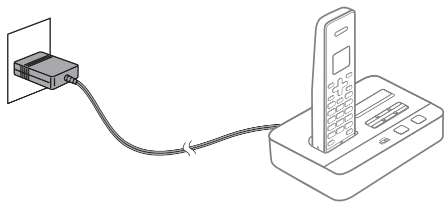
【履歴】

過去 20 件のうちに発信した相手なら、発信履歴を使ってファクスを送ることができます。また、ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

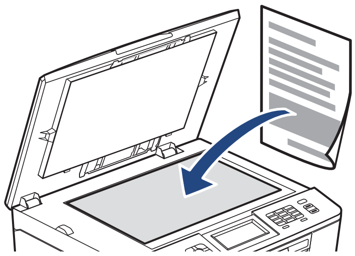
確認

■ ナンバーディスプレイ機能をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 71 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

3 複合機本体の［履歴］を押す

ファクスモードのメニューからも履歴発信できます。［ファクス］を押して、【履歴】を選んでください。

4 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

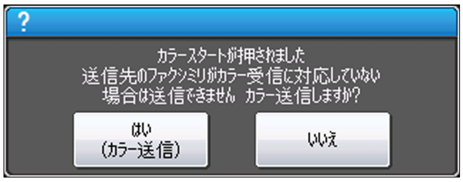
5 ファクスを送る相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

6 【ファクス送信】を押す

7 モノクロで送る場合は、［モノクロスタート］を、カラーで送る場合は、［カラースタート］を押す

［カラースタート］を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、［モノクロスタート］を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 9 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

9 【いいえ】または［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

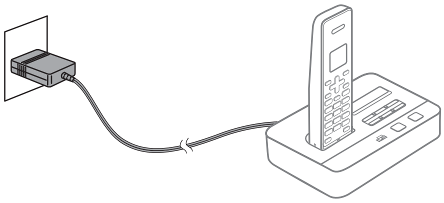
ファクスが送られます。

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

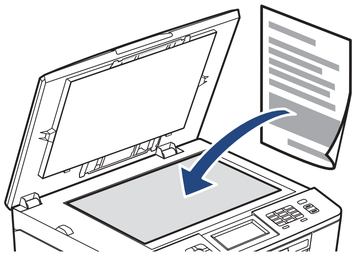
[電話帳]

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

3 複合機本体の 電話帳 を押す

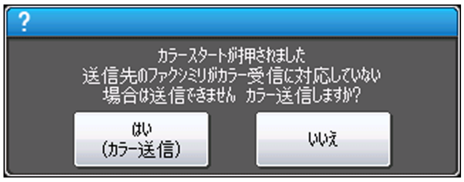
> ファクスモードのメニューからも電話帳からの発信ができます。ファクス を押して、【電話帳 / 短縮】を選んでください。

4 ファクスを送る相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は、モノクロ スタート を、カラーで送る場合は、スタート カラー を押す

> スタート カラー を押した場合のみ、次の画面が表示されます。
>
> 
>
>
> 送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロ スタート を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロ スタート または スタート カラー を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または モノクロ スタート または スタート カラー を押す

ファクスが送られます。

> ＊01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。＊01 あ のときは五十音順に、＊01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

ファクスの便利な送りかた

設定を変えてファクスするには

を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

例：海外通信モード

【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ【便利なファクス設定】を押す　　【海外送信モード】を選ぶ　　設定値を選ぶ

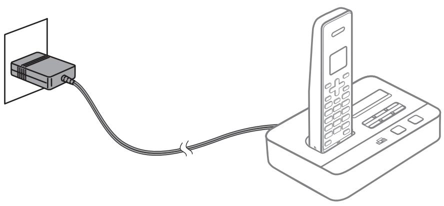


画質や濃度を変更する

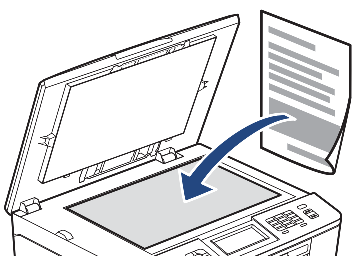
［ファクス画質／原稿濃度］

を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 86 ページ「変更した設定を保持する」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

3 を押す

4 【ファクス画質】または【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【原稿濃度】を選ぶ

5 設定を選ぶ

画質は以下から選びます。

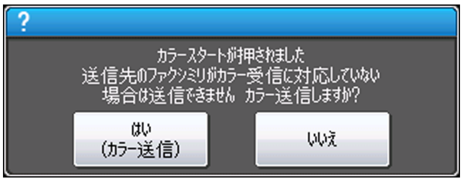
- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。

6 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは（モノクロスタート）を、カラーで送るときは（カラースタート）を押す

（カラースタート）を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、（モノクロスタート）を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして（モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または（モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクス機が標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- カラーファクスを送信するときや、ファクス画質で【写真】を選択したときは、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信するときは、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

変更した設定を保持する

(1) （ファクス）を押す

(2) 初期値にしたい設定に変更する

保持できる設定項目は以下のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- みてから送信

(3) 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(4) 【はい】を押す

◆変更した設定内容が初期値になります。

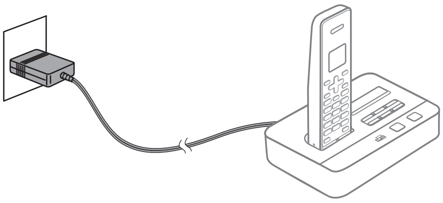
※手順 (1) のあと、手順 (3) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

海外へ送る

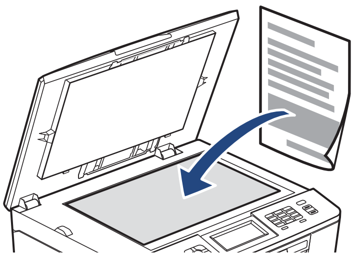
［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

3 ファクス を押す

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なファクス設定】を押す

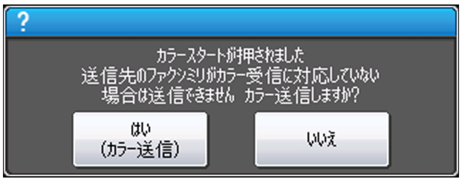
5 【海外送信モード】を押す

6 【する】を押す

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
> ⇒ 85 ページ「画質や濃度を変更する」

7 ⮌ を押す

8 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート または スタートカラー を押す

> スタートカラー を押した場合のみ、次の画面が表示されます。
>
> 
>
>
> 送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロスタート を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。
読み取りが終わると、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロスタート または スタートカラー を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

10 【いいえ】または モノクロスタート または スタートカラー を押す

ファクスが送られます。

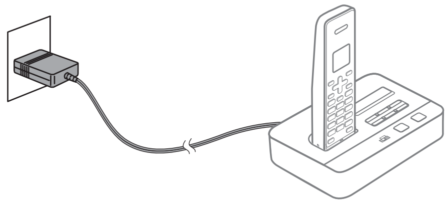
ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付録

複数の相手先に同じ原稿を送る

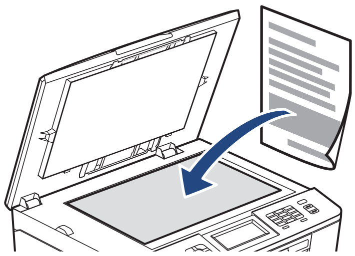
［同報送信］

1 回の操作で複数の相手先に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・電話帳 / 短縮ダイヤル・グループダイヤルから、合わせて最大 50 箇所まで指定できます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする



⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

3 ファクス を押す

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なファクス設定】を押す

5 【同報送信】を押す

6 【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ

7 【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、【OK】を押す

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び【OK】を押す

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 113 ページ「グループダイヤルを登録する」

＊01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。

＊01 あ のときは五十音順に、

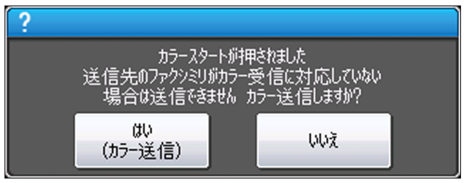
＊01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

8 手順 7 を繰り返し、2 件目以降の相手先を選ぶ

9 すべての相手先を選び終わったら、【OK】を押す

10 モノクロスタート または カラースタート を押す

カラースタート を押した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロスタート を押してモノクロで送信してください。

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 11 へ

11 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロスタート または カラースタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

12 【いいえ】または モノクロスタート または カラースタート を押す

指定した相手先にファクスが送られます。すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【同報送信をキャンセルします　現在のあて先のみか　全ての送信先かを選択してください／XXX (現在の番号または電話帳に登録してあるなら名前) ／全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての同報送信をキャンセルした場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、次の番号のダイヤルが開始されます。続けてキャンセルする場合は (1) ～ (3) を繰り返します。

※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

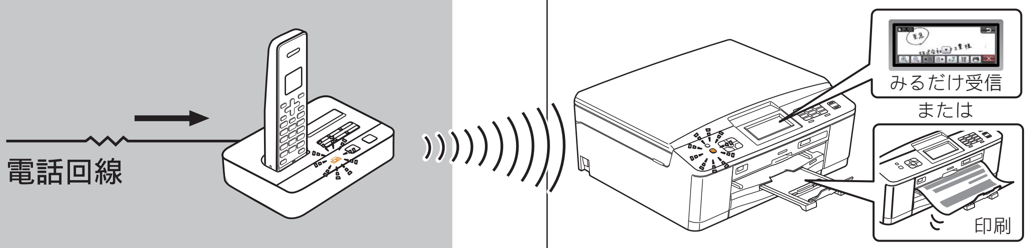
- 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、停止/終了 を押して送信を中止するか、スタートボタンを押して読み取られた分だけ送ります。

本製品のファクス受信のしくみ

受信

外部から届いたファクスは、通信ボックスのメモリーにいったん保存され、自動的に複合機本体に転送されます。

複合機本体がファクスデータを受け取ります。受け取ったファクスは、画面で（みるだけ受信）または印刷して確認します。



確認

■ ファクス送受信時には、通信ボックスと複合機本体の両方の電源が入っている必要があります。頻繁にファクスを受信するかたは、通信ボックスだけでなく、複合機本体も常に電源をオン（電源プラグが接続されているだけでなく、On/Off でオンにしてある状態）にして本製品をご利用ください。複合機本体の電源がオンになっていない場合、ファクスデータを通信ボックスから転送できないため受信を完了させられず、通信ボックスの の点滅も止めることができません。

ファクスの受けかた

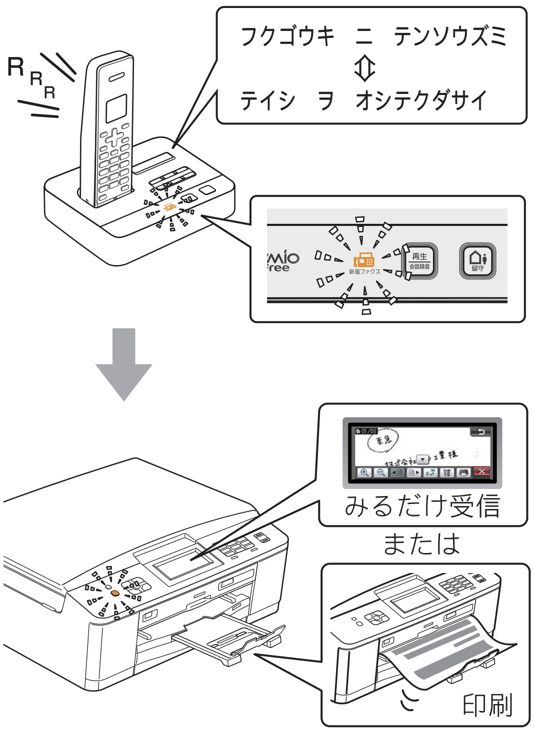
本製品に自動で受信させる

［自動受信］

設定した回数（お買い上げ時は 7 回 *1）の着信音が鳴り終わって相手がファクスであれば、本製品は自動で受信を開始します。
自動受信する前に電話をとって相手がファクスだった場合の「手動受信」のしかたは、下記をご覧ください。
⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」
⇒ 93 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

回線がつながると、ファクスはまず通信ボックスのメモリーに保存され、その後複合機本体に転送されて一連の受信動作を完了します。
受信したファクスは、画面（みるだけ受信を設定した場合）または記録紙のいずれかで確認できます。ただし、カラーファクスはみるだけ受信が設定されていてもメモリーには保存されず印刷されます。

*1 かかってきた電話がファクスかどうかを判定するために、本製品の回線が自動的につながるまでの時間（回数）は、自由に変更できます。
⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」



届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 95 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、［ファクス］の点滅はともに、［停止］を押すと止めることができます。

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

電話に出てから受ける

[手動受信]

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機をとる

2 「ポーポー」と音がしていたら、通信ボックスの ▲ ▶▶I を押す

相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手へファクスに切り替えることを伝えて ▲ ▶▶I を押します。

通信ボックスの画面に【ジュシン シマスカ？】と【▼ ハイ ▲ イイエ】が交互に表示されます。

3 ▼ I◀◀（ハイ）を押す

ファクスの受信が始まります。

4 通信ボックスの画面に【ジュシンチュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 95 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、（ファクスアイコン）の点滅はともに、停止を押すと止めることができます。

- キャッチホンでファクスを受ける場合の操作方法については、下記をご覧ください。
⇒ 68 ページ「キャッチホンでファクスを受けた場合」
- 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

［親切受信］

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話をとったときにファクスであれば、子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機をとる

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま 7 秒待つ

約 7 秒後に、自動的にファクスの受信が始まります。

3 通信ボックスの画面に【ジュシンチュウ】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 95 ページ「ファクスの見かた」

通信ボックスのメッセージ表示、［ファクス］の点滅はともに、［停止］を押すと止めることができます。

確認

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることをお勧めします。

- ファクスの受信が始まったら子機を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、手動で受信してください。
⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【する】に設定されています。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止 / 終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止 / 終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【ファクス / 電話】を押す

4 【受信設定】を押す

5 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【親切受信】を押す

6 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
  親切受信をします。
- 【しない】：
  親切受信をしません。

7 停止 / 終了 を押して操作を終了する

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

[みるだけ受信]

「みるだけ受信」は届いたファクスの内容を画面で確認できる機能です。届いたファクスはメモリーに記憶し、保存します。ここでは、【みるだけ受信をする】に設定した場合の、ファクスの確認方法を説明します。

確認

■「みるだけ受信」を設定していても、カラーファクスはメモリーに保存されずに自動的に印刷されます。通信ボックスの の点滅を 停止 を押して止め、印刷されたファクスを確認してください。

1 複合機本体の が点滅したら、 を押す

ファクスを受信すると、通信ボックスの が点滅を始めます。複合機本体への転送が終わると通信ボックスの画面に、「フクゴウキ　ニ　テンソウズミ」と「テイシ　ヲ　オシテクダサイ」というメッセージが交互に表示されます。一方、複合機本体の も点滅して、ファクスの受信を知らせています。



新着ファクスの一覧が表示されます。

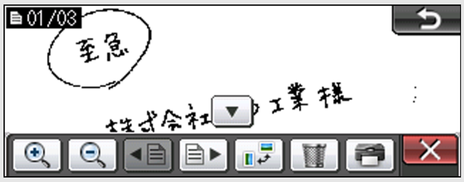
新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、確認したいファクスを選んで押す

既読ファクスが見たいときは、【既読ファクス】を押してください。



ファクスの内容が表示されます。



表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。
すべての新着ファクスについて 2 の操作をすると、通信ボックスの の点滅やメッセージ表示は自動的に終了します。
メッセージ表示をすぐに止めたいときは、通信ボックスの 停止 を押してください。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
	リスト画面に戻ります。
【▲】/【▼】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
/	拡大／縮小表示します。
/	前のページ／次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 96 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
	ファクスを印刷します。 ⇒ 96 ページ「ファクスを印刷する」
【×】	プレビュー画面のメニューバーを閉じます。
【設定】	プレビュー画面でメニューバーを表示します。

受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。

メモリーに保存できるファクスは99件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

ファクスを印刷する

(1) **印刷したいファクスが画面に表示された状態で[印刷]を押す**

◆見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。(3) に進んでください。

◆見ているファクスが複数ページあるときは、(2) に進んでください。

(2) **次のいずれかを行って、ファクスを印刷する**

◆すべてのページを印刷する場合は、【すべてのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4) に進みます。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4) に進みます。

(3) **ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す**

(4) **[停止/終了]を押して操作を終了する**

ファクスをメモリーから消去する

複合機本体と通信ボックスが接続不良の場合や電話中は消去できません。下記の操作をしてもエラーになる場合は接続状態を確認してください。

⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

(1) **消去したいファクスが画面に表示された状態で、[消去]を押す**

◆【すべてのページを消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 **複合機本体の[みるだけ受信]を押す**

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 **【新着ファクス】または【既読ファクス】を選ぶ**

3 **【設定】を押す**

4 **【すべてプリント】を押す**

表示されているファクス一覧のデータがすべて印刷されます。

5 **[停止/終了]を押して操作を終了する**

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。複合機本体と通信ボックスが接続不良の場合や電話中は消去できません。下記の操作をしてもエラーになる場合は接続状態を確認してください。

⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

1 **複合機本体の[みるだけ受信]を押す**

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 **【新着ファクス】または【既読ファクス】を選ぶ**

3 **【設定】を押す**

4 **【すべて消去】を押す**

【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

5 **【はい】を押す**

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

6 **[停止/終了]を押して操作を終了する**

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する/設定する）

みるだけ受信を解除すると以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

確認

■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたい場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
⇒ 96 ページ「ファクスを印刷する」
⇒ 96 ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 複合機本体の［みるだけ受信］を押す

2 【設定】を押す

3 【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

- メモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。
- メモリー内にファクスデータがある場合：【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスが消去されます／消去する／全て印刷してから消去／キャンセル】と表示されます。

5 【消去する】または【全て印刷してから消去】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【みるだけ受信】、【しない（受信したら印刷）】の順に押しても、みるだけ受信が解除できます。メモリー内にファクスデータがある場合は、【しない（受信したら印刷）】を選ぶと、それらのデータをメモリーから消去するか、印刷するかを選ぶ必要があります。
ファクスデータをメモリーに残したまま、みるだけ受信を解除することはできません。

みるだけ受信を設定する

受信するファクスを印刷して見る状態から、画面で見るように切り替えます。

1 複合機本体の［みるだけ受信］を押す

【みるだけ受信を［する（画面で確認）］にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

3 メッセージを確認し、【はい】を押す

みるだけ受信が設定されます。

4 ［停止／終了］を押して設定を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
※通信ボックスの電源プラグを抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。
※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

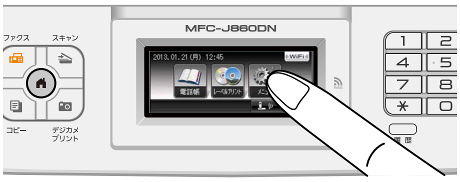
ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

［自動縮小］

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。
お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【自動縮小】を押す

5 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】：
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

受信したファクスをパソコンに送る

［PC ファクス受信］

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

確認

■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
■【PC ファクス受信】は、【メモリ保持のみ】と同時に設定することはできません。
■【PC ファクス受信】は Windows® でのみ使用できます。
■「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【メモリ受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

確認

■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

8 【OK】を押す

- 「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 10 へ
- 「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 9 へ

9 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 停止 / 終了 を押して設定を終了する

パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンでファクスを受信する」

手順 9 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。

手順 9 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

ファクスをメモリーで受信する

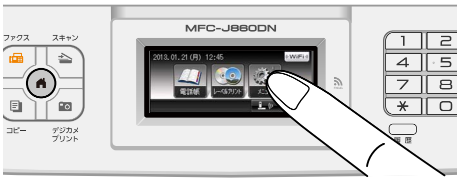
[メモリ受信]

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

確認

- 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- 【メモリ保持のみ】は、【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
- 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【メモリ受信】を押す

5 【メモリ保持のみ】を押す

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

- メモリー受信は最大 99 件で 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 5 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？ はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

[ファクス出力]

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【ファクス出力】を押す

4 モノクロスタート または スタートカラー を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

5 停止 / 終了 を押して操作を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【メモリ受信】を押す

5 【オフ】を押す

> 以下のメッセージが表示されます。
> - 【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。
> - 上記以外の設定にしている場合：【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

> メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。
>
> メモリー受信の設定が解除されます。

7 停止 / 終了 を押して操作を終了する

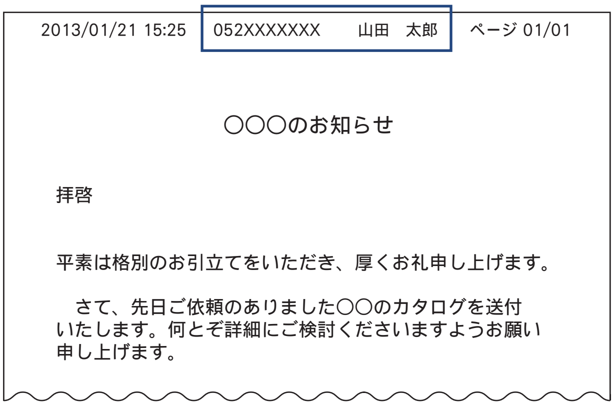
発信元を登録する

通信管理

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。


2013/01/21 15:25　052XXXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

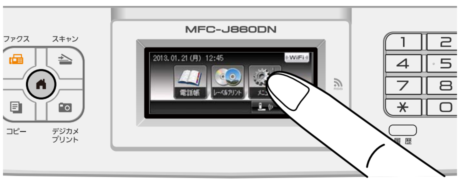
平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

　さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

確認

- 発信元情報は、ファクスをモノクロで送信するときにのみ付けることができます。カラーで送信する場合は付けられません。
- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【発信元登録】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

4 ファクス番号を入力し、【OK】を押す

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

> ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前の入力画面が表示されます。

5 名前を入力し、【OK】を押す

⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

16 文字まで入力できます。

設定が有効になります。

6 [停止／終了] を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」（103 ページ）の手順 3 までを行う

(2) 【×】を 1 秒以上押して、ファクス番号を削除し、【OK】を押す

(3) [停止／終了] を押す

ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ファクス自動再ダイヤル】を押す

4 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
  相手が通信中でも、3 回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
  自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信レポートが印刷されます。

5 停止／終了 を押して設定を終了する

通信状態を確かめる

本製品では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、画面で送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

通信記録は 200 件まで残り、200 件を超えると古い記録から消去されていきます。お買い上げ時は 50 件ごとに印刷されるように設定されています。

確認

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

通信記録をすぐに確認したいとき

50 件ごとに印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【通信管理レポート】を押す

5 モノクロ スタート を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

6 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

通信管理レポートを印刷しない

通信管理レポートが不要であれば、印刷されないように設定することができます。お買い上げ時は 50 件ごとに印刷されるように設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【レポート設定】を押す

4 【通信管理レポート】を押す

5 【レポート出力しない】を押す

- 【レポート出力しない】：
  通信記録は最大で 200 件残りますが、通信管理レポートは印刷されません。
- 【50 件ごと】：
  通信 50 件ごとに、通信管理レポートが印刷されます。

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、【オフ】（送信エラーになった場合のみレポートを印刷）に設定されています。

確認

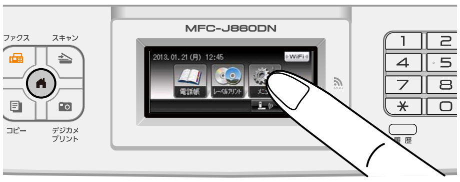
■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

送信結果をすぐに確認したいとき

1 記録紙をセットする

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 モノクロ スタート を押す

送信レポートが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止 / 終了 を押す

送信後必ず送信結果レポートを印刷する

お買い上げ時は、正常に送信が完了すれば送信結果レポートは印刷されない設定になっています。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【レポート設定】を押す

4 【送信結果レポート】を押す

5 【オン】を選ぶ

- 【オン】：
  ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
- 【オフ】：
  送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートを印刷します。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

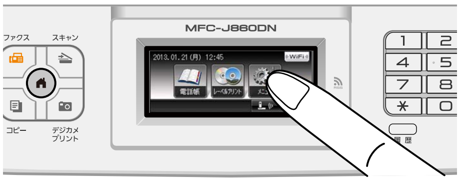
確認

- 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

5 モノクロ スタート を押す

着信履歴リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止 / 終了 を押す

送信待ちファクスを確認・解除する

［通信待ち確認］

ファクスを送りたい相手が通信中で送信できないと、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

複合機本体で通信待ちを確認する

待機しているファクスは、複合機本体で次のように確認できます。

1 【メニュー】を押す



2 【ファクス / 電話】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【通信待ち一覧】を押す

保留されている通信の一覧が表示されます。

- 確認を終了するとき⇒手順 6 へ
- 再ダイヤル中のファクスの送信を取りやめたいとき⇒手順 4 へ

4 取りやめる通信を選び、【OK】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

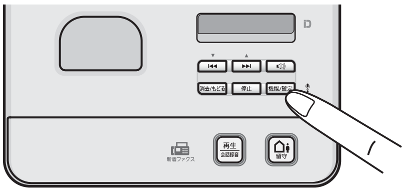
通信が中止されます。

6 停止 / 終了 を押して確認 / 解除を終了する

通信ボックスで通信待ちを確認する

待機しているファクスは、通信ボックスで次のように確認できます。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼⏮/▲⏭ で【2. ファクス/デンワ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼⏮/▲⏭ で【3. ツウシン　マチ　カクニン】を選び、機能/確定 を押す

通信待機しているファクス情報が表示されます。複数ある場合は、▼⏮/▲⏭ で確認できます。
- 確認を終了する場合⇒手順 6 へ
- 取りやめる通信がある場合⇒手順 4 へ

4 機能/確定 を押す

通信待ちが複数ある場合は、▼⏮/▲⏭ で取りやめたいファクスを選びます。

通信ボックスの画面には、【テイシ　▼　スル　▲　シナイ】と選んだファクス情報が交互に表示されます。

5 ▼⏮（スル）を押す

6 停止 を押して確認/解除を終了する

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

第４章

電話帳

複合機本体電話帳［ファクス用］

子機電話帳［電話用］

複合機本体の電話帳に登録する

複合機本体電話帳［ファクス用］

よくファクスする相手の番号は電話帳に登録しておくと便利です。また、複数の相手に一括送信ができる「グループダイヤル」として登録したり、登録した番号が、電話・ファクス兼用番号であればそのまま子機に転送するなど、更に応用的な機能もご利用いただけます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコンからも簡単に電話帳に登録することができます。
⇒ 116 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）」

電話帳に登録する

［電話帳に登録］

相手先のファクス番号と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99（最大 100 件× 2 番号）に登録します。

1. **複合機本体の 電話帳 を押す**

2. **【設定】を押す**

3. **【電話帳登録】を押す**

   名前を入力する画面が表示されます。

4. **画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す**

   名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
   ⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

   操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5. **画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す**

   読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
   読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

   操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6. **画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す**

   番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。
   - 数字：0 ～ 9
   - 記号：＊、＃
   - スペース：【▶】を押す
   - ポーズ：【ポーズ】を押す

   ※ハイフン、カッコは入力できません。

7. **同様の手順で、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す**

   2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

8. **画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す**

   短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

9. **登録内容を確認し、【OK】を押す**

   短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10. **停止／終了 を押して登録を終了する**

確認

- 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバーディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷すると確認できます。
⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A)「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例)
○ 186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
× 186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

(B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合

“0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）+010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

電話帳の内容を変更するには

(1)「電話帳に登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す

(2) 変更したい相手先を選ぶ

(3) 変更したい項目を選ぶ

(4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す

複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返します。

(5)【OK】を押す

◆変更した内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

電話帳の内容を削除するには

(1)「電話帳に登録する」の手順 ❸ で【消去】を押す

(2) 消去したい相手先を選び、【OK】を押す

【消去しますか ？／はい／いいえ】と表示されます。

(3)【はい】を押す

◆選んだ番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクスの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 107 ページ「着信履歴リストを印刷する」

確認

- ナンバーディスプレイ機能をご利用でないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 複合機本体の［履歴］を押す

2 【発信履歴】または【着信履歴】を押す

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

3 電話帳に登録したい番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせます。

4 【設定】を押す

5 【電話帳に登録】を押す

名前の画面が表示されます。

6 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 番号が入力されていることを確認して、【OK】を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

9 画面に表示されているテンキーで、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

10 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 ［停止/終了］を押して登録を終了する

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

［グループ登録］

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 88 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループには、50 件まで登録できます。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

確認

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
  ⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 複合機本体の 電話帳 を押す

2 【設定】を押す

3 【グループ登録】を押す

グループ名を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、【OK】を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

6 グループに登録する相手先を選ぶ

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。

*01 あ のときは五十音順に、

*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 登録する番号をすべて選んだら、【OK】を押す

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 停止／終了 を押して登録を終了する

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【変更】を押す
(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ
(3) 【追加 / 消去】を押す
(4) 追加 / 削除する相手先を選び、【OK】を押す
追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
(5) 【OK】を押す
◆変更内容が反映されます。
(6) 停止 / 終了 を押す

グループダイヤルを削除するには

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 ❸ で、【消去】を押す
(2) 削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。
(3) 【はい】を押す
(4) 停止 / 終了 を押す

複合機本体の電話帳を子機に転送する

[子機に転送]

複合機本体の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま子機に転送すると便利です。

確認

■ 複合機本体から子機に転送するときは、通信ボックス（子機充電器）に子機を置いた状態で操作してください。また、転送が終わるまでは、通信ボックス（子機充電器）から子機をとらないでください。

❶ 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止 / 終了 を押して手順 ❷ に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止 / 終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

❷ 複合機本体の 電話帳 を押す

❸ 【設定】を押す

❹ 【子機に転送】を押す

転送する相手先を選ぶ画面（電話帳リスト）が表示されます。
子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンを押して、転送したい子機を選んでください（例：コキ 1 の場合は 1 ）。
そのあと、相手先を選ぶ画面が表示されます。

5 **子機に転送する相手先を選び、【OK】を押す**

一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

【選択した電話帳を子機に転送します　転送中は電話が使えません　よろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 **【はい】を押す**

電話帳が転送されます。
引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 5、6 を繰り返してください。

7 **停止／終了 を押す**

- 相手先登録情報のうち、ヨミガナが子機の登録名として転送されます。
- 子機の登録名の最大文字数は 11 文字です。複合機本体への登録ヨミガナが 12 文字以上の場合、12 文字目以降の文字は消去されます。
  例）親機の登録ヨミガナ：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮｳ
  ↓
  子機の登録名：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮ
  （「ｳ」は消去される）
- 以下の場合は、電話帳を転送できません。
  - 外線使用中
  - 内線通話中、呼び出し中
  - 子機が待ち受け画面でない場合

電話帳リストを印刷する

［電話帳リスト］

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

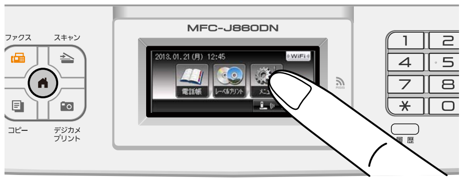
確認

■ 電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 **記録紙をセットする**

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 **【メニュー】を押す**



3 **【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す**

4 **【電話帳リスト】を押す**

5 **【あいうえお順】または【番号順】を選ぶ**

6 **モノクロスタート を押す**

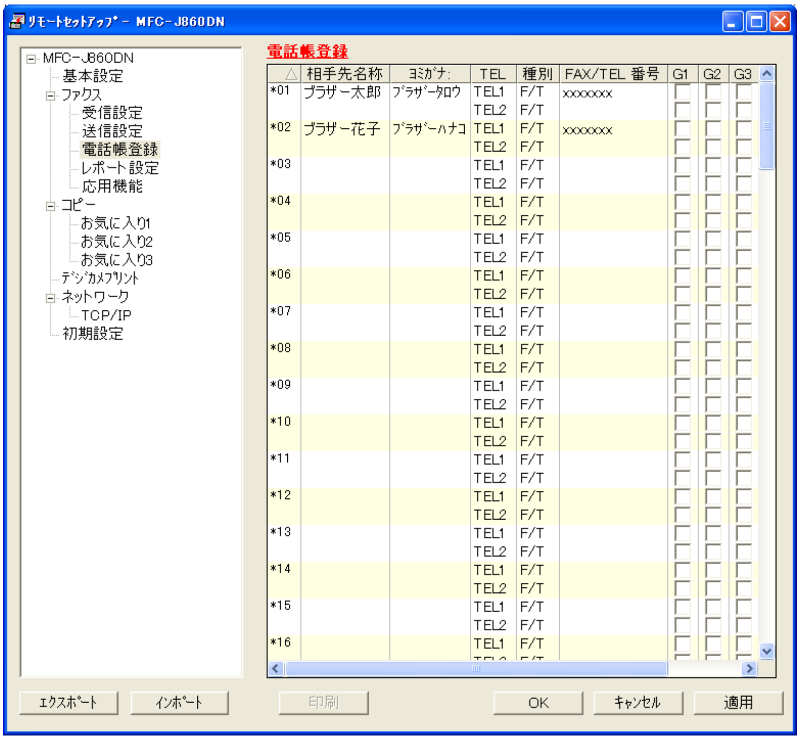
電話帳リストが印刷されます。

7 **印刷が終了したら、停止／終了 を押す**

パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録 / 編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。
「リモートセットアップ」の使用方法について詳しくは、付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　パソコン活用編」をご覧ください。

リモートセットアップ画面例



確認

■「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録 / 編集できるのは、複合機本体の電話帳のみです。子機の電話帳に登録する場合は、転送機能をご利用ください。
⇒ 114 ページ「複合機本体の電話帳を子機に転送する」

子機の電話帳に登録する

子機電話帳［電話用]

子機電話帳には 1 個体につき 100 件まで登録できます。

電話帳に登録する

1 を押す

2 で「デンワチョウトウロク」を選び、機能確定を押す

3 名前を入力し、機能確定を押す

11 文字まで入力できます。

⇒ 282 ページ「子機」

4 電話番号を入力し、機能確定を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。
(数字、＊、＃、P（ポーズ）のみ。)

電話番号が登録されます。

5 切を押して登録を終了する

ナンバーディスプレイ機能をご利用の場合は、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。

⇒ 74 ページ「着信鳴り分けを設定する」

「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。

⇒ 111 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳から電話をかける

⇒ 63 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

(1) を押す

(2) で変更したい電話帳データを選び、機能確定を押す

(3) で「ヘンコウ」を選び、機能確定を押す

(4) 「電話帳に登録する」の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する

※ 変更しない項目は、機能確定を押すと次の手順へ進むことができます。

(5) 切を押して操作を終了する

電話帳の内容を削除するには

(1) を押す

(2) で削除したい電話帳データを選び、機能確定を押す

(3) で「ショウキョ」を選び、機能確定を押す

(4) 1ア を押す

◆選んだ電話帳データが削除されます。

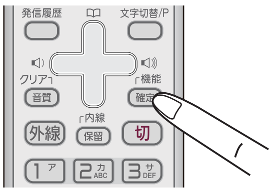
(5) 切を押して操作を終了する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

確認

■ ナンバーディスプレイ機能をご利用でないときは、着信履歴は使えません。

1 **子機の 機能/確定 を押す**



2 **で「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す**

3 **で登録する番号を選び、機能/確定 を押す**

4 **で「デンワチョウトウロク」を選び、機能/確定 を押す**

5 **名前を入力し、機能/確定 を押す**

名前は 11 文字まで入力できます。
⇒ 282 ページ「子機」

登録したい番号が表示されます。

6 **機能/確定 を押す**

電話番号が登録されます。

7 **切 を押して登録を終了する**

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、切 を押す必要はありません。

履歴を削除する

1 件のみ削除する場合

(1) 子機の 機能/確定 を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) で削除したい履歴を選び、機能/確定 を押す

(3) で「1 ケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押して操作を終了する

すべての履歴を削除する場合

(1) 子機の 機能/確定 を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、機能/確定 を押す

(2) 機能/確定 を押す

(3) で「ゼンケン　ショウキョ」を選び、機能/確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

子機の電話帳を複合機本体に転送する

子機の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま複合機本体に転送すると便利です。

1 を押す

2 で複合機本体に転送する相手先を選び、機能確定 を押す

3 で【テンソウ】を選び、機能確定 を押す

電話帳が転送されます。

4 切 を押す

親機の登録名の最大文字数は 10 文字です。子機の登録名が 11 文字の場合、11 文字目の文字は消去されます。
例）子機の登録名：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻ
↓
親機の登録名：アイウエオカキクケコ
（「サ」は消去される）
親機のヨミガナは、子機の登録名 11 文字すべてが登録されます。

短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。

以下の場合は、電話帳を転送できません。

- 外線使用中
- 内線通話中、呼び出し中
- 複合機本体の電源オフ中
- 通信ボックスで音声設定中
- 子機で【オヤキ　シヨウチュウ】表示中
- 複合機本体の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 複合機本体のメニュー操作中

Memo

第５章

留守番機能

留守録機能

リモコンアクセス

留守録転送

留守番機能を設定する

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定ができます。

留守番機能で設定できること

● **メッセージの録音時間**

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定できます。

⇒123 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● **留守応答メッセージ**

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音できます。

⇒ 124 ページ「応答メッセージを録音する」

また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。状況に応じて使いわけてください。

⇒ 126 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。
>
> 在宅時の応答メッセージは、再呼出設定時、再呼出音を【相手にメッセージ】に設定すると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● **呼出回数**

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定できます。

⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」

● **留守録モニター**

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

⇒ 125 ページ「留守録モニターを設定する」

> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 51 ページ「通信ボックスの音量を設定する」

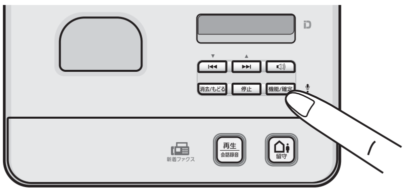
メッセージの録音時間を設定する

［ロクオン　ジカン］

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 ビョウ】に設定されています。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ▼ / ▲ で【2. ファクス／デンワ】を選び、機能/確定 を押す

3 ▼ / ▲ で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

4 ▼ / ▲ で【2. ロクオン　ジカン】を選び、機能/確定 を押す

5 ▼ / ▲ で録音時間を選び、機能/確定 を押す

【0 ビョウ（オウトウノミ）／ロクオン 30 ビョウ／ロクオン 60 ビョウ／ロクオン 120 ビョウ／ロクオン 180 ビョウ】から選択します。

> 【0 ビョウ（オウトウノミ)】に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。
> ⇒ 123 ページ「メッセージの録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ)】を選んだときの注意」

6 停止 を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ)】を選んだときの注意

【0 ビョウ（オウトウノミ)】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時)。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。

録音時間【0 ビョウ（オウトウノミ)】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけ直しください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。

⇒ 124 ページ「応答メッセージを録音する」
⇒ 126 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

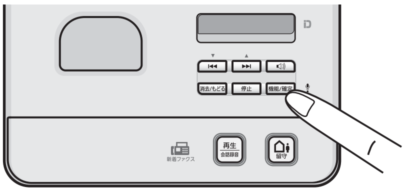
ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付　録

応答メッセージを録音する

［オウトウ　メッセージ］

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音できます。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ▼⏮/▲⏭で【2. ファクス／デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ▼⏮/▲⏭で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ▼⏮/▲⏭で【1. オウトウ　メッセージ】を選び、［機能/確定］を押す

5 ▼⏮/▲⏭で設定したい応答メッセージを選び、［機能/確定］を押す

録音したいメッセージの種類を【ルス　オウトウ 1／ルス　オウトウ 2／ザイタク　オウトウ】から選びます。

6 ▼⏮/▲⏭で【オウトウ　ロクオン】を選び、［機能/確定］を押す

7 通信ボックスのマイク（🎙）に向かってメッセージを録音する

20 秒以内に収めてください。20 秒を待たずに終了するときは、［停止］を押してください。ただし、録音開始から 5 秒間は停止できません。

> 今録音した内容が自動的に再生されます。最後まで聞かずに再生を終了するときは、［停止］を押してください。

8 別の録音を続ける場合は、手順 5 〜 7 を繰り返す

9 録音が終わったら［停止］を押して設定を終了する

応答メッセージを削除する

(1)「応答メッセージを録音する」の手順 6 で、【オウトウ　ショウキョ】を選び、［機能/確定］を押す

(2) ▼⏮（スル）を押す

(3)［停止］を押して操作を終了する

◆応答メッセージが消去されます。

※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

(1)「応答メッセージを録音する」の手順 6 で、【オウトウ　サイセイ】を選び、［機能/確定］を押す

◆応答メッセージが再生されます。

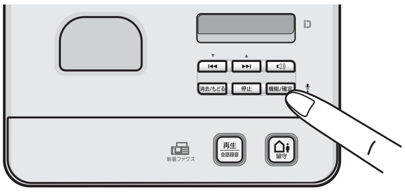
(2)［停止］を押して確認を終了する

留守録モニターを設定する

［ルスロク　モニター］

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、通信ボックスのスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【オン】に設定されています。

1 通信ボックスの［機能/確定］を押す



2 ［▼］/［▲］で【2. ファクス/デンワ】を選び、［機能/確定］を押す

3 ［▼］/［▲］で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、［機能/確定］を押す

4 ［▼］/［▲］で【3. ルスロク　モニター】を選び、［機能/確定］を押す

5 ［▼］/［▲］で【オン】または【オフ】を選び、［機能/確定］を押す

6 ［停止］を押して設定を終了する

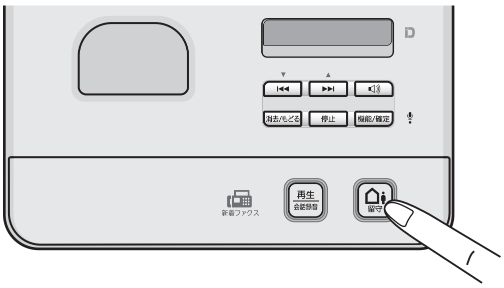
> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 51 ページ「通信ボックスの音量を設定する」

出かけるとき

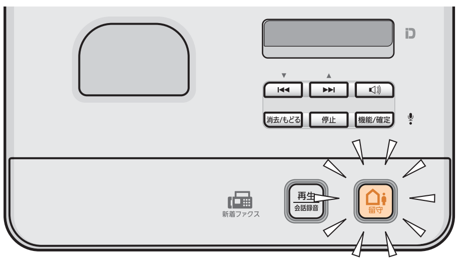
お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 通信ボックスの［留守］を押す



［留守］が点灯し、留守モードになります。



留守番機能を解除するときは、もう一度［留守］を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分の声で留守応答メッセージが録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 ［留守］を押す

ボタンが点灯しているときは、［留守］を押し、ボタンを消灯させてから再度［留守］を押してください。

2 メッセージ再生中に、［▼ ⏮］または［▲ ⏭］で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【オウトウ　サイセイ／オウトウ　サイセイ 1／オウトウ　サイセイ 2】から選択します。

- 【オウトウ　サイセイ】：
  あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【オウトウ　サイセイ 1】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【オウトウ　サイセイ 2】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さない限り有効です。

メッセージ再生中に［停止］を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

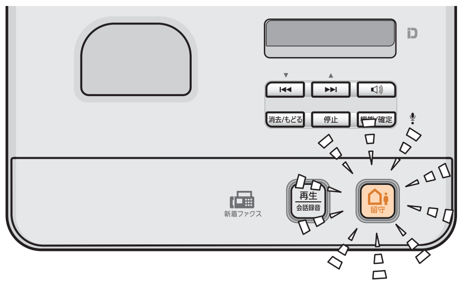
巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、[留守]が点滅しています。



1 [留守] **を押す**

[留守]が消灯し、留守モードが解除されます。

新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

メモリー内のメッセージを一括再生する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生できます。

1 [再生/会話録音] **を押す**

メモリー内のメッセージが次のように再生されます。

- 未再生メッセージがあるとき：
  「未再生の留守録メッセージ」→「未再生の通話録音内容」の順に再生されます。
- 未再生メッセージがないとき：
  「メモリー内の全留守録メッセージ」→「メモリー内の全通話録音内容」の順に再生されます。

音声メッセージを確認する

(A) **再生中のメッセージを聞き直すとき**

[▼ ⏮] を押す。

◆再生中のメッセージの最初に戻ります。

※[▼ ⏮]を2回続けて押すと、1つ前のメッセージが再生されます。

(B) **次のメッセージを聞くとき**

[▲ ⏭] を押す。

(C) **途中でメッセージの再生をやめるとき**

再生中に[停止]を押す。

(D) **メッセージを1件消去するとき**

再生中に[消去/もどる]を押し、【モウイチドオスト ショウキョ】と表示されたら、もう一度[消去/もどる]を押す。

◆再生中のメッセージが消去されます。

(E) **すべてのメッセージを消去するとき**

再生中以外のときに[消去/もどる]を押し、【オンセイ ショウキョ？／▼ スル ▲ シナイ】と表示されたら、[▼ ⏮]（スル）を押す。

◆すべてのメッセージが消去されます。

ファクスが届いているとき

 が点滅しているときは、ファクスを受信しています。複合機本体で確認してください。
⇒ 95 ページ「ファクスの見かた」

外出先から本製品を操作する　リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

確認

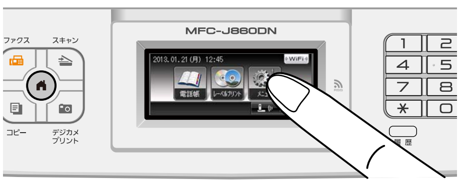
■ 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 複合機本体の【接続確認】を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または【停止 / 終了】を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、【停止 / 終了】を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【ファクス / 電話】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【暗証番号】を押す

5 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、【OK】を押す

【1】～【9】、【＊】、【#】で、頭の 3 桁を設定します。4 桁目は強制的に「＊」が付きます。
暗証番号「123 ＊」の場合は、【1】、【2】、【3】と押し、【OK】を押します。

- 暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。
- いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 5 で、以前の番号に上書きします。

6 【停止 / 終了】を押して操作を終了する

暗証番号をリセットする

(1)「暗証番号を設定する」の手順 4 までの操作を行う
(2)【クリア】を押す
(3)【OK】を押す
◆暗証番号が設定されていないお買い上げ時の状態に戻ります。
(4)【停止 / 終了】を押して設定を終了する

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付録

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

確認

- リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 129 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「＊」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾＊を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポーポー」：
音声メッセージが記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ 321 ページ「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

間違った操作をしたときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。このときはもう一度操作してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
メモリー操作		
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先に転送する

留守録転送

留守録転送を設定する

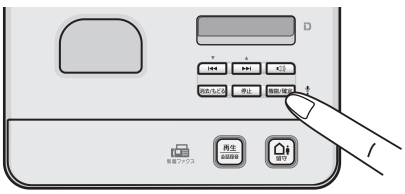
[ルスロク　テンソウ]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

確認

- ■ 留守モードのときのみ転送できます。
- ■ 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。
  ⇒ 129 ページ「暗証番号を設定する」
- ■ 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- ■ NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
- ■ 転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [▼⏮] / [▲⏭] で【2. ファクス／デンワ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [▼⏮] / [▲⏭] で【5. ルスバンデンワ　セッテイ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼⏮] / [▲⏭] で【4. ルスロク　テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す

5 [▼⏮] / [▲⏭] で【オン】を選び、[機能/確定] を押す

【バンゴウヲ　ニュウリョク】と【カクテイボタンヲ　オス】が交互に表示されます。

6 [機能/確定] を押す

暗証番号が設定されていないときは、[停止] を押していったん留守録転送設定を中止し、暗証番号を設定してください。
⇒ 129 ページ「暗証番号を設定する」

転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。

- 電話番号を変更する場合は、[▼⏮] を押します。⇒手順 7 へ
- 電話番号を変更しない場合は、[▲⏭] を押します。⇒手順 8 へ

7 [▼⏮] / [▲⏭] と [機能/確定] で各桁の数値の選択と確定を繰り返して、転送先の電話番号を入力し、最後にもう一度 [機能/確定] を押す

転送先を変更したいときは、[消去/もどる] を押して入力済みの番号をいったん消します。

8 [停止] を押して設定を終了する

転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く

◆2 件以上あるときは連続して再生されます。

◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順 5 で【オフ】を選び、機能/確定 押す

(2) 停止 を押して設定を終了する

◆留守録転送が解除されます。

Memo

第６章

コピー

基本

応用

コピーに関するご注意

基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

- **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき
  - 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- **著作権のあるもの**
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは禁止されています。
- **その他注意を要するもの**
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など
- **記録紙について**
  - しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
  - 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
  - コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。
- **原稿について**
  - インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
- **スキャナー（読み取り部）について**
  - スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
    ⇒ 194 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒ 48 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

カラーまたはモノクロでコピーします。

確認

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。
スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 194 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

1 部コピーする

1枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 画面で設定を確認する



画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 139 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

途中でコピーを中止したいときは、[停止/終了] を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1 ～ 99 部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

1 ～ 99 部まで設定できます。



①を押して表示されるテンキーを押したり、②でも部数の入力ができます。

入力した部数を取り消すには①を押して表示される画面で【クリア】を押します。

❹ モノクロでコピーするときはを、カラーでコピーするときはを押す

途中でコピーを中止したいときは、を押してください。

原稿がコピーされます。

設定を変えてコピーするには

コピー を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容はコピー後に元に戻りますが、お気に入りとして設定しておくこともできます。

例：記録紙タイプ

【記録紙タイプ】を押す



設定値を選ぶ



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。

- 【高速】
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。
※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」（⇒ 140 ページ）では、時間がかかることがあります。

(2) 記録紙タイプ

使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(3) 記録紙サイズ

使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

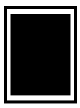
(4) 拡大 / 縮小

倍率を変更してコピーします。
拡大 / 縮小と、レイアウト コピーは同時に設定できません。
【等倍 100%】
【拡大】
- 【240% L 判 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ ⇒ A4】
- 【141% A5 ⇒ A4】
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【113% L 判 ⇒ ハガキ】*1

【縮小】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【46% A4 ⇒ ハガキ】
- 【40% A4 ⇒ L 判】

【用紙に合わせる】*2
【カスタム（25-400%）】*3

*1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。



*2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。「用紙に合わせる」は次のような制約があります。
- 原稿を読み取るときに3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- レイアウトコピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。
- （MFC-J860DN/J860DWN）両面コピーと同時に設定できません。

*3 画面に表示されているテンキーや操作パネルのダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。

(5) コピー濃度

コピーの濃度を 5 段階で調整します。【▶】を押すと濃くなり、【◀】を押すと薄くなります。

(6) レイアウト コピー

2 枚または 4 枚の原稿や、カードサイズの両面原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
⇒ 142 ページ「レイアウトコピーする」

(7) 両面コピー（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により、うら面のコピー方向を変えることができます。
⇒ 145 ページ「両面コピーする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）」

(8) 便利なコピー設定

その他の便利なコピーができます。

- インク節約モード
  文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
  ⇒ 147 ページ「インクを節約してコピーする」
- 裏写り除去コピー
  コピー時の裏写りを軽減します。
  ⇒ 148 ページ「コピー時の裏写りを抑える」
- ブックコピー
  本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。
  ⇒ 149 ページ「ブックコピーする」
- 透かしコピー
  コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を重ねることができます。
  ⇒ 150 ページ「コピーに文字や画像を重ねる」

(9) お気に入り設定

コピーのいろいろな設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。

**(1) 

を押して表示される画面で、お気に入りとして登録したい設定に変更する**

(2) 【お気に入り設定】を押す

(3) 【保存】を押す

(4) お気に入り設定の保存先を選ぶ
保存先は【お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3】から選びます。

(5) 画面に表示されているキーボードでお気に入り設定の名前を入力して【OK】を押す
全角 6 文字、半角 12 文字まで入力できます。
お気に入り設定の名前を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

◆変更した設定がお気に入りに登録されます。

※登録したお気に入りの名前を変更するには、【お気に入り設定】、【名前の変更】、変更したいお気に入りのボタンの順に押し、表示されているキーボードで名前を入力して、【OK】を押します。

(10) お気に入り

「お気に入り設定」で登録した設定値を呼び出します。

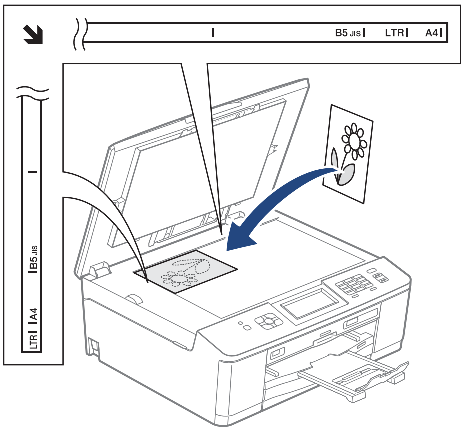
L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3 原稿台カバーを閉じる

4 （コピー）を押す

5 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

1）コピー画質を設定する

6 【コピー画質】を押す

7 【高画質】を押す

2）記録紙タイプを設定する

8 【記録紙タイプ】を押す

9 【その他光沢】を押す

3）記録紙サイズを設定する

10 【記録紙サイズ】を押す

11 【ハガキ】を押す

4）拡大・縮小率を設定する

12 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【拡大 / 縮小】を押す

13 【拡大】を押す

14 【113% L 判 ⇒ ハガキ】を押す

15 （スタート カラー）を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

いろいろなコピー

応用

レイアウトコピーする

[レイアウト コピー]

拡大 / 縮小やメモリー機能を使って、多様なレイアウトのコピーが自動でできます。

確認

- 「レイアウト コピー」では、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に並べてコピーする（N in 1 コピー）

- 2in1（タテ長）



- 2in1（ヨコ長）



- 4in1（タテ長）



- 4in1（ヨコ長）



1 コピー を押す

2 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を押す

3 レイアウトを選ぶ

【2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）】から選びます。

> コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

4 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

5 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

※部数設定は、モノクロコピーのみ有効です。

6 モノクロでコピーするときは モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 【はい】を押す

8 次の原稿をセットし、モノクロ スタート または スタート カラー を押す

どちらのスタートボタンを押しても、手順 6 で押したスタートボタンの色が有効になります。最初の原稿に対し、次の原稿以降のコピーカラーを変えることはできません。

コピーを開始します。コピーするすべての原稿に対して手順 7、8 を繰り返します。

9 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

カードの両面を 1 枚の A4 記録紙にコピーする（ID カードコピー）

運転免許証のようなカードの両面を 1 枚の A4 記録紙片面に原寸のまま割り付けてコピーします。



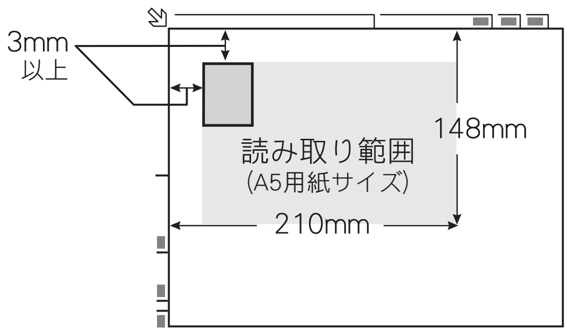
1 **を押す**

2 **【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を押す**

3 **【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【2in1（ID カード)】を押す**

4 **原稿をセットする**

原稿は、原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて読み取り範囲内に下向きにセットしてください。



5 **複数部コピーするときは、部数を入力する**

※部数設定は、モノクロコピーのみ有効です。

6 **モノクロでコピーするときは を、カラーでコピーするときは を押す**

原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 **【はい】を押して、原稿を裏返し または を押す**

おもて面と上下をそろえ、だいたい同じ位置で裏返すと、きれいに仕上がります。
なお、どちらのスタートボタンを押しても、おもて面の読み取り時に押したスタートボタンの色が有効になります。おもて面に対しうら面のコピーカラーを変えることはできません。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付 録

1 枚の原稿を複数枚の A4 記録紙に分けて拡大する（ポスターコピー）

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数の A4 記録紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

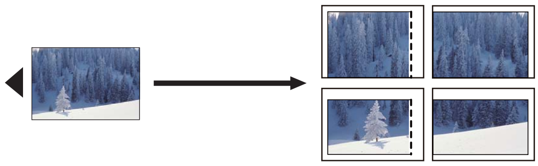
確認

■ 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。

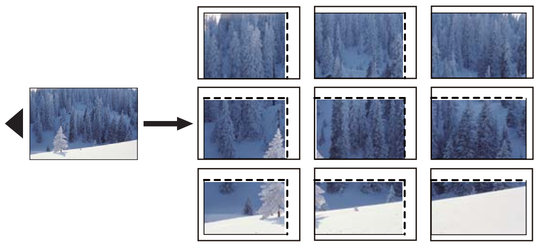
- ポスター（2x1）



- ポスター（2x2）



- ポスター（3x3）



※「のりしろ」の位置は、セットする原稿の向きによって異なります。

1 分割される枚数以上の記録紙がセットされていることを確認する

2  を押す

3 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を押す

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、レイアウトを選ぶ

【ポスター (2x1) ／ポスター (2x2) ／ポスター (3x3)】から選びます。

5 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

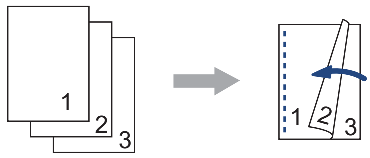
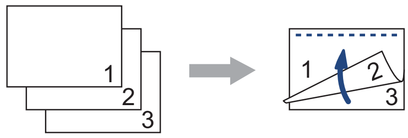
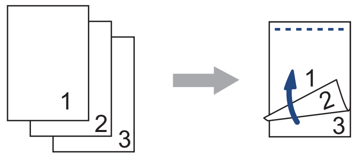
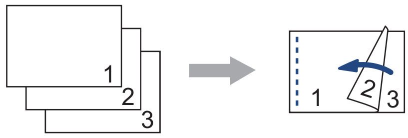
6 モノクロでコピーするときは  を、カラーでコピーするときは  を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

両面コピーする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

［両面コピー］

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーすることができます。
ホチキスやクリップなどで留める側面（とじ辺）を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦（タテ長原稿）	印刷の向き：横（ヨコ長原稿）
長辺とじ		
短辺とじ		

確認

- ■ 両面コピーで使用できる記録紙は、A4、A5、B5 の普通紙のみです。
- ■ 両面コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 （コピー）を押す

2 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【両面コピー】を押す

3 【オン】を押す

4 印刷の向きととじ辺の組み合わせを選ぶ

【印刷の向き：縦　長辺とじ／印刷の向き：横　長辺とじ／印刷の向き：縦　短辺とじ／印刷の向き：横　短辺とじ】から選びます。

5 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

6 原稿をセットする

原稿は、印刷の向きやとじ辺に関係なく、おもて面を下にして、原稿ガイドに従ってセットします。

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

7 モノクロでコピーするときは（モノクロ スタート）を、カラーでコピーするときは（スタート カラー）を押す

読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次のページをセットしてスキャンボタンを押してください　全てのページが終わったら完了ボタンを押してください／スキャン／完了】と表示されます。

8 【スキャン】を押す

9 次の原稿をセットして、（モノクロ スタート）または（スタート カラー）を押す

どちらのスタートボタンを押しても、おもて面の読み取り時に押したスタートボタンの色が有効になります。おもて面に対しうら面のコピーカラーを変えることはできません。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付　録

うら面となる原稿の読み取りが終わると、両面コピーが開始されます。
おもて面を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、うら面を印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。

⑩ 原稿が 3 枚以上あるときは、手順 ❻ ～ ❾ を繰り返す

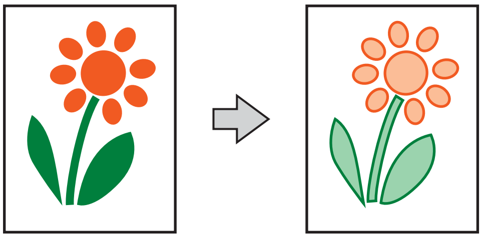
原稿が奇数枚である場合、最後の原稿の読み取りが終わったら【完了】を押します。
最後のうら面は印刷されませんが、この場合も、記録紙はいったん吸い込まれます。

> 両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しください。手順 ❸ のあとで、画面上の【あんしん設定】を押します。【あんしん 1】は、印刷速度を落とします。【あんしん 2】は、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

[インク節約モード]

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



確認

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- インク節約モードでのコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【インク節約モード】を押す

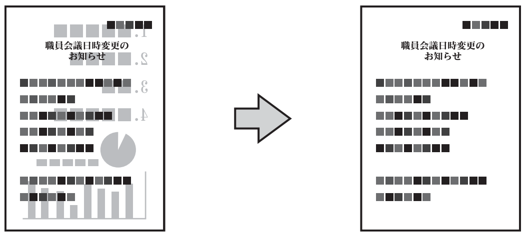
6 モノクロでコピーするときは

モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

コピー時の裏写りを抑える

［裏移り除去コピー］

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



確認

■ 裏写り除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 （コピー）を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【裏写り除去コピー】を押す

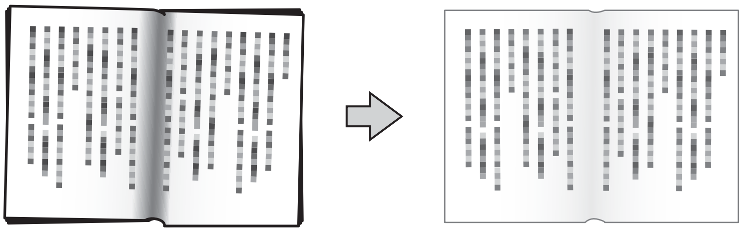
6 モノクロでコピーするときは

（モノクロ スタート）を、カラーでコピーするときは（スタート カラー）を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

本のように中央部分でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分のスジ状の陰や、原稿の厚みによってできる外枠の陰を軽減します。また、セット時の原稿の傾きも自動で補正します。



確認

■ ブックコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【ブックコピー】を押す

6 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

コピーに文字や画像を重ねる

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【COPY】【CONFIDENTIAL】【重要】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

確認

■ 透かしコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、 ? と表示されます。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを重ねてコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

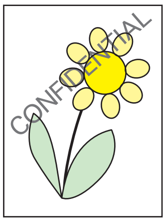
5 【透かしコピー】を押す

6 【テンプレートを使う】を押す

7 透かしの設定を行う

次の 6 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【テキスト】：
  【COPY ／ CONFIDENTIAL ／重要】から選びます。
- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に文字が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90°／ -45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
  【黒／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄】から選びます。カラーでコピーをした場合にのみ反映されます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：−45°
透過度：+2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 モノクロでコピーするときは [モノクロ スタート] を、カラーでコピーするときは [スタート カラー] を押す

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付録

メディアの画像を重ねてコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

確認

■ ステータスランプが点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

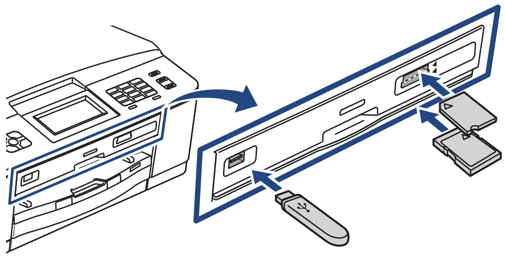
4 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

5 【透かしコピー】を押す

6 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

7 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。



⇒ 157 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

8 ステータスランプが点灯してから、【メディア】を押す

確認

■ ステータスランプが点滅しているあいだは、【メディア】を押さないでください。

9 画像を選ぶ

確認

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

■ 使用できないデータは、[?] と表示されます。

10 透かしの設定を行う

次の 4 項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【位置】：
  【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像が繰り返されます。
- 【サイズ】：
  【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  【-90° ／ -45° ／ 0° ／ +45° ／ +90° 】から選びます。
- 【透過度】：
  【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは

モノクロ スタート を、カラーでコピーするときは スタート カラー を押す

スキャンした画像を重ねてコピーする

1 コピー を押す

2 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 137 ページ「複数部コピーする」

3 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【便利なコピー設定】を押す

4 【透かしコピー】を押す

5 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

6 【スキャン】を押す

7 透かしに使用する原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」



透かしに使用する原稿

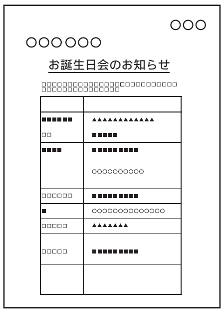
8 スタート カラー を押して原稿をスキャンする

スキャンが始まります。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付 録

9 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ 48 ページ「原稿をセットする」

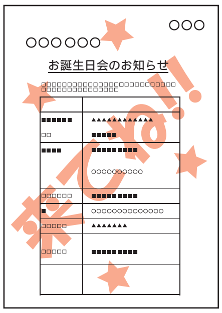


コピーする原稿

10 透かしの透過度を選び、【OK】を押す

【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは  を、カラーでコピーするときは  を押す



仕上がりイメージ

スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

第 7 章

デジカメプリント

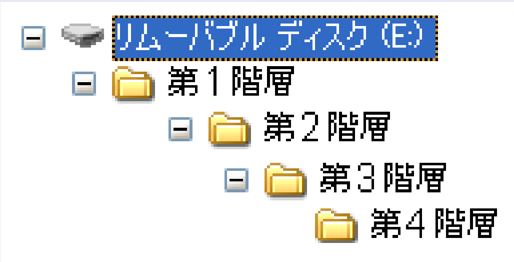
写真をプリントする前に

デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

確認

- L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
  ⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）
- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ (横幅が 8192 ピクセル以内) を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられたファイルは、インデックスプリント（⇒ 165 ページ「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- 本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 4 階層目までのフォルダに入っている画像しか認識しません。5 階層目以下にある写真をプリントするときは、パソコンでフォルダ階層を上げて保存し直すか、パソコンからのプリントに切り替えてください。

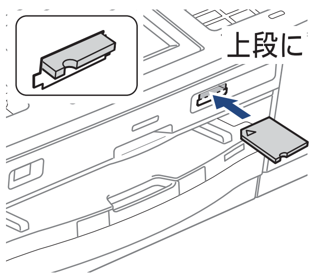
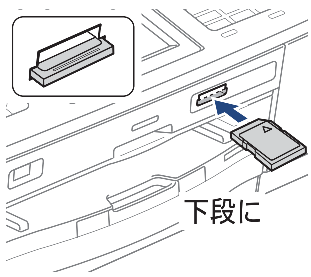
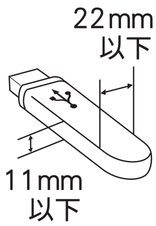
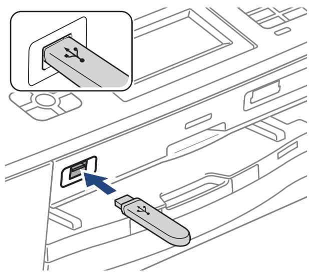


- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- Macintosh では、デスクトップ上にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったん［ゴミ箱］に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

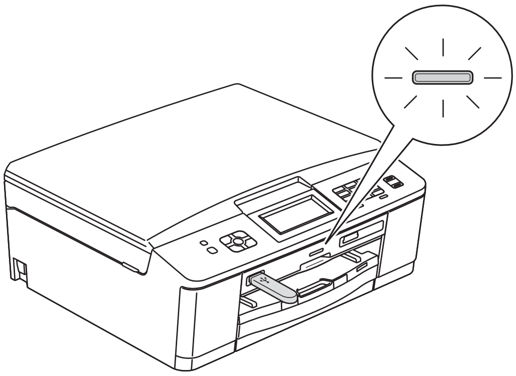
種類		セットする位置
• メモリースティック ™（最大 128MB） • メモリースティック PRO™（最大 32GB）		
• メモリースティック デュオ™（最大128MB） • メモリースティック PRO デュオ ™（最大 32GB）		
• メモリースティック マイクロ ™（M2™）（最大 32GB）	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード（最大 2GB） • SDHC メモリーカード（最大 32GB） • SDXC メモリーカード（最大 64GB） • マルチメディアカード（最大 2GB） • マルチメディアカード plus（最大 4GB）		
• miniSD カード（最大 2GB） • microSD カード（最大 2GB） • miniSDHC カード（最大 32GB） • microSDHC カード（最大 32GB） • マルチメディアカード mobile（最大 1GB）	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー（最大 32GB）		

確認

- ■ 著作権保護機能には対応していません。
- ■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- ■ 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。
- ■ ステータスランプが点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの読み取りまたは書き込み中は、ステータスランプが点滅します。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。



メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

ステータスランプが点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、ステータスランプが点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品とパソコンが USB 接続されている場合は、本製品にセットした USB フラッシュメモリーまたはメモリーカードを、パソコンから［リムーバブル ディスク］として利用することができます。
また、ネットワーク接続であっても、パソコンから本製品経由でアクセスする方法があります。本製品にセットしたメディアにパソコンからアクセスする方法について詳しくは、下記をご覧ください。

- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

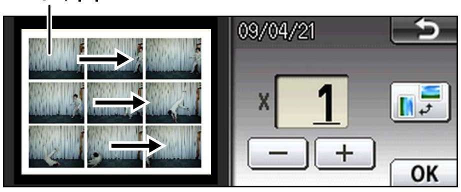
本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の記録紙にプリントすることができます。

動画　　写真



写真と共に保存されている動画も
表示されます

1コマ目



印刷設定画面



出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 160 ページ「写真をプリントする」

確認

- ■ 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- ■ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。
使用できないデータは、? と表示されます。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
RSS
こんなときは
付　録

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

> パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスしている間は、デジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を見る / プリントする

[かんたんプリント]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを差し込む

⇒157ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」

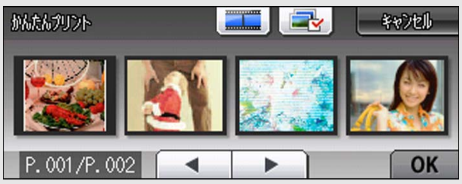
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

> デジカメプリントが点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。



2 【かんたんプリント】を押す

> メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。



> ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。
>
> 画面上部のを押すとスライドショーが始まります。
> ⇒170ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する」

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

> メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、を押します。100枚目までの画像をすべて1枚プリントするように設定できます。
> ⇒169ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

4 【−】/【+】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す



- プリント枚数表示の 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。
- を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

5 手順 3、4 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

6 画面で設定を確認する



- を押すと、自動で色や明るさを補正することができます。
- 画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

7 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）*1 を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか？／はい／いいえ】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 【はい】を押す

(2) 【印刷設定】を押す

◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(3) 【記録紙サイズ】を押す

(4) 記録紙のサイズを選ぶ

◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。

(5) モノクロスタート または カラースタート を押す

◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

*1 デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した写真のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

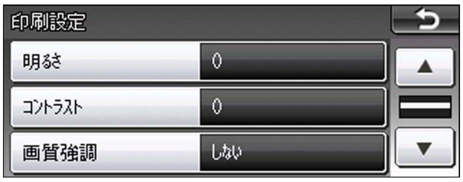
※DPOF から動画のプリントはできません。

設定を変えてプリントするには

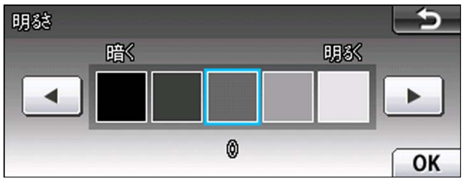
デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。

例：明るさ

【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ【明るさ】を押す



【◀】/【▶】で設定値を選ぶ



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。
- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

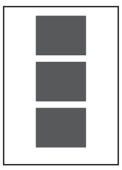
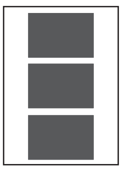
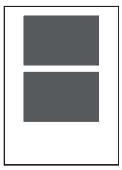
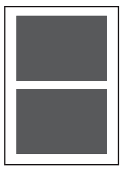
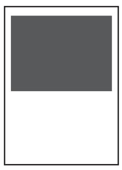
※DPOF を使用していない場合に設定できます。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷
					

(4) 明るさ（こだわりプリントの【お好み色補正】では、調整できません。）

プリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すと明るくなり、【◀】を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（こだわりプリントの【お好み色補正】では、調整できません。）

プリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すとコントラストが強くなり、【◀】を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（こだわりプリントの【お好み色補正】では、調整できません。）

(1) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【画質強調】を押す

(2) 【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) 【◀】/【▶】でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

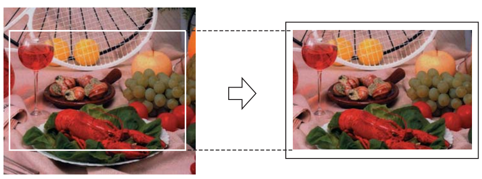
(6) 調整が終わったら、設定確認画面に戻るまで ⮌ を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した写真は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

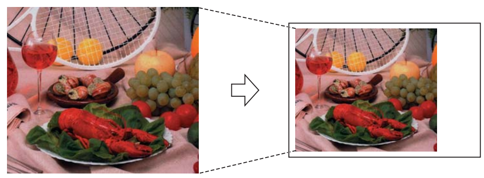
(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいにプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに画像をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※DPOF を使用していない場合に設定できます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(10) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(11) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真を L 判記録紙やはがきにプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 157 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

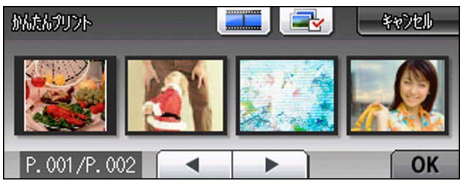
デジカメプリント が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。



3 【かんたんプリント】を押す

ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

4 プリントしたい写真を選ぶ



目的の写真が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

【◀】/【▶】を長押しすると画面を速くスクロールできます。

を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 【－】/【＋】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

プリント枚数表示の × 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

6 【OK】を押す

デジカメプリントの設定確認画面が表示されます。

7 【印刷設定】を押す

8 【記録紙タイプ】を押す

9 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【ブラザー BP61 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

10 【記録紙サイズ】を押す

11 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

12 を押して、設定確認画面に戻る

13 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した写真がプリントされます。

いろいろなプリント方法

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像データを、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

確認

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

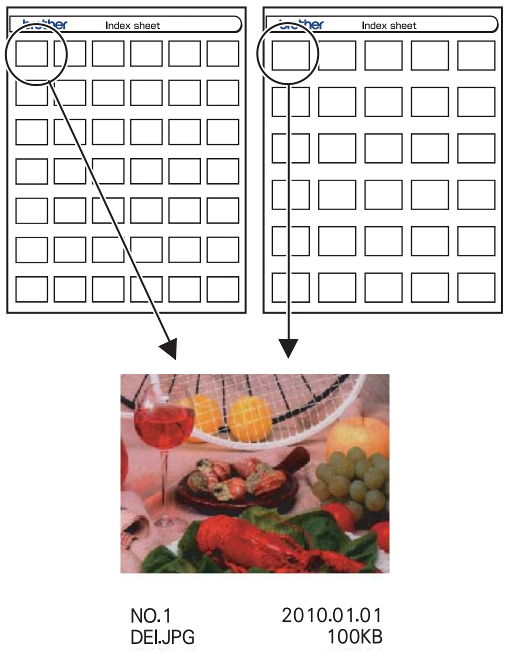
2 【インデックスプリント】を押す

3 【インデックスシート】を押す

4 インデックスのタイプを選ぶ

インデックスのタイプは、【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。

【速い / 1 行 6 個印刷】　【きれい / 1 行 5 個印刷】



5 （スタート カラー）を押す

記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- インデックス番号が 1 から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名も半角英数字であれば 20 字まで印字されます。全角文字は認識できません。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントされるのは、JPEG（.JPG）および MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）形式の画像です。

番号を指定してプリントする

[番号指定プリント]

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

3 【番号指定プリント】を押す

4 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、【OK】を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

> 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

5 画面で設定を確認する



> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

6 【－】/【＋】でプリント枚数を設定する

> プリント枚数表示の x 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

7 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

［こだわりプリント］

本製品には、下記 10 種類の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真も自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 [*1] の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を補正して被写体を明るくプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正＆赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

[*1] 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかったときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

「こだわりプリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている写真の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「FaceFilter Studio で写真をプリントする」

フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、[デジカメプリント] を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、【OK】を押す

5 目的に合った補正メニューを選ぶ

目的のメニューが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

補正後の画像が表示されます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、【▲】/【▼】/【◀】/【▶】でスクロールすることができます。
> を押すと、元に戻ります。
>
> 「肌色あかるさ補正」、「色あざやか補正」、「夜景補正」、「逆光補正」では、【◀】/【▶】で補正量が 3 段階で調節できます。
>
> 赤目を補正する場合は、補正できると顔が赤枠で囲まれます。補正できなかったときは、【赤目を検出できません】と表示されます。【もう一度やり直す】を押すと、再度、赤目検出を試みます。それでも【赤目を検出できません】と表示される場合は、それ以上の補正はできません。

6 【OK】を押す

7 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の [x 1] を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

8 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 [モノクロスタート] または [カラースタート] を押す

選択した画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。
ただし、一度にプリント設定できるのは 100 枚までです。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

3 ［アイコン］を押す

【すべての写真枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

100 枚目までの画像のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

合計で 100 枚を超えなければ、個別にプリント枚数を増減させることもできます。この場合は手順 4 のあとで、対象の画像を選び、表示される【－】/【+】で枚数を設定して【OK】を押します。

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する



画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

［アイコン］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択されたすべての画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

[スライドショー]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい画像が表示されたら、途中でもプリント設定に進めます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押す

3 （スライドショー）を押す

スライドショーが始まります。

4 終了するには（停止/終了）を押す

スライドショーが終了します。

スライドショーの途中でプリントする

1 プリントしたい画像が表示されている間に【OK】を押す

- かんたんプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 4 へ
- こだわりプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 2 へ

2 【お好み色補正】または【トリミング】、または両方を押した上で【OK】を押す

【お好み色補正】または【トリミング】で写真を補正しない場合はプリント設定に進めません。（戻る）を押して、スライドショーを終了してください。

3 選んだ画像を補正する

- お好み色補正
  ⇒ 167 ページ「色や明るさを補正してプリントする」手順 5、6
- トリミング
  ⇒ 171 ページ「画像の一部をプリントする」手順 5 ～ 7

4 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

プリント枚数表示の（x 1）を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

こだわりプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 6 へ

5 【OK】を押す

6 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合は、上記画面の（自動色補正）を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

選択した画像がプリントされます。

画像の一部をプリントする

［トリミング］

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントできます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 トリミングしたい画像を選ぶ

4 【トリミング】を押し、【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

【▲】【▼】【◀】【▶】で移動します。
【+】で拡大、【−】で縮小します。
［縦横切替］を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 【OK】を押す

7 トリミングを確認し、【OK】を押す

8 【−】/【+】でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

> プリント枚数表示の［×1］を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

9 画面で設定を確認する



プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 162 ページ「設定を変えてプリントするには」

10 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

トリミングした画像がプリントされます。

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した写真を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

PictBridge

確認

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- PictBridge使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定について

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOFプリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルカメラから設定ができない場合や、デジタルカメラでプリンター側の設定を優先するように設定した場合は、以下の設定でプリントされます。

- 記録紙サイズ：L 判
- ふちなし印刷：する
- 記録紙タイプ：その他光沢紙
- プリント画質：きれい
- 日付印刷：しない

写真をプリントする

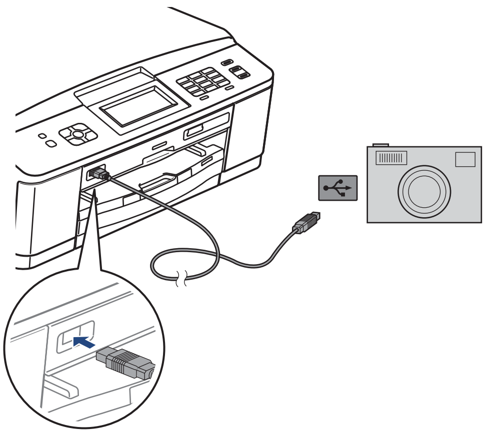
確認

- PictBridge 使用中は、ファクスの送信ができません。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



確認

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 172 ページ「デジタルカメラで行う設定について」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

確認

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

5 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
操作方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 161 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータをメディアに保存する　その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存できます。TIFFファイル形式（.TIF）またはPDFファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を1つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンした画像をメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する

［メディア：メディア保存］

1 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

2 原稿をセットする

⇒48ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

スキャンメニューが表示されます。



4 【メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

【カラー100 dpi／カラー200 dpi／カラー300 dpi／カラー600 dpi／モノクロ100 dpi／モノクロ200 dpi／モノクロ300 dpi】から選びます。

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は以下から選びます。

- 手順⑤で、カラーを選んだ場合
  【PDF／JPEG】
- 手順⑤で、モノクロを選んだ場合
  【TIFF／PDF】

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力する

ファイル名は6文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2012年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「120503XX」（「XX」は通し番号）になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、【×】を押して消去します。

8 【OK】を押す

9 モノクロスタート または スタートカラー を押す

【メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 読み取る原稿が1枚の場合⇒手順⑫へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順⑩へ

⑩【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

確認

■【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押すと、それまでに読み取っていたスキャンデータは次のようになります。

- PDF、TIFF 形式の場合は、すべて消去され、保存されません。
- JPG 形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータは消去され、それ以前のデータは保存されます。

操作しないで放置した場合は、約 1 分後に、PDF、TIFF、JPG 形式のいずれの場合も、それまでに読み取っていたスキャンデータを保存して自動的に終了します。

⑪ 次の原稿をセットして、モノクロスタート または スタートカラー を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順⑩、⑪を繰り返します。

⑫ すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

確認

■ ステータスランプが点滅しているときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

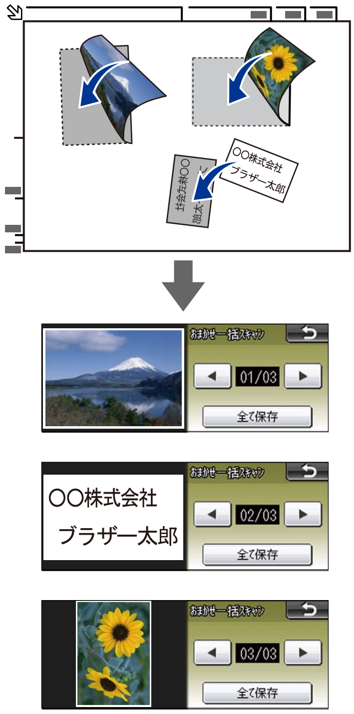
本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。

- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

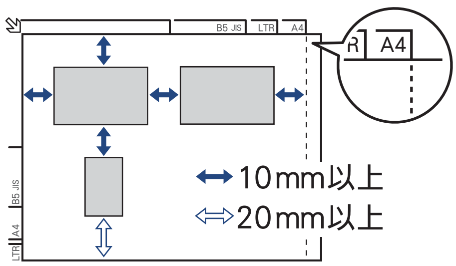


(1) **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

(2) **原稿をセットする**

下記に注意して原稿をセットしてください。

- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  右：A4 サイズのガイド線から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。



(3) スキャン を押す

(4) **【メディア保存】を押す**

(5) **【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ**

(6) 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF】または【TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8) 【オン】を押す

(9) または を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10)【OK】を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※【◀】/【▶】で前後の画像を確認できます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに画像が保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

設定を保持する

(1) を押す

(2) 【メディア保存】を押す

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4) 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1)、(2) のあと、手順 (4) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

第 8 章

RSS（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

RSS の準備

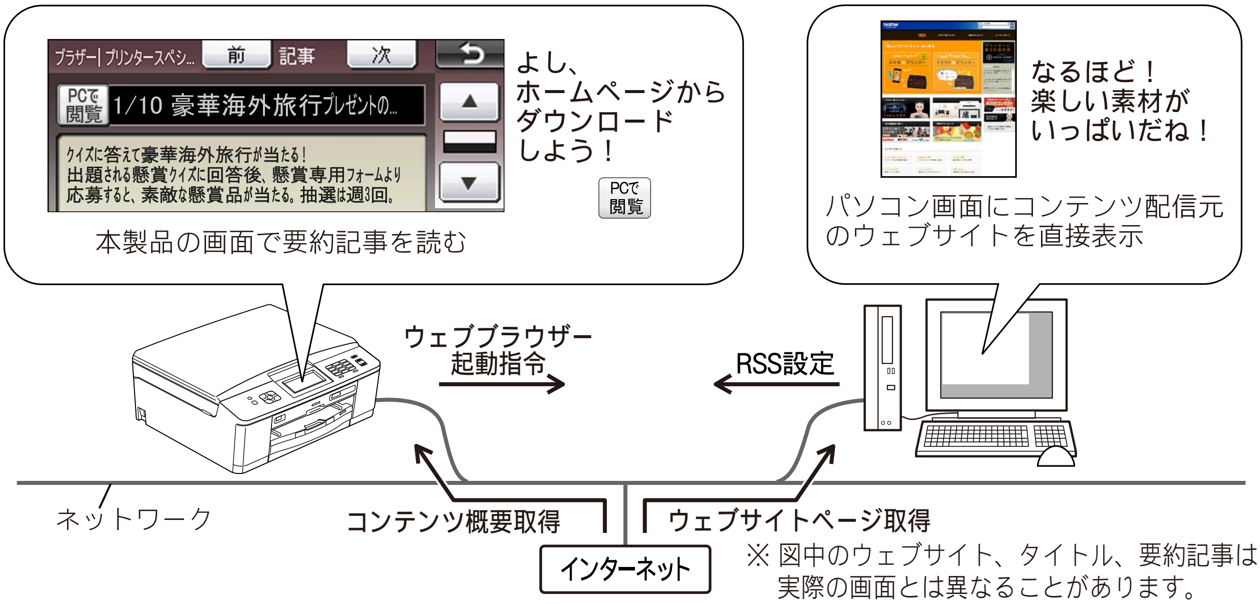
RSS 閲覧

RSS ステータス

RSS 機能とは

RSS の準備

RSS 機能とは、インターネット上のウェブサイト、特にニュースやブログなどから発信されるコンテンツの概要などを本製品の画面上に表示することができる機能です。指定された更新間隔で自動的に新しい情報を取得して表示します。
気になる情報を本製品の画面上で選択すると、ネットワーク上にあるパソコン（Windows®）でコンテンツ配信元のウェブサイトを表示し、更に詳しい情報を閲覧することもできます。



※ 図中のウェブサイト、タイトル、要約記事は実際の画面とは異なることがあります。

RSS 関連用語

本書内で使われているRSSに関連する用語を紹介します。

- **RSS**

  ニュースやブログなど各種のウェブサイトの更新情報を簡単にまとめ、配信するための文書フォーマットの総称です。
  本製品で対応している RSS 形式は RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 です。

- **フィード**

  ウェブサイトのコンテンツの概要をRSS/Atomなどの文書形式で配信することです。

- **プロキシ**

  ユーザーのコンピューターとインターネットとの間に設置され、直接インターネットに接続できないユーザーのコンピューターに代わって「代理」としてインターネットとの接続を行うコンピューターのことです。

各種ウェブサイトにおける RSS 配信について

お客様がご覧になっているすべてのウェブサイトが RSS 配信を行っているわけではありません。各ウェブサイト上で、「RSS について」というような案内がないかを、また、RSS 配信を行っているウェブサイトでは下記のような表示をしていることも多いので、これらの表示なども探してみてください。本製品には、各ウェブサイト上で紹介されている RSS サイトの URL（形式例：http://****************.xml）を登録します。

RSS配信を行っていることを示すマークの例



フィードアイコン（ ）の使用に関しては、Mozilla Foundationによって制定されたフィードアイコンガイドラインに準拠しています。

ネットワークの接続を確認する

RSS 機能を使用するためには、本製品がネットワークに接続されている必要があります。あらかじめネットワークの接続および設定を行ってください。
⇒かんたん設置ガイド

確認

- RSS 機能を使用するためには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要です。また、プロバイダーとの契約が、従量課金制または定額従量課金制である場合は、RSS の接続時間に応じて（定額従量課金制の場合は決められた時間を越えた場合に）通信料が発生します。
- インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、本製品にもプロキシサーバーの情報を設定する必要があります。
⇒ 183 ページ「プロキシを設定する」
- RSS 機能は USB 接続では使用できません。必ず、無線 LAN で本製品を接続してください。
- 本製品で RSS のコンテンツを選んで【PC で閲覧】を押すとパソコンでウェブサイトを表示しますが、これは本製品とパソコンをともにネットワークに接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動している場合にのみ可能です。
「RSS 連携ユーティリティ」のインストールについては、かんたん設置ガイドをご覧ください。
- Macintosh をお使いの方は、本製品の画面では RSS を表示できますが、【PC で閲覧】で Macintosh にウェブサイトを表示させることはできません。また、本製品付属のソフトウェア「RSS 連携ユーティリティ」は Macintosh に対応していません。

RSS の設定をする

RSS を設定するためには、次の 2 とおりの方法があります。

- 本製品の RSS メニューから設定する
- ネットワーク上のパソコンで「RSS 連携ユーティリティ」を使用して設定する（Windows® のみ）

－ RSS の設定を本製品とパソコンで行う場合の比較－

設定項目	本製品	RSS 連携ユーティリティ（Windows® のみ）
サイトの URL 登録	○	○
登録サイトの一覧表示	○	○
登録サイトの変更	○	○
登録サイトの削除	○	○
登録サイトのタイトル変更	×	○
登録サイトの表示順変更	×	○
登録希望サイトの URL の取り込み、リスト作成	×	○
RSS のオン / オフ設定	○	○
プロキシ設定	○	○
更新間隔の設定	○	○
RSS 最新情報の手動更新	○	×
RSS スクロール速度の変更	○	×
ウェブサイトを閲覧するパソコンの選択および固定	○	×

お使いのパソコンが Windows® であれば、RSS に関する設定は「RSS 連携ユーティリティ」から行うことをお勧めします。パソコン上ではマウス操作のドラック & ドロップや、キーボードによる入力が行えるため、URL の登録などは本製品で 1 文字ずつ入力する場合に比べて非常に簡単なためです。また、いくつかの設定がひとつの画面で一度にできます。

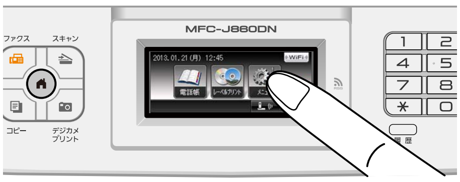
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能の設定をする」

RSS サイトの URL を登録する

本製品から登録する場合の手順です。
RSS を本製品の画面に表示させるためには、情報を取得したい RSS サイトの URL を登録する必要があります。

- お買い上げ時は、弊社プリンタースペシャルサイトが登録されています。無料素材をダウンロードしたり、お楽しみコンテンツが見られるウェブサイトです。年賀状などのカード素材やコンテスト・プレゼント企画などの情報が定期的に更新されます。
- 登録サイトは最大 8 箇所まで設定できます。
- RSS サイトタイトルは、「サイト 2」などと表示され、本製品から登録 / 変更することはできません。サイトタイトルを変更したい場合は、「RSS 連携ユーティリティ」を使用します。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能の設定をする」

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【登録サイト】を押す

登録されている RSS サイトの一覧画面が表示されます。

4 【メニュー】を押す

5 【URL 登録 / 変更】を押す

6 「未登録」と表示されているバーを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

7 画面に表示されているキーボードで URL を入力し、【OK】を押す

- 「http://」よりうしろの部分を入力してください。
- 「http://」を含めて最大 160 文字まで入力できます。
- 国際化ドメイン名（日本語など）には対応していません。

⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

RSS サイトが登録されます。
- 登録を続ける場合⇒手順 4 へ
- 登録を終了する場合⇒手順 8 へ

8 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS サイトの URL を変更する

登録されている RSS サイトの URL を変更することができます。

- RSS の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、【メニュー】、【RSS】、【RSS 設定リセット】の順に押します。

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 5 を行う

2 変更したい URL のバーを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 画面に表示されているキーボードで URL 変更し、【OK】を押す

⇒ 280 ページ「文字の入力方法」

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

登録している RSS サイトを消去する

登録されているRSSサイトを消去することができます。

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 4 を行う

2 【URL 消去】を押す

3 消去したい RSS サイトを押す

4 項目目以降を選ぶ場合は、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。
複数の RSS サイトを消去したい場合は、続けて RSS サイトを押します。

チェックボックスにチェックマークが付きます。

4 【OK】を押す

【URL を消去しますか ?/ はい / いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

手順 3 でチェックマークが付いた RSS サイトが消去されます。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS の情報取得間隔を設定する

［更新間隔］

RSS の情報取得間隔を設定することができます。設定された間隔で本製品が自動的にインターネットに接続します。

> お買い上げ時は【2 時間】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【更新間隔】を押す

4 希望の更新間隔を選ぶ

【2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間】から選びます。

5 停止 / 終了 を押して設定を終了する

プロキシを設定する

インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、プロキシ設定を行います。

プロキシ情報を調べる

お使いのパソコンなどですでにインターネットを使用している場合は、インターネット接続環境がプロキシサーバー経由であるかどうかを、以下の方法で調べることができます。
ユーザー認証やパスワードを必要とする場合など、以下の方法で調べてもわからない場合は、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者またはネットワーク管理者に問い合わせてください。

● Windows® の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にあるパソコンでウェブブラウザーを起動する

2 ツールバーのメニューから、[ツール] − [インターネットオプション] の順にクリックする

3 [接続] タブを選び、[LAN の設定] をクリックする

4 [プロキシ　サーバー] の [LAN にプロキシ　サーバーを使用する] にチェックがあるかどうかを確認する

チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

● Macintosh の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にある Macintosh を起動する

2 アップルメニューから「システム環境設定」を開く

3 [ネットワーク]、[詳細]、[プロキシ] の順にクリックする

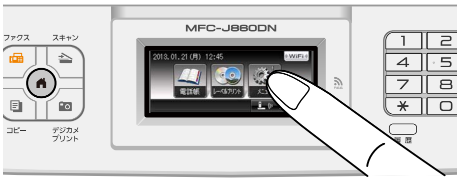
4 [構成するプロトコルを選択 :] のいずれかの項目にチェックがついているかどうかを確認する

チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

「RSS 連携ユーティリティ」（Windows® にのみ対応）には、パソコンのインターネットオプションに設定されているプロキシ情報（アドレス、ポート名）をワンクリックで取り込む機能があります。

プロキシ設定する

1 【メニュー】を押す



2 【ネットワーク】を押す

3 【Web 接続設定】を押す

4 【プロキシ設定】を押す

5 【アドレス】を押す

6 画面に表示されているキーボードでアドレスを入力し、【OK】を押す

80 文字以内で入力します。

7 【ポート】を押す

8 画面に表示されているキーボードでポート番号を入力し、【OK】を押す

> お買い上げ時は【8080】に設定されています。

9 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【ユーザ名】を押す

プロキシ使用時にユーザー認証が必要な場合は、ここでユーザー名と手順 11、12 でパスワードを入力します。

10 画面に表示されているキーボードでユーザー名を入力し、【OK】を押す

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を 32 文字以内で入力します。

11 【パスワード】を押す

12 画面に表示されているキーボードでパスワードを入力し、【OK】を押す

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを 32 文字以内で入力します。

13 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【プロキシ経由接続】を押す

14 【オン】を押す

> お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

15 停止 / 終了 を押して設定を終了する

RSS を表示する

本製品に RSS を表示させるには RSS 設定を【オン】にする必要があります。

お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【RSS】を押す

4 【オン】を押す

インターネットの使用に関する承諾許可の画面が表示されます。

確認

■ このあと【はい】を選ぶと、インターネットに接続します。プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 179 ページ「ネットワークの接続を確認する」

5 【はい】を押す

RSS機能が有効になります。インターネットに接続し、最新情報を取得します。その後はあらかじめ設定した更新間隔（初期値は 2 時間ごと）に従って、情報を更新します。
電話回線を利用するダイヤルアップ接続の場合、モデムやターミナルアダプターで切断（タイムアウト）が設定されていない限り、いったんインターネットに接続すると最新情報の取得後も、回線は切断されません。

6 【停止 / 終了】を押して設定を終了する

RSS が待ち受け画面に表示されます。

RSS を閲覧する

RSS 閲覧

待ち受け画面の RSS 表示について

RSS は待ち受け画面の最上部に表示され、右から左へスクロールします。



※ 図中のRSSサイト、見出し、
要約記事は架空のものです。

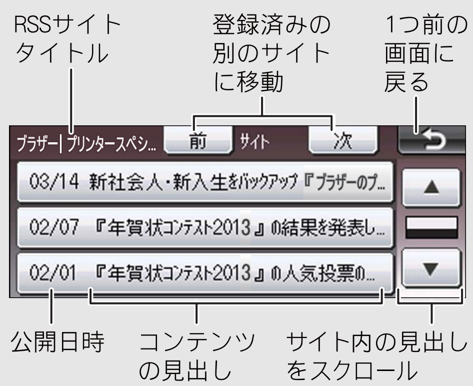
RSS コンテンツを表示する

待ち受け画面で流れているコンテンツの見出しを一覧表示させたり、それぞれの要約記事を本製品の画面で読むことができます。また、気になる記事は、RSS配信元のウェブサイトをネットワーク上のパソコンにワンタッチで表示させて、より詳しい内容を閲覧することもできます。

1 待ち受け画面の RSS 表示（1）を押す



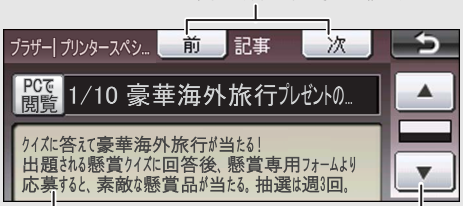
RSS のコンテンツの見出し一覧が表示されます。



コンテンツの公開日時の新しいものから順に最大 10 件が表示されます。

2 表示された一覧の中から読みたいコンテンツの見出しを押す

要約記事が最大で 200 文字まで表示されます。コンテンツ配信元から要約記事が提供されていない場合、記事欄は空白です。



- より詳しい内容をパソコンで見たい場合（Windows® のみ）⇒手順 3 へ
- 記事の閲覧を終了する場合
  ⇒ [戻る] を押して、コンテンツ見出し一覧画面に戻ります。
- RSS の閲覧を終了する場合
  ⇒ [停止 / 終了] を押して、待ち受け画面に戻ります。

3 【PC で閲覧】を押す

現在ウェブサイトを表示させることのできるパソコンの一覧が表示されます。

確認

■ ウェブサイトをパソコンで閲覧するときは、下記すべての条件が整っていることを確認してください。条件が整っていない場合、本製品の【PC で閲覧】がグレー表示となり、パソコンに情報を送れません。

- パソコンはネットワーク接続されている（どこかで切断されていないか）
- パソコンの電源が入っている
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」が起動している
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「RSS 連携ユーティリティを起動する」

すべての条件が整っていても【PC で閲覧】がグレー表示となる場合は、⇒ 188 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。

■【PC で閲覧】は Macintosh には対応していません。

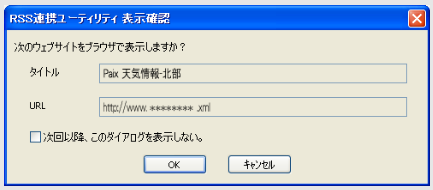
■ ウェブサイトの URL が取得できない場合や、URL が 256 文字以上の場合は、【PC で閲覧】がグレー表示となりパソコンに情報を送れません。

■ パソコンでウェブサイトを表示させる場合、プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒179ページ「ネットワークの接続を確認する」

4 ウェブサイトを閲覧するパソコンを選択して、【OK】を押す

あらかじめ閲覧するパソコンを設定しておくと、ここでパソコンを選択する手順を省略することができます。
⇒ 189 ページ「閲覧するパソコンを設定する」

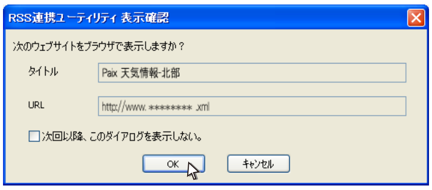
パソコンの画面に［RSS 連携ユーティリティ表示確認］のダイアログボックスが表示されます。



確認

■ パソコン一覧に目的のパソコンが表示されない場合は、⇒ 188 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。

5 パソコン上のダイアログボックスの［OK］をクリックする



パソコンのウェブブラウザーが起動し、指定されたウェブサイトが表示されます。

パソコンでウェブサイトを表示できないときは

下記のような場合は、ネットワークで接続されているパソコンが本製品で正しく認識されていないことが考えられます。

- 本製品とパソコンをともにネットワークで接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していても、本製品の画面で【PC で閲覧】がグレー表示になり、操作できない。
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動し、【PC で閲覧】を押しても、本製品の画面に表示されるパソコン一覧に目的のパソコンが表示されない。

パソコンで次の操作を行ってください。

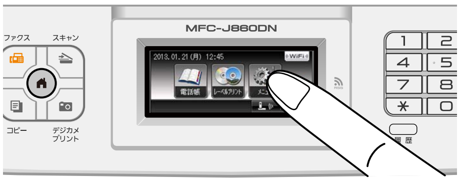
(1) タスクトレイの をクリックして、表示されるメニューから［設定］－［(目的のデバイス)］を選択する
(2) ［RSS 連携ユーティリティ］ダイアログボックスで［検索］をクリックする
(3) ［デバイスの検索］ダイアログボックスで本製品を選び、［OK］をクリックする
(4) ［RSS 連携ユーティリティ］ダイアログボックスが表示されたら［OK］をクリックする

RSS の最新情報を取得する

［手動更新］

【更新設定】で設定されている更新間隔に関係なく、手動更新をすることで最新の情報を取得できます。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【更新間隔】を押す

4 画面右上の【手動更新】を押す

【受付けました】と表示され、インターネットに接続します。

5 停止／終了 を押して設定を終了する

RSS の設定を変更する

スクロール速度を変更する

［スクロール速度］

待ち受け画面のRSS表示のスクロール速度を変更することができます。

お買い上げ時は【標準】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【スクロール速度】を押す

4 希望のスクロール速度を選ぶ

【速い／標準／遅い】から選びます。

5 停止／終了 を押して設定を終了する

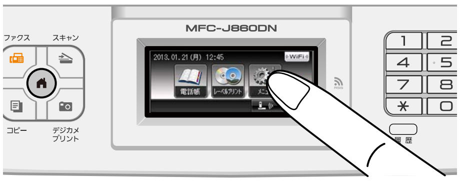
閲覧するパソコンを設定する

［閲覧 PC 設定］

ウェブサイトを表示させるパソコンが常に同じであれば、そのパソコンをあらかじめ本製品に設定しておくことをお勧めします。【PC で閲覧】でパソコンにウェブブラウザー起動指令を出すたびに、サイトを表示するパソコンを選択する必要がなくなります。

お買い上げ時は【閲覧 PC を選択しない】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【閲覧 PC 設定】を押す

ネットワーク上にある設定可能なパソコンが一覧表示されます。

確認

■ パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していないと、本製品の設定画面に表示されません。ウェブサイトの閲覧を希望するパソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動させてください。

4 希望のパソコンを選び、【OK】を押す

5 停止／終了 を押して設定を終了する

RSS の取得状態を確認する　RSS ステータス

RSS の取得が正常に行われているかどうかを確認することができます。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【RSS ステータス】を押す

登録した RSS サイトの更新情報について、個々に取得状態を表示します。表示の内容については下表をご覧ください。

4 RSS ステータスの確認が終了したら、停止 / 終了 を押す

ステータス	状態および対処法	
正常	最新の情報の取得が正常に終了している。	
データエラー： 非対応形式	登録した RSS サイトのデータの形式が、本製品で対応可能な RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 以外である。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
データエラー： 非対応文字コード	登録したRSSサイトで使用されている文字のコードが、本製品で対応可能な UTF-8、Shift-JIS、iso-8859-1 以外である。	
データエラー： フィード異常	配信データが壊れている。	本製品には問題がありません。RSS 配信元のデータ修復をお待ちください。
データエラー： 表示情報無し	表示する情報が含まれていない。	本製品には問題がありません。RSS 配信元からのデータ配信をお待ちください。
接続エラー： アクセス先のアドレス不明	RSS サイトのアドレスに誤りがある。	RSS サイトのアドレスを再度確認し、設定し直してください。
接続エラー： サーバへの接続失敗	RSS サイトのアドレスに誤りがある。 プロキシのアドレスに誤りがある。 ネットワークやサイトが混み合っている可能性がある。	いずれかもしくはすべてを順に確認し、接続または設定し直してください。正しく接続および設定できている場合は、しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： タイムアウト	ネットワークやサーバーが混み合っている。	しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： サーバへの接続不可	対応可能なデータサイズを超えているか、本製品では対応できない認証を必要とする RSS サイトである。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
接続エラー： サーバへの認証失敗	プロキシのアカウント名、パスワードに誤りがある。	アカウント名、パスワードに誤りがないかを確認してください。わからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせて、正しく設定し直してください。
未接続	まだ RSS サイトへの接続を開始していない。	接続されるまでお待ちください。
未登録	RSS サイト URL が登録されていない。	

第 9 章

こんなときは

日常のお手入れ

困ったときは

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

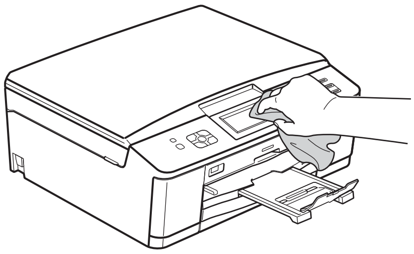
複合機本体

タッチパネルを清掃する

確認

- タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフしてください。
- 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

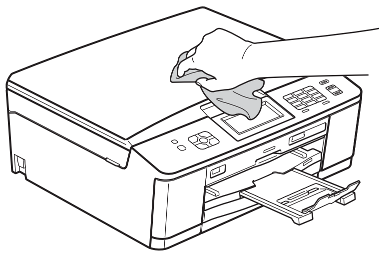


外側を清掃する

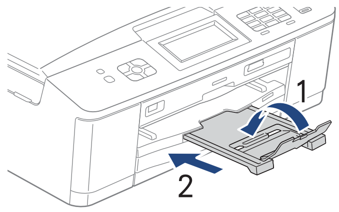
確認

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

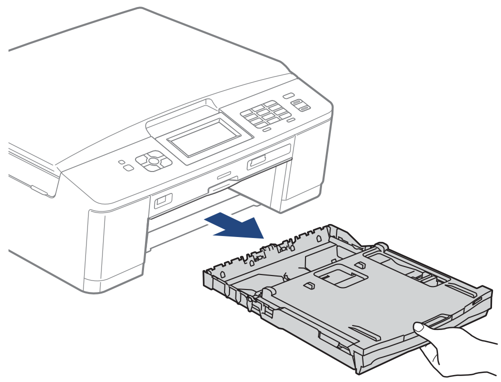
1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で複合機本体を軽く拭く



2 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて（1）、格納する（2）



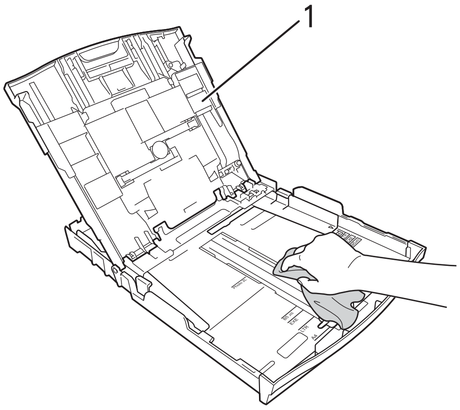
3 記録紙トレイを引き出す



❹ トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

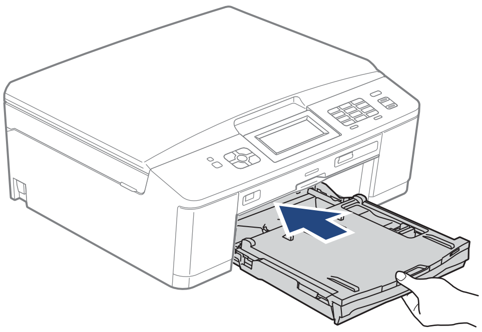
⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



❺ トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー（読み取り部）を清掃する

スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

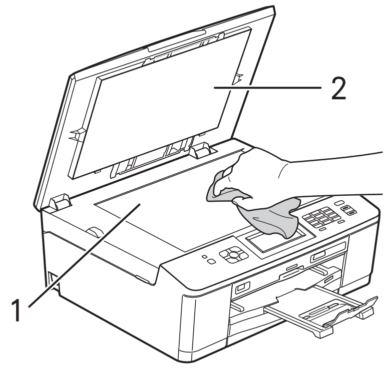
確認

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

❶ 電源プラグをコンセントから抜く

❷ 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。



❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

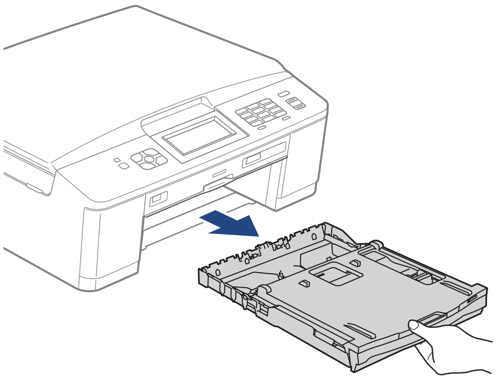
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙のおもて面が汚れたり給紙されにくくなったりします。

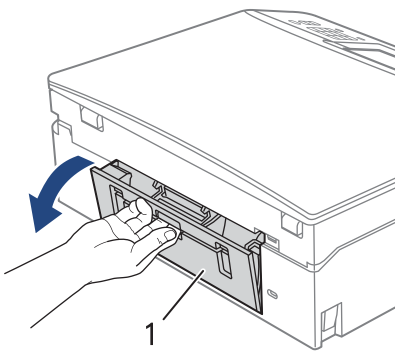
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

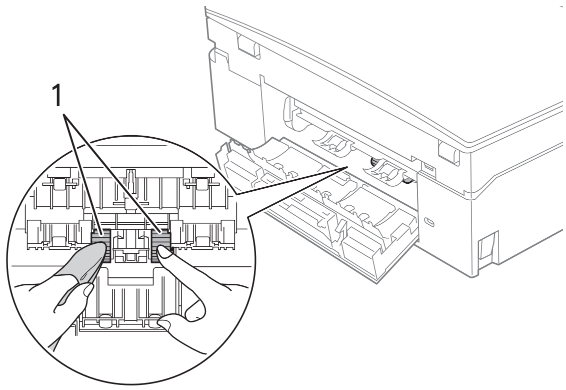


4 複合機本体の背面の紙づまり解除カバー（1）を開く



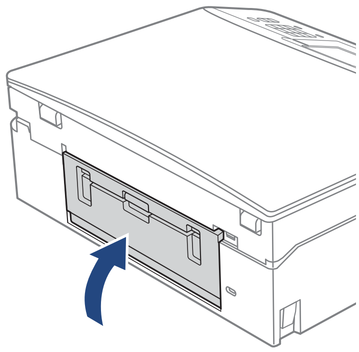
5 給紙ローラー（1）を拭く

一方のローラーを縦方向にゆっくりと回転させながら、もう一方のローラーを横方向に拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。もう一方も同様にして左右のローラーを拭いてください。

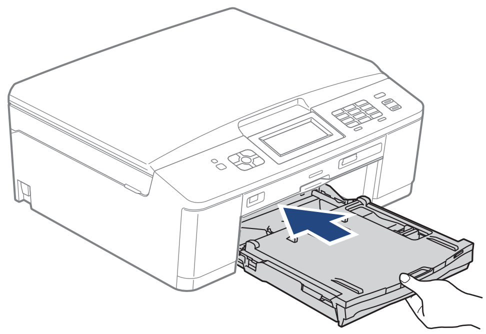


6 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



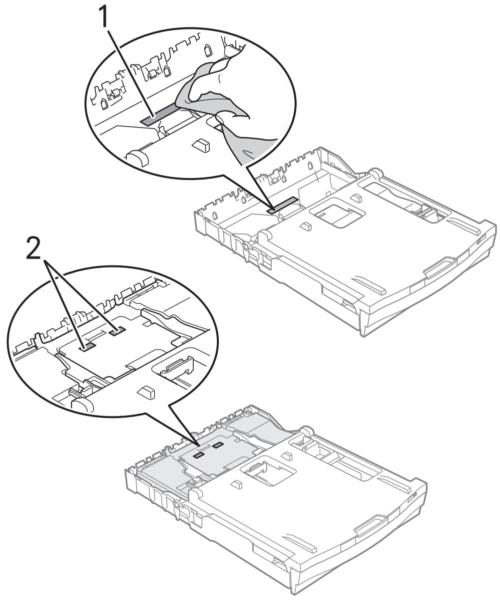
7 記録紙トレイを元に戻す



8 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分（1）とスライドトレイのコルク部分（2）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。



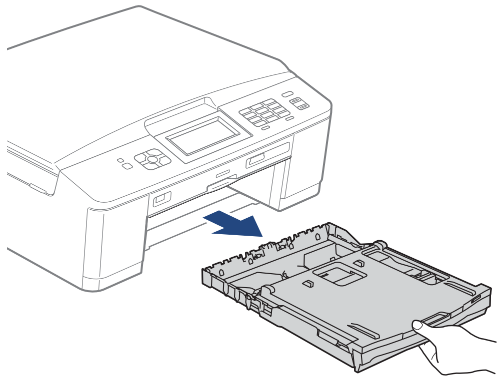
排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、自動両面印刷（MFC-J860DN/J860DWNのみに搭載の機能）ができなくなったりします。

1 電源プラグをコンセントから抜く

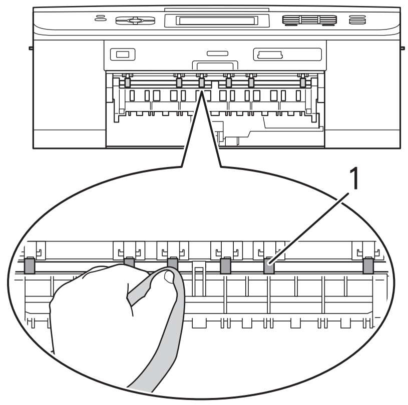
2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙トレイを引き出す



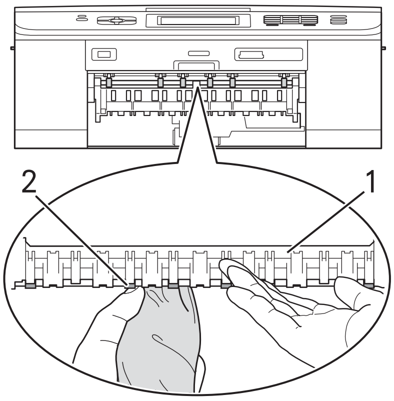
4 排紙ローラー（1）を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



5 **フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラー（2）の裏側を拭く**

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



6 **記録紙トレイを元に戻す**

7 **電源プラグをコンセントに差し込む**

本体内部を清掃する

記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。

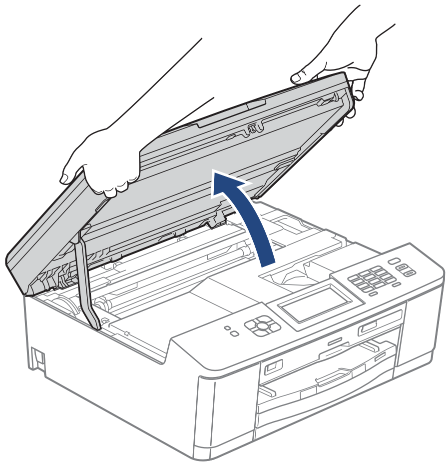
⚠警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 **電源プラグをコンセントから抜く**

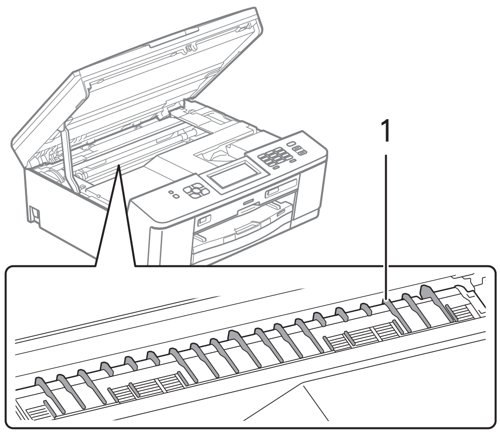
2 **両手で複合機の本体カバーを開く**

本体カバーは保持される位置まで上げてください。



3 **柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く**

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

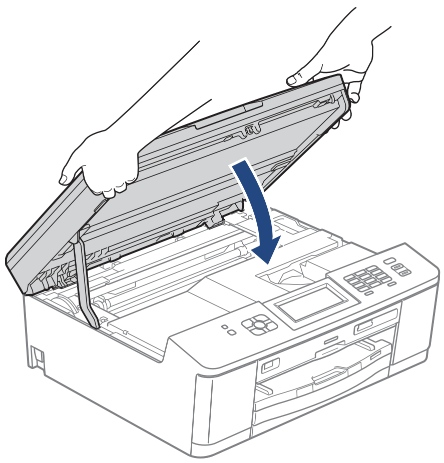


4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉じる

⚠注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。



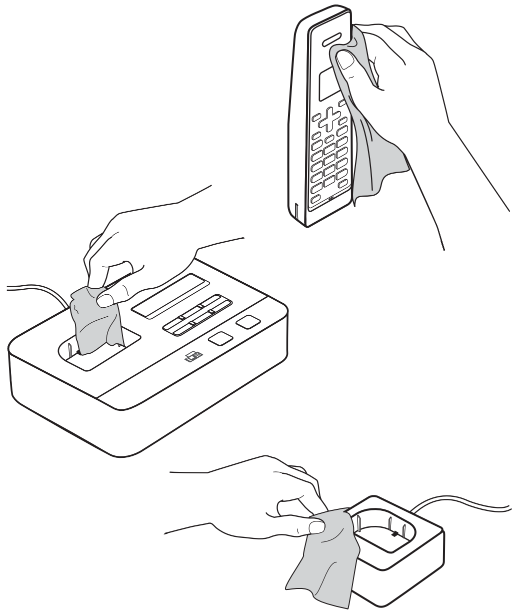
5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機 / 通信ボックス / 子機充電器

1 子機を外し、切 を押す

2 通信ボックスまたは子機充電器の電源プラグを抜く

3 それぞれを乾いた柔らかい布で拭く



4 通信ボックスまたは子機充電器の電源プラグをコンセントに差し込む

5 子機を戻す

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき（例：ブラックインクの場合）：【印刷できません　インク交換 BK ブラック】

確認

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定する必要があります。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプは、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができません。

- 空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- パソコンからの印刷時、印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］にチェックをしている場合（パソコン、複合機本体のそれぞれでいったん印刷を中止し、［乾きにくい紙］のチェックを外せば、印刷ができるようになります。）

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。
⇒ 202 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 320 ページ「消耗品」
⇒ 325 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

確認

■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

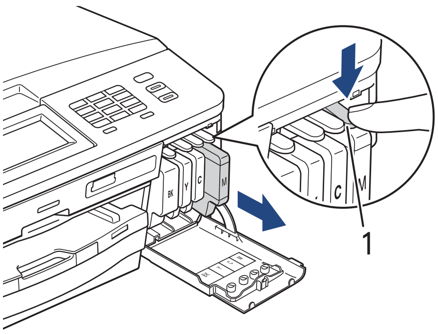
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）

■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

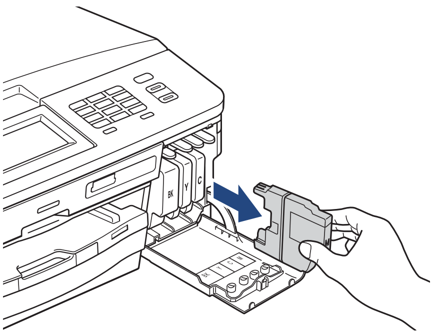
■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

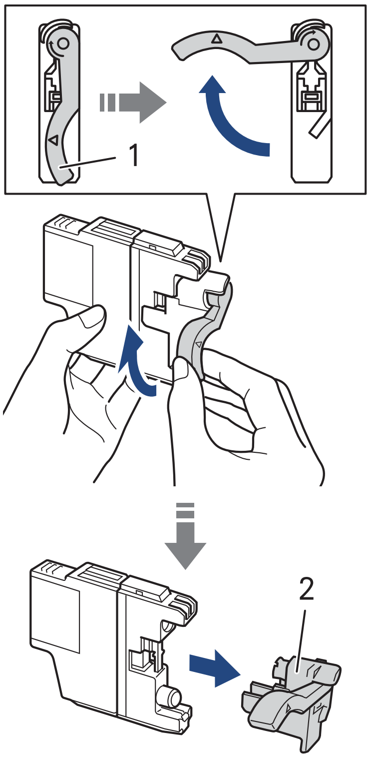


3 インクカートリッジを取り出す



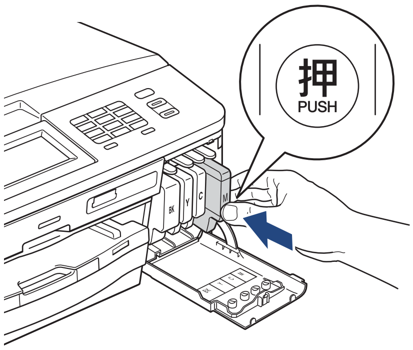
4 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色の取っ手（1）を時計回りに回転させて封印を開放し、オレンジ色の保護カバー（2）を引き抜きます。

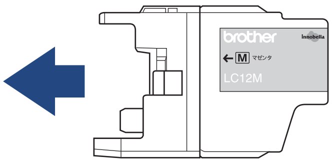


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

「カチッ」と音がしてリリースレバーが上がるまで、「押」の部分を押し込みます。



インクカートリッジは、複合機本体に向かって左側にラベル面がくるようにして、垂直に差し込みます。



確認

■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。
⇒ 203 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

6 インクカバーを閉じる

- インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

確認

■ 画面に【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。

■ 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。

■ インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 325 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

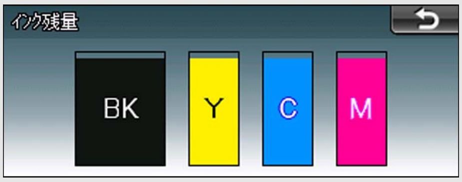
[インク残量]

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面の を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。



3 停止 / 終了 を押して確認を終了する

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。

- Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」
- Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「本製品の設定を確認・変更する」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

> 印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は、自動で定期的にプリントヘッドをクリーニングします。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

確認

- ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。
- ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、複合機本体の電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- On/Off で電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を極力抑えることができます。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

プリントヘッドは、手動でクリーニングすることもできます。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。


目詰まり時


正常

> ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 待ち受け画面の [インク] を押す

2 【ヘッドクリーニング】を押す

3 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

> 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 3 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 197 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 排紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 196 ページ「排紙ローラーを清掃する」

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 待ち受け画面の を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷品質チェックシート】を押す

5 を押す

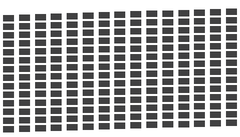
「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

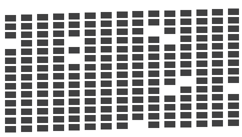
6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

<良い例>



<悪い例>



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 11 へ進みます。

【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。手順 7 へ進みます。

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？スタートボタンを押す】と表示されます。

9 を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

10 を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

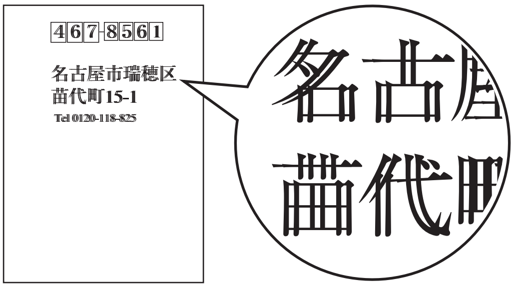
11 を押してチェックを終了する

確認

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」

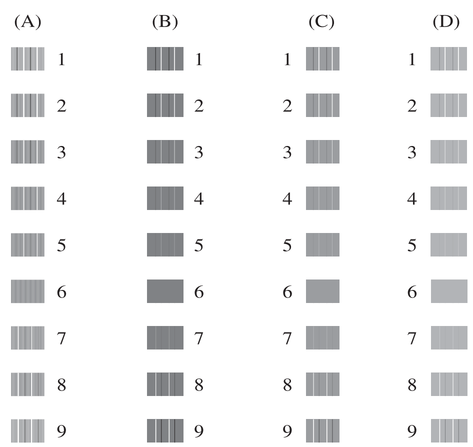
2 待ち受け画面の［カラー］を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷位置チェックシート】を押す

5 ［スタート カラー］を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。



6 (A) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

7 (B) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

8 (C) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

9 (D) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

10 ［停止／終了］を押してチェックを終了する

子機のバッテリーを交換するときは

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

⚠危険

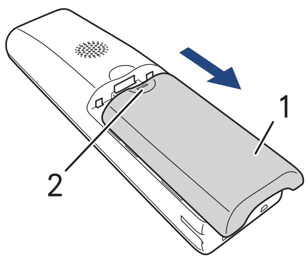
バッテリーの取り扱いは、充分にご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

確認

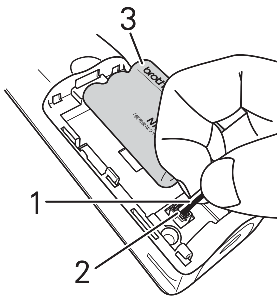
- ■ バッテリーを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。
- ■ バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、剥がしたり傷付けたりしないでください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

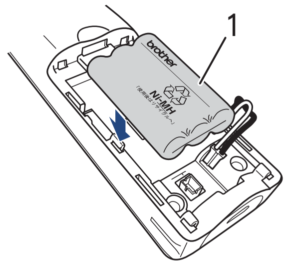
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



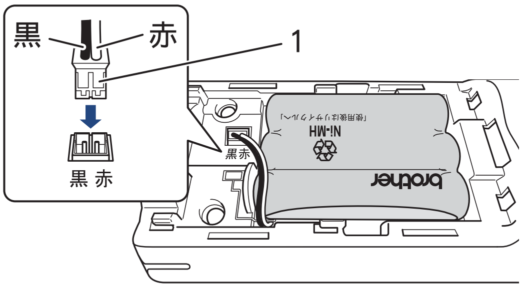
2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を引き抜き、バッテリー（3）を取り出す



3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

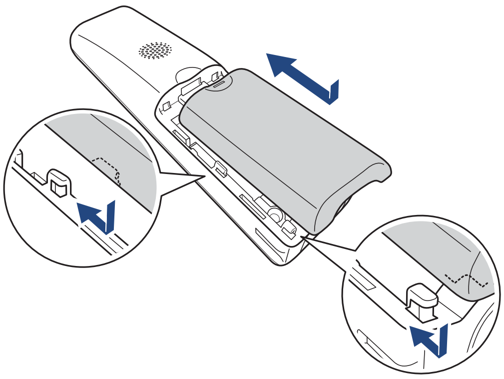


4 バッテリーコードの黒 / 赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込む



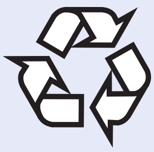
5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



確認

- ■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
  - ビニールカバーは、はがさないでリサイクル箱へ
  - 分解しないでリサイクル箱へ
- ■ 使用済み電池の届け出先は、278 ページをご覧ください。



紙が詰まったときは

困ったときは

確認

■ 紙づまりが解消されても本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 何度も紙が詰まるときは…。

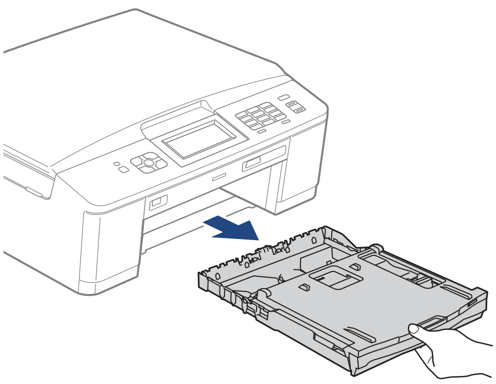
- 紙の曲がりや反りを直して使用してください。
  ⇒ 39 ページ「専用紙・推奨紙」
- 給紙ローラーを清掃してください。
  ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
- 紙づまり解除カバーがしっかりと閉じられていることを確認してください。
  MFC-J810DN/J810DWN
  ⇒ 208 ページ「MFC-J810DN/J810DWN をご利用の場合」手順 8
  MFC-J860DN/J860DWN
  ⇒ 212 ページ「【記録紙が詰まっています　後ろ】と表示されたとき」手順 4
- 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
- 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
  ⇒ 39 ページ「専用紙・推奨紙」
- それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。

MFC-J810DN/J810DWN をご利用の場合

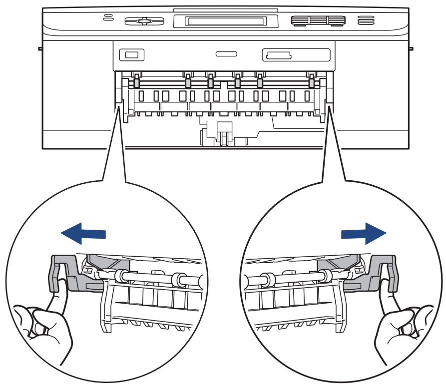
画面に、【記録紙が詰まっています】と表示されたら、次のように対処してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

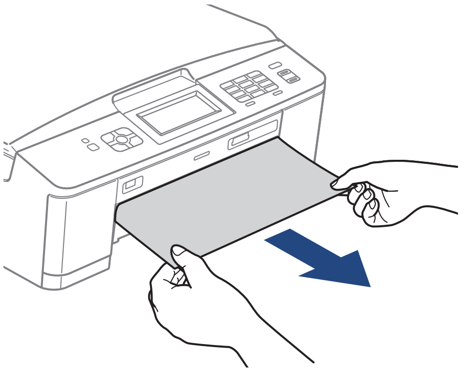


3 複合機本体の内側に正面から手を入れ、両端にある緑色のレバーを手前に引く



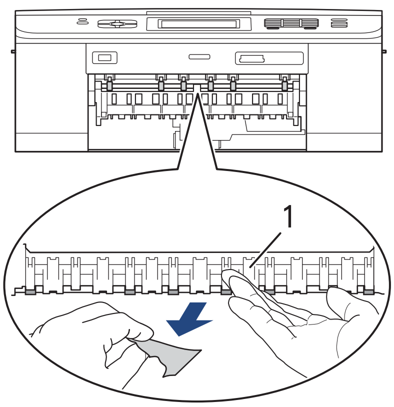
4 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります



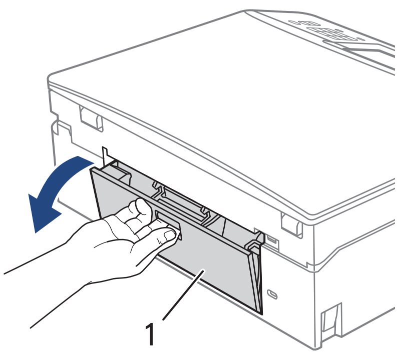
5 フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



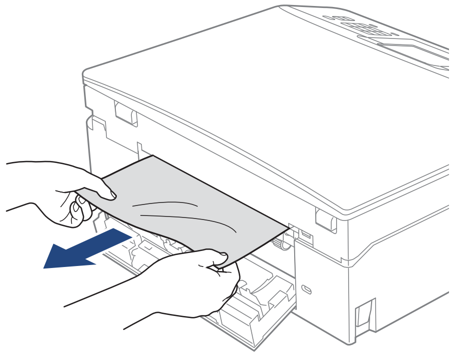
6 複合機本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



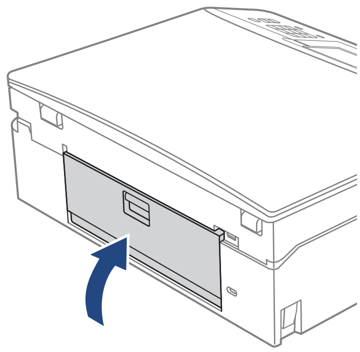
7 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



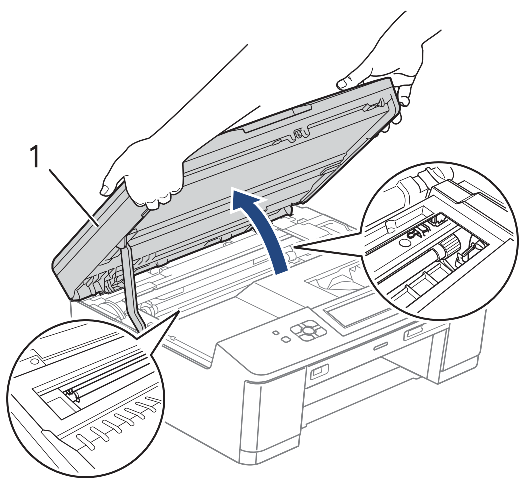
8 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



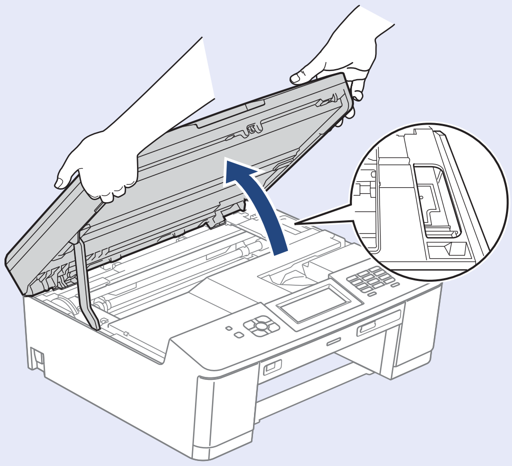
9 両手で複合機の本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーは保持される位置まで上げてください。
残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。



確認

- ■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- ■ 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- ■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、
停止 / 終了 を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

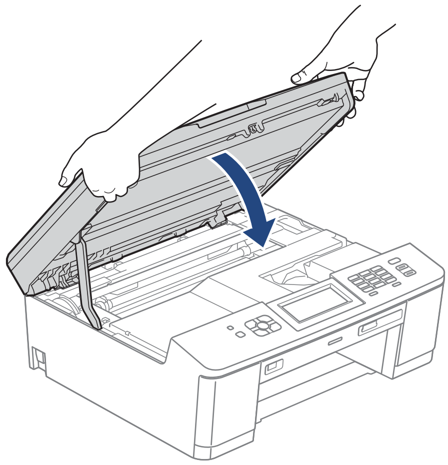
- ■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で充分に洗い流してください。

10 複合機の本体カバーを閉じる

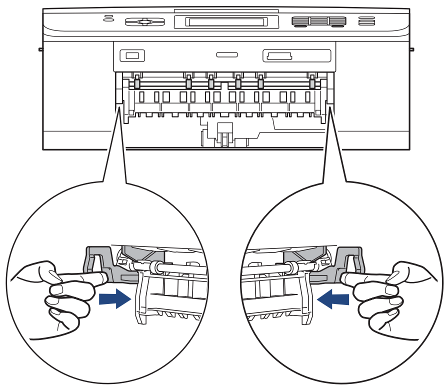
⚠注意

- ● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

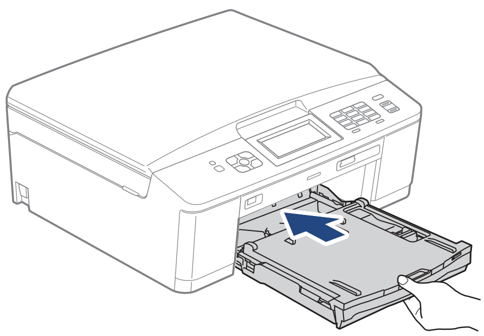
両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。



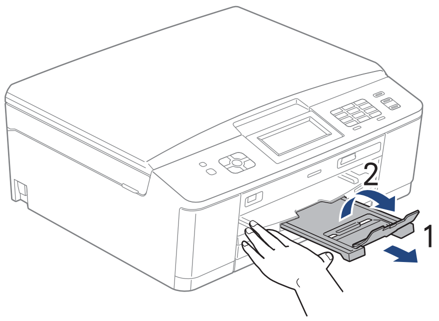
11 緑色のレバーを元の位置に戻す



12 記録紙トレイを元に戻す



13 **トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）**



確認

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

14 **電源プラグをコンセントに差し込む**

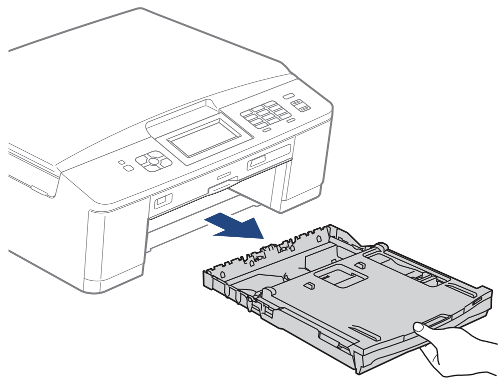
15 **エラーメッセージが消えていることを確認する**

MFC-J860DN/J860DWN をご利用の場合

【記録紙が詰まっています　前】と表示されたとき

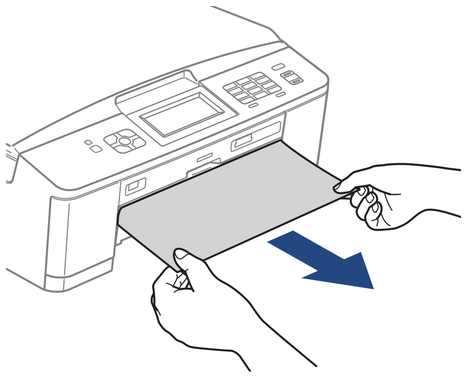
1 **電源プラグをコンセントから抜く**

2 **記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す**



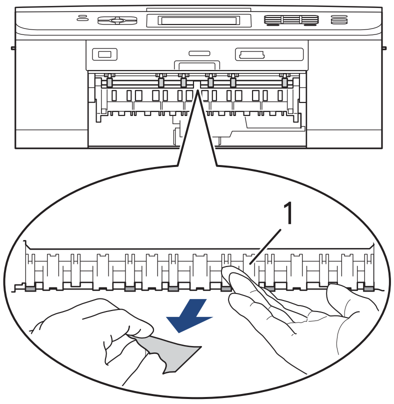
3 **挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く**

紙が破れないように静かに抜き取ります。



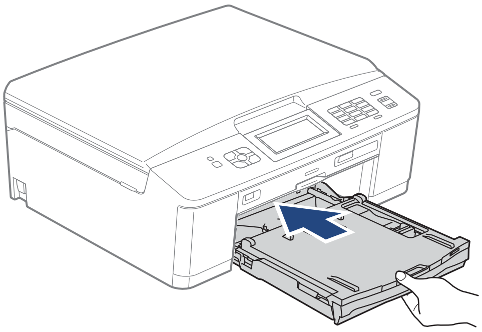
4 フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

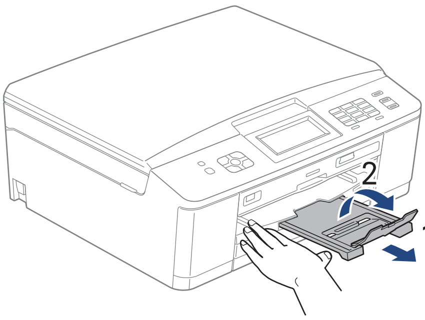


5 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。



6 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



確認

- ■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

7 電源プラグをコンセントに差し込む

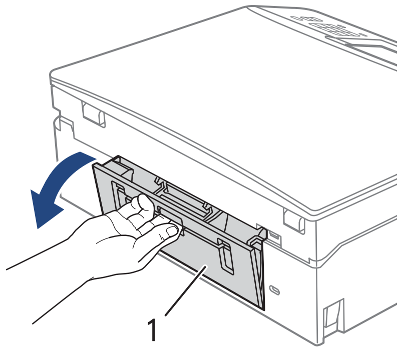
8 エラーメッセージが消えていることを確認する

【記録紙が詰まっています　後ろ】と表示されたとき

1 電源プラグをコンセントから抜く

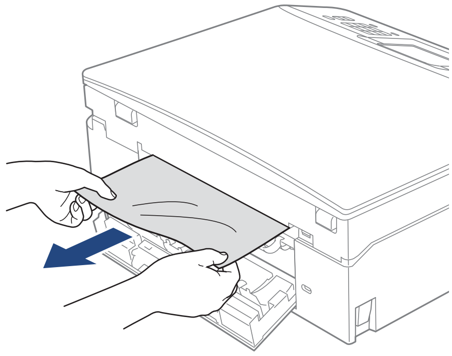
2 複合機本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



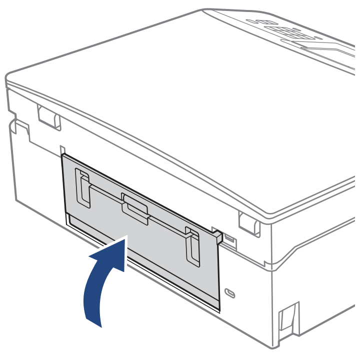
3 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



4 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



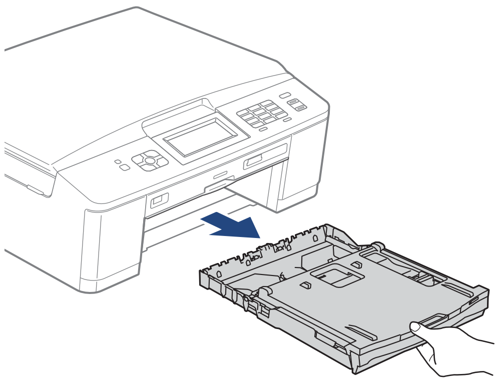
5 電源プラグをコンセントに差し込む

6 エラーメッセージが消えていることを確認する

【記録紙が詰まっています　前，　後ろ】と表示されたとき

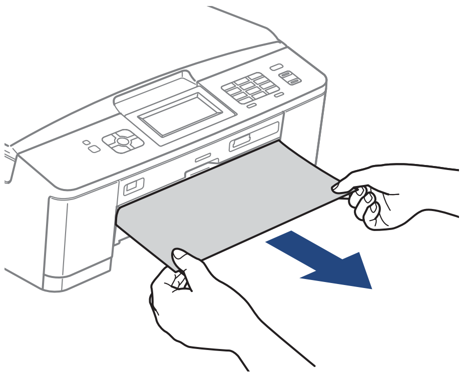
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



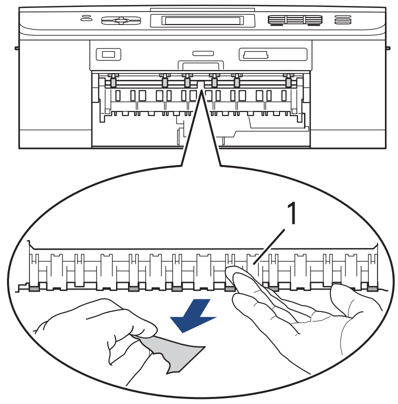
3 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります



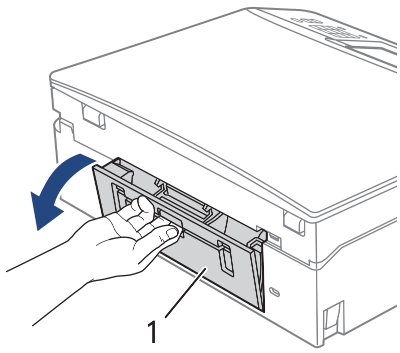
4 フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



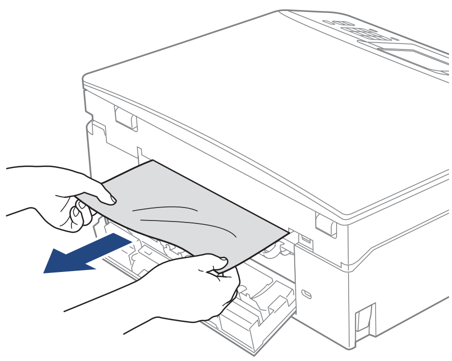
5 複合機本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



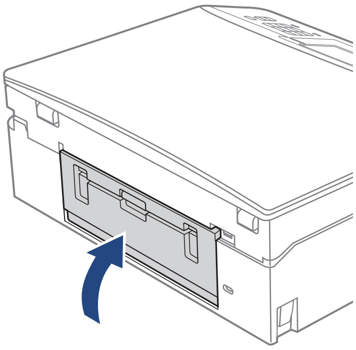
6 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



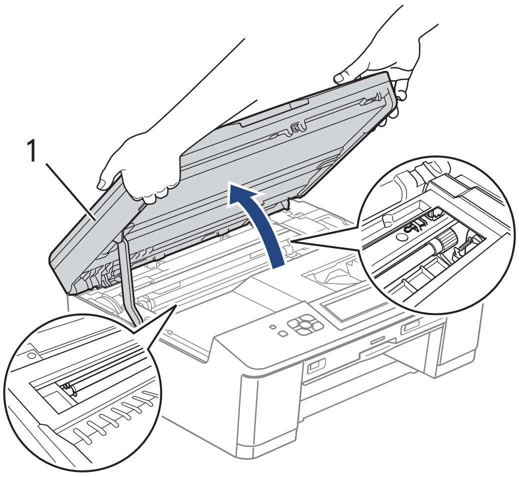
7 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



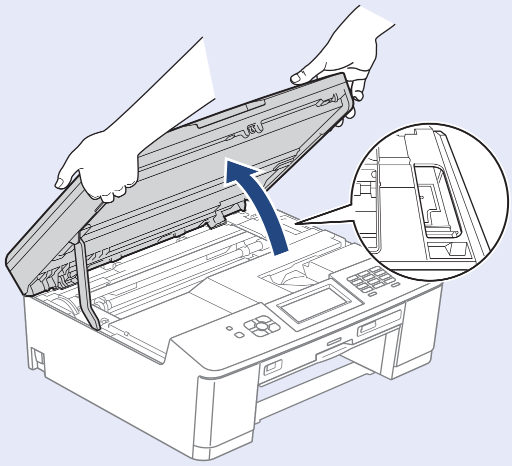
8 両手で複合機の本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

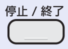
本体カバーは保持される位置まで上げてください。
残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。



確認

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、

を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

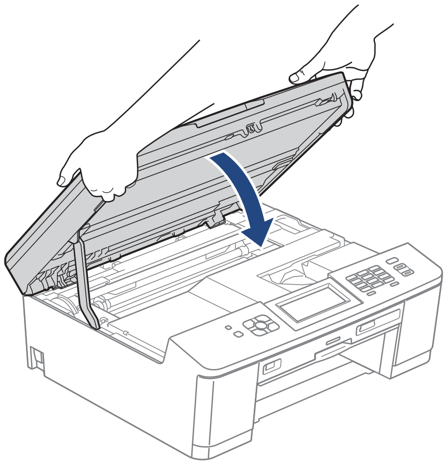
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で充分に洗い流してください。

9 複合機の本体カバーを閉じる

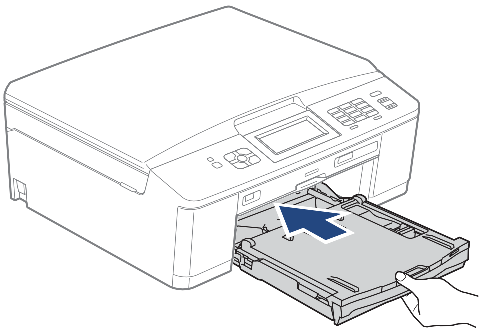
⚠注意

● 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

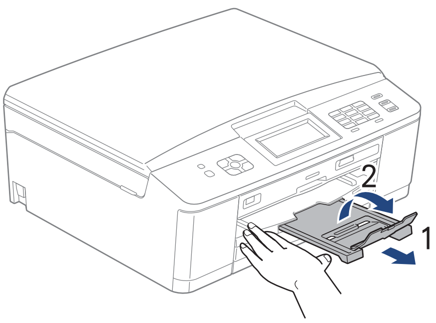
両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。



10 記録紙トレイを元に戻す



11 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



確認

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

12 電源プラグをコンセントに差し込む

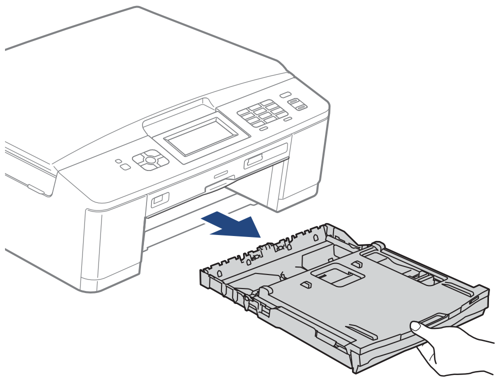
13 エラーメッセージが消えていることを確認する

紙づまりが解消しないときは

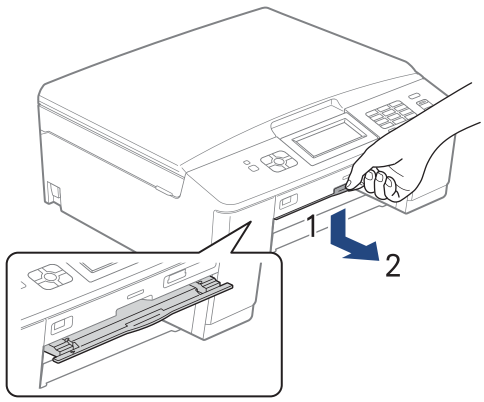
前面、背面の紙を取り除いても紙づまりが解消しない場合は、ディスクガイドまわりを確認します。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



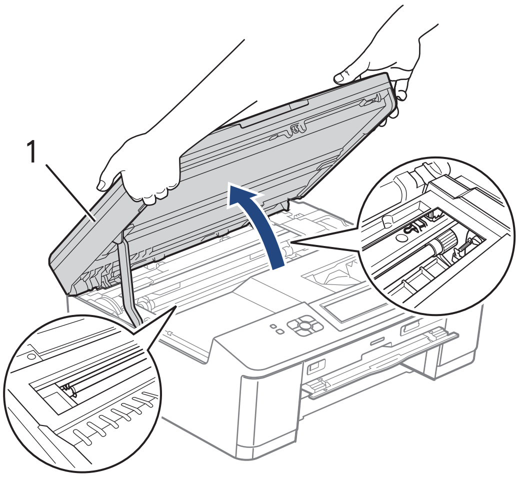
3 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引きながらゆっくりと手を離す（2）



4 両手で複合機の本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

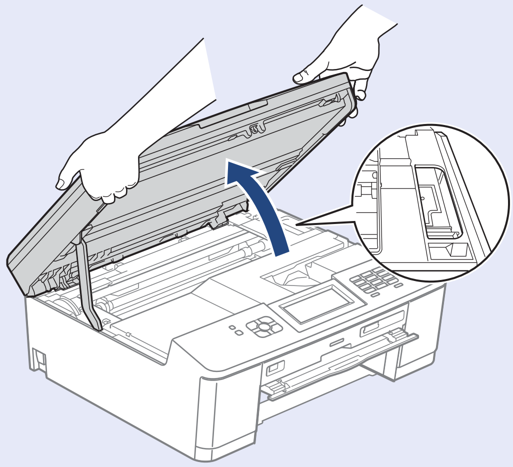
本体カバーは保持される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。



確認

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、停止／終了 を長押しする

プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

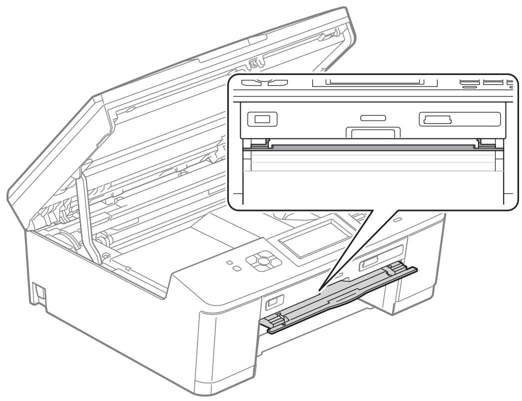
(3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む

複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

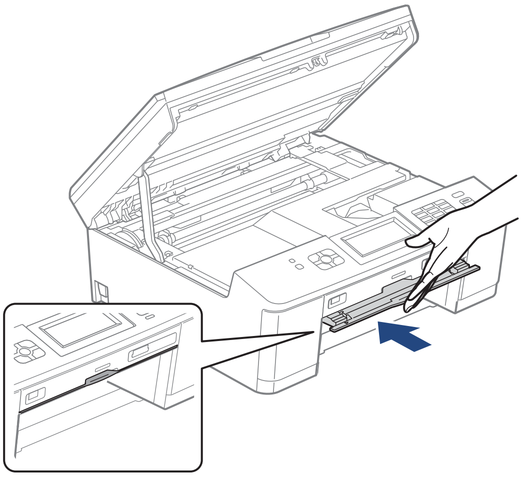
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で充分に洗い流してください。

5 ディスクガイドの奥に記録紙がはさまれていないかを確認する

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。



6 ディスクガイドを水平に押して複合機本体に格納する

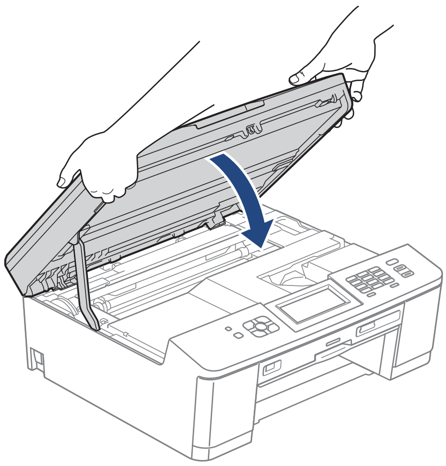


7 複合機の本体カバーを閉じる

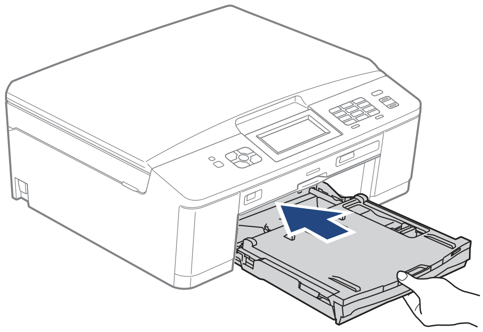
⚠ 注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

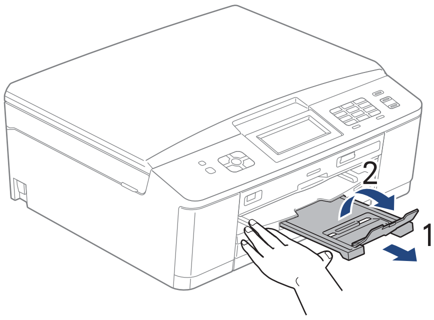
両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。



8 記録紙トレイを元に戻す



9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



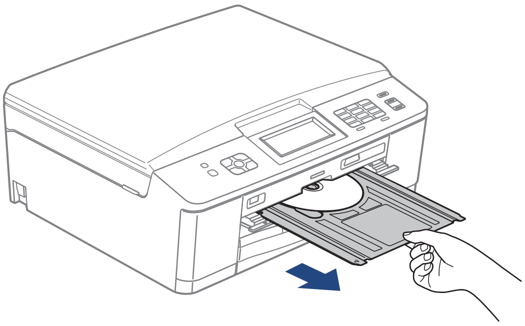
10 電源プラグをコンセントに差し込む

11 エラーメッセージが消えていることを確認する

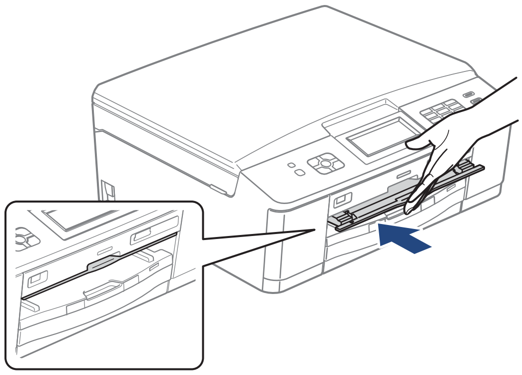
ディスクが詰まったときは（MFC-J860DN/J860DWN）

【記録ディスクが詰まっています　前】と表示されたとき

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. ディスクトレイを引き抜く



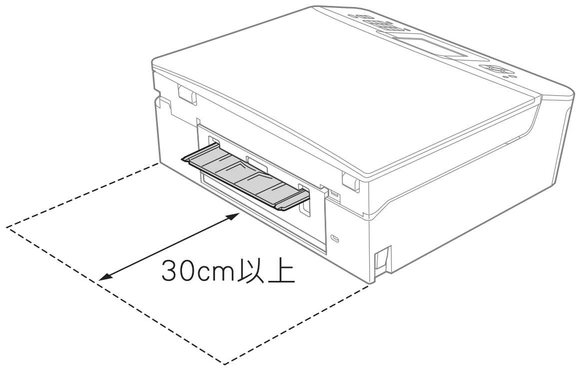
3. ディスクガイドを水平に押して複合機本体に格納する



4. 電源プラグをコンセントに差し込む
5. エラーメッセージが消えていることを確認する

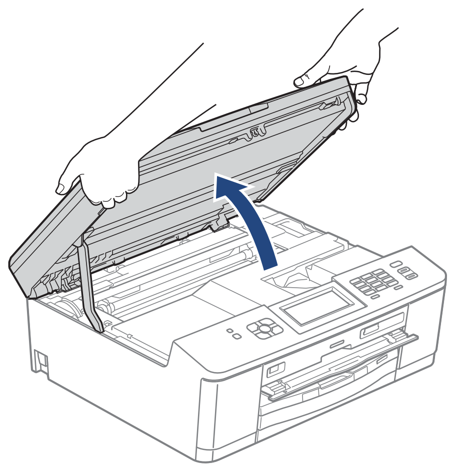
【記録ディスクが詰まっています　後ろ】と表示されたとき

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 複合機本体の背面にディスクトレイを取り出すことができるスペースを確保する



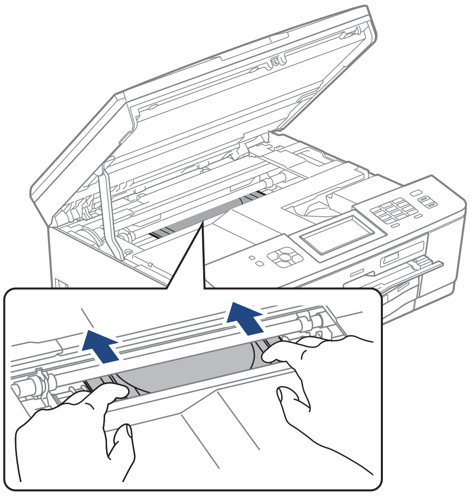
3. 両手で複合機の本体カバーを開く

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

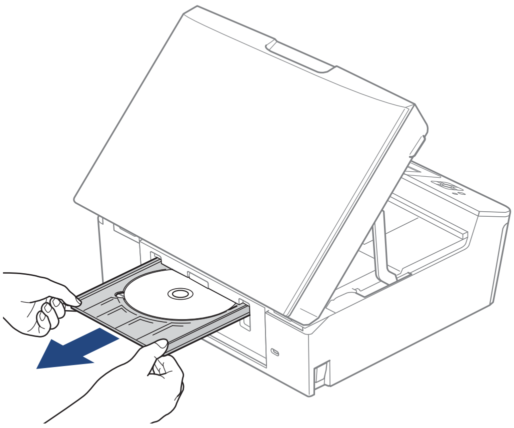


4 指でディスクトレイを複合機本体の背面方向に進める

強く押さえつけないでください。



5 複合機本体の背面からディスクトレイを取り出す

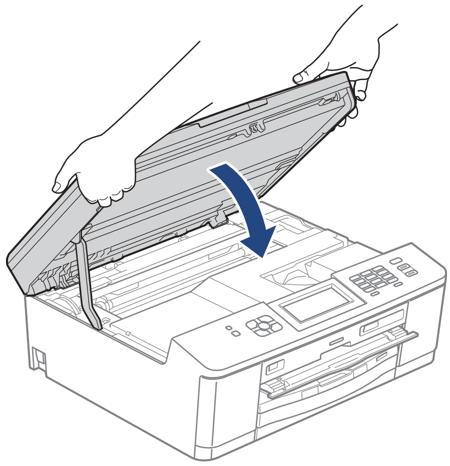


6 複合機の本体カバーを閉じる

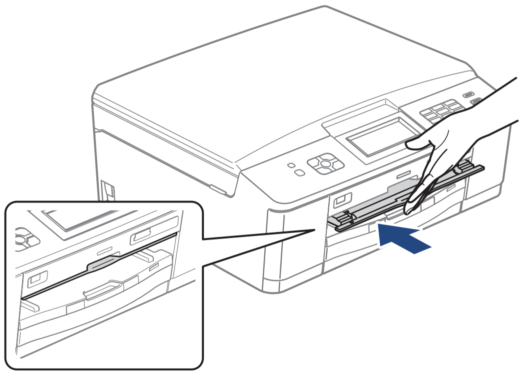
注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。



7 ディスクガイドを水平に押して複合機本体に格納する



8 電源プラグをコンセントに差し込む

9 エラーメッセージが消えていることを確認する

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

複合機本体のメッセージ

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押してセットします。
印刷できません インク交換 BK ブラック Y イエロー C シアン M マゼンタ	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。 ファクスメッセージはメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 229 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを再度閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	複合機の本体カバーが完全に閉まっていない。	複合機の本体カバーを再度閉め直してください。
カラー送信できません	送信先のファクス機がカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。

メッセージ	原因	対処
記録紙が詰まっています	記録紙が機械内部に詰まっている。	詰まった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。紙づまりが解消されてもカバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
記録紙サイズが違います 正しいサイズの記録紙をセットしてスタートを押してください	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	設定したサイズの記録紙をセットして スタート カラー または モノクロ スタート を押してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙のセット」
記録紙を送れません トレイに記録紙を入れ直してください スライドトレイを正しい位置にセットし スタートを押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに記録紙を入れ直してください。スライドトレイを使用する場合は、スライドトレイを正しい位置に セットして、スタート カラー または モノクロ スタート を押してください。 ⇒ 38 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイから給紙させたいのに、スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」
	記録紙トレイから給紙させたいのに、スライドトレイが奥にセットされている。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録ディスクが詰まっています 前	印刷中に記録ディスクが詰まった。	ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 218 ページ「【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されたとき」
記録ディスクが詰まっています 後ろ	印刷中に記録ディスクが詰まった。	本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 218 ページ「【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されたとき」
記録ディスクを確認してください	ディスクトレイに記録ディスクがない。 レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されている。	記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm の CD/DVD/BD です。 ⇒ 49 ページ「記録ディスクをセットする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）」
記録紙が詰まっています　後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 212 ページ「【記録紙が詰まっています　後ろ】と表示されたとき」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録紙が詰まっています　前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 211 ページ「【記録紙が詰まっています　前】と表示されたとき」
記録紙が詰まっています　前，後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 213 ページ「【記録紙が詰まっています　前，後ろ】と表示されたとき」

メッセージ	原因	対処
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 203 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 229 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB　フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから画像をプリントすることもできます。 ⇒ 157 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 229 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

メッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 229 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
接続できません エラー No.E1 ユーザーズガイド＜こんなときは＞をご覧ください	何らかの異常が発生したために、通信ボックスと複合機本体が接続できません。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
送信できません 子機使用中です	子機通話中または通話終了直後はファクス送信できない。	子機の通話中はファクス送信できません。また、通話終了直後も複合機本体と通信ボックスとの接続確認を自動で行うため、すぐにはファクスできません。しばらく待ってファクス送信し直してください。
送信できません 通信ボックスとの接続状態を確認しもう一度送信してください 停止 / 終了を押してください	ファクスデータ転送中に、複合機本体と通信ボックス間の接続が確立できなくなった。	複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認してください。 ⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに何も乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを指し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください もしくは本体の「通信ボックス接続リセット」を行ってください	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。
	通信ボックスと複合機本体が離れすぎている。	通信ボックスと複合機本体を近づけて再度接続状態をお確かめください。 それでも、接続ができない場合は複合機本体で、「通信ボックス接続リセット」を行ってください。 ⇒ 266 ページ「初期化のしかた」
通信ボックスと接続できません 通信ボックスの電源を入れてください	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。
	通信ボックスと複合機本体が離れすぎている。	通信ボックスと複合機本体を近づけて再度接続状態をお確かめください。

メッセージ	原因	対処
通信ボックスと接続できません 無線LAN レポートを実行してください	無線 LAN が正しく接続されていません。	複合機本体で「無線 LAN レポート」を印刷してください。無線 LAN 情報および解決法が記載されています。 ⇒ 254 ページ「無線 LAN レポートを印刷する」
	無線 LAN アクセスポイントを交換した。	ネットワーク設定リセットを行った上で、無線 LAN の設定をし直してください。 ⇒ 263 ページ「初期状態に戻す」 ⇒かんたん設置ガイド
通信ボックスの登録が間違っています ユーザーズガイド <こんなときは>を ご覧ください	通信ボックスの認証に誤りがある。	コールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
データが残っています	印刷データがメモリーに残っている。	停止 / 終了 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ディスクトレイが背面に当たりました	トレイを搬送したときに背面に 10cm 以上のスペースがなかった。	前面にトレイが戻ってきた場合は、前面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 218 ページ「【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されたとき」
		途中で止まってしまった場合は、本体背面からディスクトレイを引き出すために充分なスペースを確保し、背面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 218 ページ「【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されたとき」
ディスクトレイを送れません	ディスクトレイがディスクガイドにセットされていない。	ディスクトレイを正しくセットしてください。 ⇒ 49 ページ「記録ディスクをセットする（MFC-J860DN/J860DWN のみ）」
廃インク吸収パッド満杯です	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に達した。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリが少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒96ページ「ファクスをメモリーから消去する」(一部) ⇒96ページ「すべてのファクスを消去する」(すべて)
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 102 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 101 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
プリンタ使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。

メッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ	いずれかのインクが残り少なくなった。	【印刷できません】と表示されるまでは使用できますが、足りないインクを確認して、新しいインクカートリッジを準備してください。 ⇒ 202 ページ「インク残量を確認する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 325 ページ「消耗品などのご注文について」
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に近づいている。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 もし、フォルダーとファイルの数が 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
メモリがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
	複合機本体の空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 96 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 96 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 102 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
メモリがいっぱいです ■ を押してください	複合機本体の空きメモリーが不足している。	停止 / 終了 を押して、送信またはコピーをキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 96 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 96 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 102 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」

メッセージ	原因	対処
メモリがいっぱいです 読み取り分送信⇒ スタート を押して下さい 中止 ⇒ 停止	複合機本体の空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、 または を押すと送信されます。 を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 96 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 96 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 102 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
	• 記録紙がセットされていない • インクが不足している 上記の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、データ量が保存できる限界に近づいている。	複合機本体に記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
メモリカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
モノクロ印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 印刷設定時、用紙種類を［普通紙］、カラーを［モノクロ］に設定して、強制的にモノクロ印刷をすれば、片面印刷の場合に限りモノクロでの印刷が可能です。ブラックインクがあるあいだは、この状態でも約 1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合のみ、モノクロでコピーできます。 （MFC-J860DN/J860DWN）【普通紙】に設定していても両面コピーはできません。 ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した（インクカートリッジを交換してください。） • 印刷設定の［プロパティ］にて、［基本設定］項目の中の［乾きにくい紙］をチェックしている（パソコン側で印刷をキャンセルし、複合機本体でも を押して印刷を取り消してください。）	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」

通信ボックスのメッセージ

メッセージ	原因	対処
カイセンニ　モンダイアリ カイセンギョウシャ　トイアワセ	回線種別が判定できない。	ご利用の電話会社にお問い合わせください。
カイセンシュベツ　ヲ　セッテイシテクダサイ	回線種別が判定できない。	ダイヤル 10PPS 回線やひかり電話などをご利用ではありませんか。回線種別の自動設定ができない回線については、⇒かんたん設置ガイド「回線種別を確認する（通信ボックス）」でご確認ください。このような場合は回線種別を手動で設定してください。 ⇒ 25 ページ「回線種別を設定する」
カラー　ソウシン　デキマセン	送信先のファクス機がカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。
セツゾク　エラー　No.E1 ショキカ　デキマセン　E1	通信ボックスの認証に誤りがある。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
セツダン　サレマシタ	通信中に相手機から回線が切断された。	相手に連絡し原因を解決してもらって、再度送信してください。
ゾウセツ　デキマセン	電子レンジや無線 LAN から出ている電波が干渉している。	電子レンジや無線 LAN アクセスポイントから離して再度増設を行ってください。
デンワキ　コード　ヲ セツゾク　シテクダサイ	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ファクス　メモリガ　タリマセン	複合機本体の電源が入っていないため、ファクスデータが転送できない。	複合機本体の On/Off を押して電源をオンにし、転送されたファクスを確認してください。
	留守録メッセージが蓄積されている。	不要な留守録メッセージを消去してください。 ⇒ 127 ページ「音声メッセージを確認する」
ファクス　ヲ　ジュシンシマシタ フクゴウキ　ヲ　カクニン	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 96 ページ「ファクスをメモリーから消去する」（一部） ⇒ 96 ページ「すべてのファクスを消去する」（すべて）
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 102 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 101 ページ「ファクスをメモリーで受信する」

メッセージ	原因	対処
ファクス　ヲ　ジュシンシマシタ フクゴウキ　ヲ　カクニン	• 記録紙がセットされていない • インクが不足している 上記の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、データ量が保存できる限界に近づいている。	複合機本体に記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
	複合機本体の電源が入っていないため、ファクスが転送できない。	複合機本体の電源を入れて、画面下部の【接続確認】を押し、接続を確立させてください。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、複合機本体でファクスを印刷できません。インクや記録紙がなかったり、その他の理由により複合機本体で印刷できないファクスは、以下の方法で別のファクス機かパソコンに転送できます。

通信ボックスから別のファクス機に転送する

ファクスデータの転送は、複合機本体からもできますが、その場合は通信ボックスとの正常な接続が必須条件です。通信ボックスからの転送は、通信ボックスと複合機本体が接続しているかどうかにかかわらず、行うことができます。

ファクスデータを別のファクス機に転送する

(1) 通信ボックスの [機能/確定] を押す

(2) [▼⏮]/[▲⏭] で【6. サービス】を選び、[機能/確定] を押す

(3) [▼⏮]/[▲⏭] で【0. データ　テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す

(4) [▼⏮]/[▲⏭] で【1. ファクス　テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す

◆【ジュシンデータハ　アリマセン】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。[停止] を押して操作を終了してください。

◆【ダイヤル　シテクダサイ】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (5) に進んでください。

(5) [機能/確定] を押す

(6) [▼⏮]/[▲⏭] と [機能/確定] で数値の選択と確定を繰り返して、転送先のファクス番号を入力し、最後にもう一度 [機能/確定] を押す

◆【ダイヤル　シマスカ？／▼　スル　▲　シナイ】と表示されます。

(7) [▼⏮]（スル）を押す

通信管理レポートを別のファクス機に転送する

(1) 通信ボックスの [機能/確定] を押す

(2) [▼⏮]/[▲⏭] で【6. サービス】を選び、[機能/確定] を押す

(3) [▼⏮]/[▲⏭] で【0. データ　テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す

(4) [▼⏮]/[▲⏭] で【2. レポート　テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す

◆【ダイヤル　シテクダサイ】と表示されます。

(5) [機能/確定] を押す

(6) [▼⏮]/[▲⏭] と [機能/確定] で数値の選択と確定を繰り返して、転送先のファクス番号を入力し、最後にもう一度を [機能/確定] 押す

◆【ダイヤル　シマスカ？／▼　スル　▲　シナイ】と表示されます。

(7) [▼⏮]（スル）を押す

複合機本体からパソコンまたは別のファクス機に転送する

複合機本体の【接続確認】を押して、通信ボックスと正常に接続していることが確認できれば、複合機本体から転送することができます。

ファクスデータを本製品に接続しているパソコンに転送する

(1) 複合機本体の 停止 / 終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【ファクス / 電話】を押す

(4) 【受信設定】を押す

(5) 【メモリ受信】を押す

(6) 【PC ファクス受信】を押す

(7) メッセージを確認して、【OK】を押す

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

(8) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

(9) 【OK】を押す

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(10)【はい】を押す

◆現在「みるだけ受信」が設定されていない場合は、このあと、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を選んでください。

(11) 停止 / 終了 を押して操作を終了する

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ / メモリ保持のみ）に戻してください。（⇒ 292 ページ）

ファクスデータを別のファクス機に転送する

(1) 複合機本体の 停止 / 終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す

(4) 【データ転送】を押す

(5) 【ファクス転送】を押す

◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。

◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (6) に進んでください。

(6) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロ スタート を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する

(1) 複合機本体の 停止 / 終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す

(4) 【データ転送】を押す

(5) 【レポート転送】を押す

(6) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロ スタート を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

子機のメッセージ

メッセージ	原因	対処
ガイセン　シヨウチュウ	別の子機が通話中。	使い終わるのを待ってください。
オヤキヲ サガシテイマス	子機の使用圏内（通信ボックス（親機）から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	通信ボックス（親機）から 100m 以内に移動してください。
ツウワ　ケンガイ	電波状態が悪い、通信ボックス（親機）の電源プラグが抜けている。	通信ボックス（親機）の状態を確認してください。 子機の 外線 を押してください。
<デンチノコリナシ> ジュウデン シテクダサイ	バッテリーがなくなった。	通信ボックス（充電器）に置いて充電してください。
ガイセンボタンヲ オシテクダサイ	子機または通信ボックス（充電器）が汚れている。（ただし、通信ボックス（充電器）から子機をとり、何も操作しないまま約60秒経過したときも表示されます。）	子機および通信ボックス（充電器）は定期的に掃除してください。 ⇒ 198 ページ「子機 / 通信ボックス / 子機充電器」 子機を通信ボックス（充電器）に戻す、または 切 を押すと表示が消えます。
コキガ ハズレテイマス		
デンワチョウガ イッパイデス ！	電話帳に登録できる件数を超えている。	不要な電話番号があれば消去してください。
デンワチョウトウロク トウロクガ　アリマセン	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。 ⇒ 117 ページ「子機の電話帳に登録する」
ハッシンリレキ　ナシ	発信履歴がない。	－
ジュウデン　デキマセン。モウイチド セット　シテクダサイ。	通信ボックス（充電器）に異物が付着している、または設置不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない／電話を受けられない。	モジュラージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL回線の場合、スプリッターを含むADSL機器を外して本製品をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるかを確認してください。	改善された場合は、ADSL機器に問題がある可能性があります。ADSL事業者にお問い合わせください。
		通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていなければ電話はかけられません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	電話がかけられない。（受話口から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒25ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話やIPフォンなどのIP網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品をIP網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒25ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTTなど）を選んでかけている場合は、番号のあとに 文字切替/P を押して、ポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTTなど）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「－」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒53ページ「着信音量を設定する」
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	を押して着信音量を大きくしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	通信ボックスの（通信ボックスのアイコン）が点滅している、または点滅を止められない。	複合機本体の電源はオンになっていますか。	複合機本体の On/Off を押して、電源をオンにしてください。
		ファクスを受信し、通信ボックスで新着のお知らせをしています。	通信ボックスの［停止］を押すと、点滅は終了します。複合機本体でファクスを確認してください。 ⇒ 95 ページ「ファクスの見かた」 点滅が終了しない場合は、通信ボックスと複合機本体の接続状態を確認してください。 ⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」 それでも点滅が終了しない場合は、複合機本体の電源を入れ直してください。
	通信ボックスの画面に「フクゴウキ　ニ　テンソウズミ」と表示されている。	ファクスを受信しています。	表示は［停止］を押すと消すことができます。 複合機本体でファクスを確認してください。
	相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 53 ページ「受話音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	［スピーカーホン］を押して子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない。	呼出回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバーディスプレイの設定が【あり】になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を【なし】にしてください。 ⇒ 36 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	受話口から「ツー」という音が聞こえない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【しない】にしてください。 ⇒ 93 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	通話が切れる。	ナンバーディスプレイ機能の契約をしているのに、ナンバーディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	ナンバーディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ 36 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバーディスプレイ機能の契約（有料）はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバーディスプレイ機能の契約をする必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバーディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 36 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 259 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」	
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ナンバーディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバーディスプレイ機能の契約をしていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 36 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 51 ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ　カイセン】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ　カイセン】に設定してください。 ⇒ 25 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているかを確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているかを確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。 ⇒ 256 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 （電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ　カイセン】に設定してください。 ⇒ 25 ページ「回線種別を設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ひかり電話	ナンバーディスプレイ機能が動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバーディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	通信ボックス（親機）の電源は入っていますか。	通信ボックス（親機）の電源が入っていなければ子機を使用することはできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 206 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒ 206 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 25 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフになっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ 53 ページ「子機の音量を設定する」
		通信ボックス（親機）の呼出回数が1回に設定されていませんか。	呼出回数を 2 回以上に設定してください。
		通信ボックス（親機）から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、子機を通信ボックス（親機）に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。 ⇒ 262 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
		通信ボックス（親機）で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		子機通信チャンネルの設定を変更しましたか。	変更した場合は、すべての子機のバッテリーコネクタを抜き差ししてください。
		別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が 0 本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、AC アダプターが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	通信ボックス（親機）や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		2.4GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。 ⇒ 262 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【しない】にしてください。 ⇒ 93 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 93 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバーディスプレイ機能の契約をしているのに、ナンバーディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	通信ボックス（親機）で、ナンバーディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ 36 ページ「ナンバーディスプレイ機能を設定する」
	雑音が入りやすい。	近くに電気製品や障害物はありませんか。	設置環境を確認してください。 ⇒ 262 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
			置き場所や向きを変えてみてください。
			本製品と電気製品の電源プラグを別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		通話音質を調整すると改善される場合があります。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 259 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」
	雑音が入りやすい。 通話が切れる。	子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
			子機の通話パワーを「ツヨイ」に設定してください。 ⇒261ページ「通話パワーの設定を変更する」
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 53 ページ「受話音量を設定する」
	相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。 また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。
		通話音質を変更していませんか。	【ツウワ　オンシツ　チョウセイ】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 259 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	【ツウワ　オンシツ　チョウセイ】の設定値を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 259 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	充電を始めても「ジュウデンチュウ」と表示されない。	通信ボックス（充電器）の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	通信ボックス（充電器）の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		通信ボックス（充電器）に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を通信ボックス（充電器）に置いて約 2 分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、通信ボックス（充電器）にセットしてください。 • 画面に文字が表示される場合 ご購入後 1 年以上経過していればバッテリーの寿命だと思われます。新しいバッテリーに交換してください。 ⇒ 206 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」 • 画面に何も表示されない場合 電源プラグを確認してください。
	充電器からとったり、外線を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		通信ボックスから離れすぎていませんか。	通話圏内に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<デンチノコリナシ>ジュウデンシテクダサイ」と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 206 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、通信ボックス（充電器）の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	警告音（ピーピーピー）が鳴り、画面に「コキガ　ハズレテイマス」と表示される。	充電器から子機を取り、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を通信ボックス（充電器）に戻してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	通話圏内に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を通信ボックス（充電器）に戻してください。
			通話を保留にして子機を通信ボックス（充電器）に戻し、別の子機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていなければファクスの送受信はできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		受信する前に子機を戻していませんか。	「親切受信」をするように設定されていれば（お買い上げ時の設定）、子機を持ったまま 7 秒待つと受信できます。親切受信されない場合は、手動で受信してください。 ⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 25 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。（「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 257 ページ「安心通信モードに設定する」
		複合機本体と通信ボックスの接続は良好ですか。	接続状態を確認してください。 ⇒ 78 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 257 ページ「安心通信モードに設定する」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 95 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 97 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		通信ボックスの電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 「通信テスト」など、何か原稿にご記入いただいて下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス番号：052-824-4773	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクスが送信できない。	カラーで送信しようとしていますか。	本製品はカラーファクスに対応していないファクス機にカラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもありません。送信先のファクス機がカラーに対応しているかどうかをお聞きいただいて、対応していなければモノクロで送信してください。また、相手のファクス機がカラー対応であっても、インクが準備されていないときは本製品からの送信ができません。この場合もモノクロで送信してください。
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	印刷されていませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】にしてください。 ⇒ 257 ページ「安心通信モードに設定する」
	みるだけ受信が設定されているのにファクスが印刷される。	ファクスがカラーではありませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。
	ファクスを送信できない場合がある。（IP 網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 履歴 を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 194 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 85 ページ「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 194 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 257 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない。	複合機本体の電源は入っていますか。	複合機本体の電源プラグをコンセントに差し、On/Off を押して電源を入れてください。
		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットして、複合機の本体カバーやインクカバーを確実に閉めてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		複合機の本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
		インクの残量は充分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 202 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 95 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 97 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 203 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるかを確認してください。 ⇒ 137 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 194 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 205 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ 99 ページ「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 34 ページ「呼出回数を設定する」 または、手動で受信してください。 ⇒ 92 ページ「電話に出てから受ける」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスは印刷されません。画面で確認してください。 ⇒ 95 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 「みるだけ受信」を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 97 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 256 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	記録紙が何度も詰まる	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
	(MFC-J860DN/J860DWN のみ) 自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	(MFC-J860DN/J860DWN のみ) 自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定をお試しください。 ⇒ 145 ページ「両面コピーする(MFC-J860DN/J860DWN のみ)」
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で[用紙に合わせる]が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が 3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、「用紙に合わせる」が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー(読み取り部)が汚れていませんか。	スキャナー(読み取り部)を清掃してください。 ⇒ 194 ページ「スキャナー(読み取り部)を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ❿
プリント(印刷)	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 196 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	①本製品とパソコンの接続方式(USB、無線 LAN)を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 220 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
		③ USB ケーブルはパソコンと複合機本体側にしっかりと接続されていますか。	複合機本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USB ハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合は、⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは(トラブル対処方法)」をご覧ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①〜⑪の順番に試してください。）	④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。 • Windows® の場合 ［プリンター］アイコンを開き、［プリンタ］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 ＜ Windows® 7 ＞ ［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。 ＜ Windows Vista® ＞ ［スタート］－［コントロール パネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 ＜ Windows® XP ＞ ［スタート］－［コントロール パネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して［削除］をクリックしてください。 ＜ OS X v10.7.x ＞ [システム環境設定]－[プリントとスキャン]－[プリントキューを開く…] の順に選択します。 ＜ OS X v10.5.8/10.6.x ＞ [システム環境設定]－[プリントとファクス]－[プリントキューを開く…] の順に選択します。
		⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていますか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているかを確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 ＜ OS X v10.7.x ＞ [プリントとスキャン] を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。 ＜ OS X v10.5.8/10.6.x ＞ [プリントとファクス] を開き、［デフォルトのプリンタ］を本製品にします。
		⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	• Windows® の場合 プリンターアイコンを右クリックして、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 • Macintosh の場合 ＜ OS X v10.7.x ＞ プリントキューを開き、印刷データを選択して［プリンタを再開］をクリックしてください。 ＜ OS X v10.5.8/10.6.x ＞ プリントキューを開き、印刷データを選択して［再開］をクリックしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	⑧ オフラインの状態になっていませんか。 （Windows® のみ）	プリンターアイコンを右クリックして、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。 （Windows® のみ）	プリンターアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows®） ［スタート］－［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX*1］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J810DN/J810DWN ⇒ 208 ページ「MFC-J810DN/J810DWN をご利用の場合」手順 ❽ MFC-J860DN/J860DWN ⇒ 212 ページ「【記録紙が詰まっています 後ろ】と表示されたとき」手順 ❹
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ❿
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J810DN/J810DWN ⇒ 208 ページ「MFC-J810DN/J810DWN をご利用の場合」手順 ❽ MFC-J860DN/J860DWN ⇒ 212 ページ「【記録紙が詰まっています 後ろ】と表示されたとき」手順 ❹
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 196 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 38 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J810DN/J810DWN ⇒ 208 ページ「MFC-J810DN/J810DWN をご利用の場合」手順 8 MFC-J860DN/J860DWN ⇒ 212 ページ「【記録紙が詰まっています 後ろ】と表示されたとき」手順 4
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［画質強調］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で［カラー詳細設定］から［画質強調］のチェックを外す。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常より印刷速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［基本設定］タブの順にクリックし、［ふちなし印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 ［ファイル］、［ページ設定］をクリックし、［用紙サイズ］のプルダウンメニューから「（ふちなし）」の記載のないサイズを選ぶ。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも24ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］－）［コントロールパネル］－［画面］－［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像ですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像は［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像に対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 10
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 197 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 195 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、［双方向印刷］に設定されています。［双方向印刷］では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。［双方向印刷］を解除して印刷をお試しください。ただし、［双方向印刷］を解除すると、印刷速度は落ちます。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で［拡張機能］をクリックし、［その他特殊機能］から［双方向印刷］のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 205 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 203 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	印刷面に白い筋が入る。	記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 38 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 39 ページ「専用紙・推奨紙」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒ 203 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合はインクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 200 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 205 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 38 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 39 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 303 ページ「温度」
	写真用光沢紙で印刷したときに、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 47 ページ「記録紙の種類を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	写真プリントでインクが乾くのに時間がかかる。	記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 208 ページ「紙が詰まったときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張機能」
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているかを確認してください。 ⇒44ページ「スライドトレイにセットする」
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方のUSBケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［ソースの選択］を順にクリックして、ブラザー TWAIN ドライバー（TW-Brother- モデル名 LAN）を選択し、［OK］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません　インク交換：XX*1】と表示されていませんか。 *1XX は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	メモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
		メモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 • IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 • ネットワーク設定リストの印刷 ⇒ 275 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	メモリーカードまたはUSB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	再度設定を行い、使用する機器（本製品）を検出してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
その他	複合機本体の電源が入らない。	On/Off を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の On/Off を押して、電源をオンにしてください。
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
	複合機本体の電源が入らない。	コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	複合機本体（または通信ボックス）の時計表示がおかしい。	通信ボックス（または複合機本体）の日付および時刻と同じではありませんか。	複合機本体と通信ボックスは、2 分半に 1 回、データを共有し合います。そのとき両機の時刻のあいだで 2 分以上の誤差が発生していると時刻を一致させる同期機能が働きます。 ⇒ 26 ページ「日付と時刻を設定する」
	複合機本体（または通信ボックス）の日付 / 時刻が変わってしまう。		
	複合機本体と通信ボックスの時刻がずれる（同期されない）。	誤差は 2 分以内ですか。	誤差が 2 分以内の場合は同期されません。それぞれで設定してください。 ⇒ 26 ページ「日付と時刻を設定する」
		複合機本体と通信ボックスの接続は良好ですか。	複合機本体と通信ボックスは接続が確立されていないと同期機能は働きません。接続を確認してください。 ⇒ 254 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 41 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	電話中にキーンと不快な音（ハウリング）がする。	通信ボックスから着信音が鳴るように設定されていませんか。	通信ボックスの着信音を【オフ】に設定してください。 ⇒ 273 ページ「臨時着信解除」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	モノクロ印刷しかしていないのに､カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい､または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 193 ページ「外側を清掃する」
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが､プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ①〔停止 / 終了〕を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編｢困ったときは（トラブル対処方法）｣	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	複合機本体の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。｢タッチパネルエラー｣というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、複合機本体に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。
	通信ボックスの画面が暗い。	待機状態（スリープモード）に入っています。 ⇒ 59 ページ「通信ボックスのスリープモードについて」	
	画面の文字が読みにくい。	複合機本体： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ 56 ページ｢複合機本体の画面設定を変更する｣
		通信ボックス / 子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ 56 ページ｢通信ボックスの画面のコントラストを変更する｣ ⇒ 57 ページ｢子機の画面のコントラストを変更する｣

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは

ファクス送受信時には、複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っている必要があります。2 台のあいだの通信がうまくいかないときや、ファクスが送れないときは、次の項目を確認してください。

- 複合機本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、On/Off で電源が入っていますか？
- 通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
- 通信ボックスから電話機コードがはずれていませんか？
- 電話機コードは壁側の電話機コード差し込み口にしっかり差し込まれていますか？
- （無線 LAN 接続している場合のみ）無線 LAN アクセスポイントの電源は入っていますか？

通信ボックスとの接続を確認する

上記を確認しても通信できない場合は、次の手順で、複合機本体と通信ボックスの接続状況およびメッセージ内容を確認してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。メッセージの詳細については、⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」をご覧ください。

2 停止／終了 を押して確認を終了する

無線 LAN レポートを印刷する

複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認して、「通信ボックスと接続できません「無線 LAN レポート」を実行してください」と表示された場合に、無線 LAN レポートを印刷してエラー番号や無線 LAN 情報などを確認します。

1 【メニュー】を押す



2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【無線 LAN レポート】を押す

4 モノクロスタート を押す

無線 LAN レポートが印刷されます。

5 停止／終了 を押して操作を終了する

接続確認メッセージ一覧

<table>
<tr><th>メッセージ</th><th>状態および対処</th></tr>
<tr><td>通信ボックスとの接続は正常です</td><td>通信ボックスとの接続が正常に完了しました。</td></tr>
<tr><td>通話中です
通話終了後　接続を再開します</td><td>通話中です。通話終了後にファクスできます。ただし通話終了直後は通信ボックスとの接続確認を自動で行うためすぐに接続できないことがあります。</td></tr>
<tr><td>接続できません　エラー No.XX
ユーザーズガイド<こんなときは>をご覧ください</td><td>コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。</td></tr>
<tr><td>通信ボックスの登録が間違っています
ユーザーズガイド<こんなときは>をご覧ください</td><td>通信ボックスの認証に誤りがあります。コールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>接続準備中です
しばらくお待ちください</td><td>しばらく待ってからもう一度接続確認を行ってください。</td></tr>
<tr><td>通信ボックスと接続できません
電波状態が悪くなっています
通信ボックスと複合機本体を近づけてください</td><td>• 通信ボックスのACアダプターの両端が、おのおの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。
• 通信ボックスと複合機本体のあいだを鉄筋コンクリート、アルミサッシ、その他金属製の壁、扉などでさえぎっていませんか。これらは通信の妨げになる可能性があります。
• 通信ボックスと複合機本体が離れすぎている可能性があります。2 台を近づけて再度接続状態をお確かめください。</td></tr>
<tr><td>通信ボックスと接続できません
通信ボックスの電源を入れてください</td><td rowspan="2">下記いずれの場合であっても、ひとまず画面に従って操作し、【OK】を押してから対処してください。
• このメッセージを読んで、通信ボックスや無線 LAN アクセスポイントの電源を入れた場合は、しばらくのちに再度、接続をお確かめください。
• どちらもすでに電源が入っている場合は、「通信ボックス接続リセット」を行ってください。
⇒ 266 ページ「初期化のしかた」</td></tr>
<tr><td>通信ボックスと接続できません
通信ボックスや無線 LAN アクセスポイントの電源を入れてください</td></tr>
<tr><td>通信ボックスと接続できません
電波状態が悪くなっています　通信ボックスや本体を無線 LAN アクセスポイントに近づけてください</td><td>通信ボックスおよび複合機本体を無線LANアクセスポイントに近づけてみて、再度接続をお確かめください。頻繁にこのメッセージが出て、両機を無線 LAN アクセスポイントに近づけることで接続が確立する場合は、電波環境の整った位置に設置場所を変更してください。</td></tr>
<tr><td>通信ボックスと接続できません
「無線 LAN レポート」を実行してください</td><td>• 複合機本体で「無線 LAN レポート」を印刷してください。無線 LAN 情報および解決法が記載されています。
⇒ 254 ページ「無線 LAN レポートを印刷する」
• 無線 LAN アクセスポイントを交換した場合は、ネットワーク設定リセットを行った上で、無線 LAN の設定をし直してください。
⇒ 263 ページ「初期状態に戻す」
⇒かんたん設置ガイド</td></tr>
</table>

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

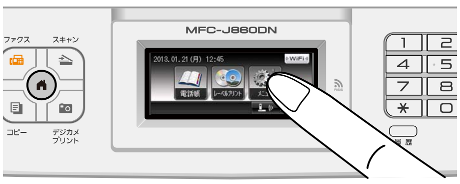
ファクスがうまく送信 / 受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は【一般】に設定されています。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

1 複合機本体の 接続確認 を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または 停止 / 終了 を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、停止 / 終了 を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す

5 【特別回線対応】を押す

6 お使いの環境に合わせて回線種別を選ぶ

【一般／ ISDN ／ PBX】から選びます。

7 停止 / 終了 を押して設定を終了する

【PBX】に設定すると、ナンバーディスプレイの設定が自動的に【なし】になります。ナンバーディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

安心通信モードに設定する

［安心通信モード］

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、安心通信モードの設定を変えます。お買い上げ時は【標準】に設定されているので、一時的に【安心（VoIP）】に設定してお試しください。
この機能は、通信ボックスからも設定できますが、複合機本体からの操作で同期がとられます。複合機本体から設定してください。

1 複合機本体の［接続確認］を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または［停止/終了］を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、［停止/終了］を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【安心通信モード】を押す

5 【安心 (VoIP)】を押す

設定を戻すときは、【標準】を選びます。

確認

■【安心（VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクス機によっては、モノクロに変換して受信します。）

6 ［停止/終了］を押して設定を終了する

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【標準】→【安心（VoIP)】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
- 【安心（VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【標準】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

［ダイヤルトーン設定 ］

ファクス送信に失敗すると、送信レポートが出力されます。送信レポートで、送信結果を確認してください。話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。
お買い上げ時は、【検知しない】に設定されています。

確認

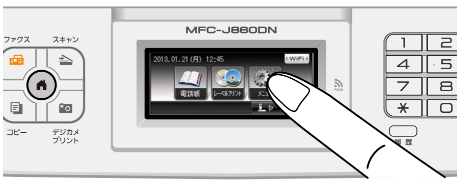
■ 使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】のままお使いください。

1 複合機本体の［接続確認］を押す



【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。【OK】または［停止/終了］を押して手順 2 に進みます。
接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、［停止/終了］を押したあと下記をご覧になり、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。
⇒ 255 ページ「接続確認メッセージ一覧」

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す

5 【ダイヤルトーン設定】を押す

6 【検知する】を押す

設定を戻すときは、【検知しない】を選びます。

7 ［停止/終了］を押して設定を終了する

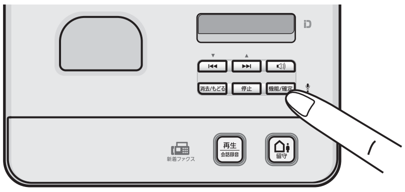
ダイヤルトーンの設定を【検知する】にするのは、はじめに述べた状況のみに限定してください。通常は【検知しない】に設定して使用します。

回線状況に応じて通話音質を設定する

[ツウワオンシツチョウセイ]

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。
お買い上げ時は、「セッテイ 1」に設定されています。
この機能は、通信ボックスでのみ設定できます。

1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [▼⏮]/[▲⏭] で【0. ショキ　セッテイ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [▼⏮]/[▲⏭] で【8. ソノタ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼⏮]/[▲⏭] で【3. ツウワ　オンシツ　チョウセイ】を選び、[機能/確定] を押す

5 [▼⏮]/[▲⏭] で現在とは異なる設定値を選び、[機能/確定] を押す

手順 6 のあとで声の響きかたを確認してください。
【セッテイ 1】、【セッテイ 2】、【セッテイ 3】、【セッテイ 4】 の順に設定を試みてください。

> 【セッテイ 1】→【セッテイ 2】→【セッテイ 3】→【セッテイ 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

6 [停止] を押して操作を終了する

子機の通信状況を改善する

[コキ　ツウシン　チャンネル]

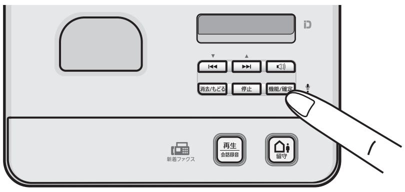
ネットワーク [*1] の通信速度が低下しがちであったり、子機どうしの内線通話状況がよくない場合、無線 LAN で使用している電波と、内線で使用している電波が干渉しあっている可能性があります。この場合、内線用の通信チャンネルを切り替えると、改善されることがあります。

[*1] 通信ボックスと複合機本体間におけるファクス通信用無線 LAN または無線 LAN 環境

ステップ 1 無線 LAN の使用チャンネルを確認する

無線 LAN が使用しているチャンネルを確認するには、ネットワーク設定リストを出力します。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ⏮/⏭ で【4. レポート　インサツ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮/⏭ で【3. ネットワークセッテイリスト】を選び、機能/確定 を押す

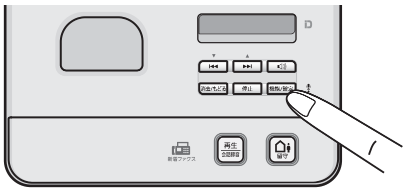
4 もう一度 機能/確定 を押す

ネットワーク設定リストが複合機本体から出力されます。
<Wireless Link Status> の「Operating Ch=」で使用チャンネルを確認してください。

ステップ 2 内線用の通信チャンネルを確認する

内線用の通信チャンネルは、以下の手順で確認します。お買い上げ時は【セッテイ 3】に設定されています。

1 通信ボックスの 機能/確定 を押す



2 ⏮/⏭ で【0. ショキ　セッテイ】を選び、機能/確定 を押す

3 ⏮/⏭ で【8. ソノタ】を選び、機能/確定 を押す

4 ⏮/⏭ で【4. コキ　ツウシン　チャンネル】を選び、機能/確定 を押す

5 表示されている通信チャンネルを確認する

【セッテイ 1】、【セッテイ 2】、【セッテイ 3】のいずれかが表示されています。

- このまま通信チャンネルを変更する場合⇒ステップ 3 の手順 2 へ
- 確認をいったん終了する場合⇒手順 6 へ

6 停止 を押して確認を終了する

ステップ 3 無線 LAN と内線用のチャンネルが干渉しないよう設定を変更する

無線 LAN が使用しているチャンネルと、内線用の通信チャンネルで、干渉が起きているかどうかを次の表で確認します。

ステップ 1 のチャンネルが下記の値の場合	ステップ 2 の通信チャンネルが下記の値であれば干渉しあう可能性があります	下記の値に変更してください（干渉しあわない設定値）
1 ～ 4	セッテイ 2、セッテイ 3	セッテイ 1
5 ～ 8	セッテイ 1、セッテイ 3	セッテイ 2
9 ～ 14	セッテイ 1、セッテイ 2	セッテイ 3

たとえば、ステップ 1 が 7 チャンネル、ステップ 2 がセッテイ 3 の場合は、干渉しあう可能性があります。設定の変更が必要です。

1 ステップ 2 の 4 までを行う

2 ▼⏮ / ▲⏭ で、上表で示された干渉しあわない設定値を選び、機能/確定 を押す

3 停止 を押して設定を終了する

他の無線 LAN 機器からの干渉により、子機の通話状況が悪化することもあります。この場合は、本製品をこれらの機器から遠ざけてください。
本製品が認識している無線ネットワークは、複合機本体の【メニュー】を押し、【ネットワーク】－【無線接続ウィザード】を選択して表示される画面で確認できます。



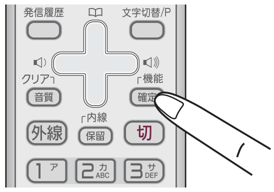
通話パワーの設定を変更する

子機の電波状況がよくないとき、通話パワーを「ツヨイ」にすると、通話品質が改善されることがあります。お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。

確認

■ 通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、「ヒョウジュン」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。

1 子機の 機能/確定 を押す



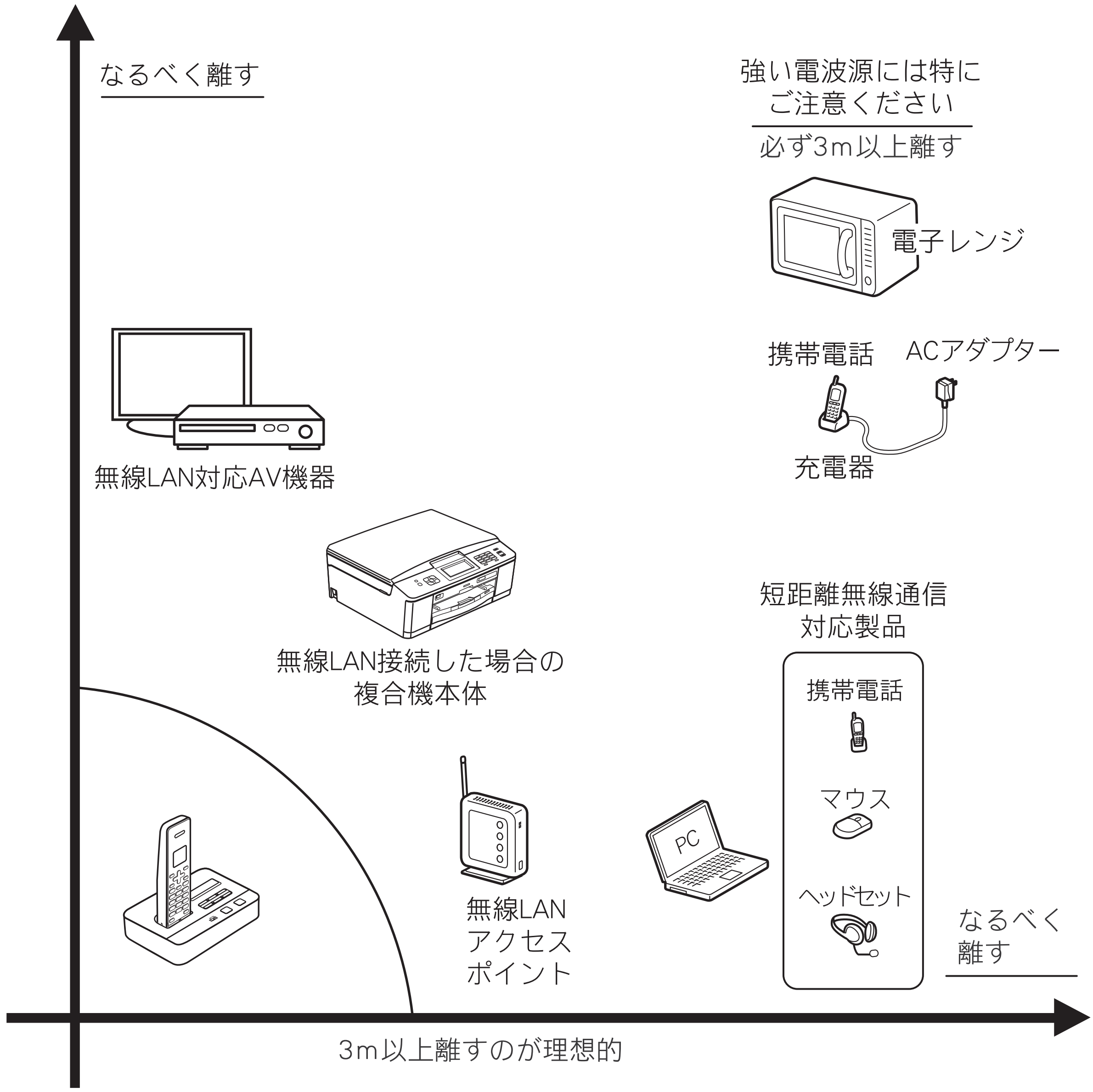
2 ✥ で「ツウワパワー」を選び、機能/確定 を押す

3 ✥ で「ツヨイ」を選び、機能/確定 を押す

4 切 を押して設定を終了する

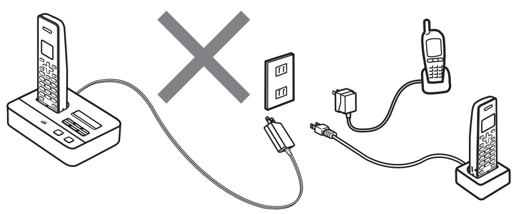
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する

通信ボックスや子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、下図を参考に本製品の設置場所を調整してください。また、別冊の「安全にお使いいただくために」の「子機の使用について」を必ずご確認ください。



接続するコンセントも確認

右図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に不具合が起こる場合があります。



初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。本製品には次の初期化メニューが用意されています。

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 通信ボックス接続リセット
- RSS 設定リセット（MFC-J860DN/J860DWN のみ）
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

確認

■ 外線使用中は、初期化機能は実行できません。

■「電話帳 ＆ ファクスリセット」と「全設定リセット」を実行すると、メモリー内のファクスデータは消去されます。実行前に未読のファクスがないかを確認してください。

⇒ 95 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

⇒ 101 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

■「電話帳 ＆ ファクスリセット」と「全設定リセット」を実行すると、複合機本体電話帳の内容は初期化されます。あらかじめ、電話帳リストを印刷しておくことをお勧めします。リモートセットアップ機能を使うと、パソコンに電話帳の内容をデータとして保存しておくこともできます。

⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」

⇒ 116 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）」

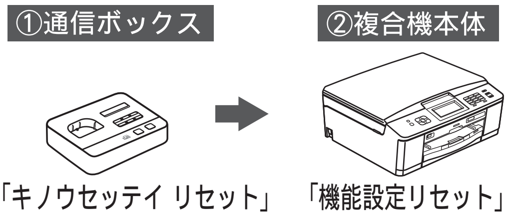
■ 子機電話帳の内容は、いったん初期化すると元に戻すことはできません。リストの印刷、データの保存もできません。

目的別に初期化する

初期化を実行する前に、次ページの「初期化内容一覧」で、それぞれのメニューによって、どのような内容が初期化されるのかを確認してください。不用意に初期化を行うと、登録した電話帳の内容や、保存してあるファクスデータなど、大切なデータを意図せず失うことがあります。目的に合った初期化を正しく行ってください。
操作のしかたについては下記をご覧ください。
⇒ 266 ページ「初期化のしかた」

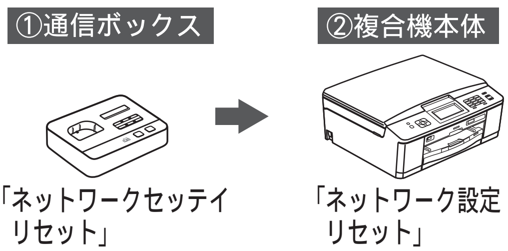
● **各種機能の設定内容を初期化する**

主に、「基本設定」や「初期設定」メニューから変更した設定の内容を、お買い上げ時の状態に戻します。



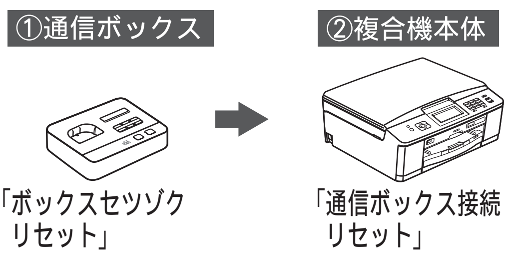
● **ネットワークの設定内容を初期化する**

無線 LAN アクセスポイントに接続して本製品を無線 LAN 端末として使用している状態から、お買い上げ時の状態に戻します。無線 LAN 情報が初期化されます。



● **通信ボックスと複合機本体を接続し直す**

通信ボックスと複合機本体の接続を、お買い上げ時の状態に戻します。このメニューから初期化を行うと、ネットワーク（無線 LAN）情報も消去されるためご注意ください。



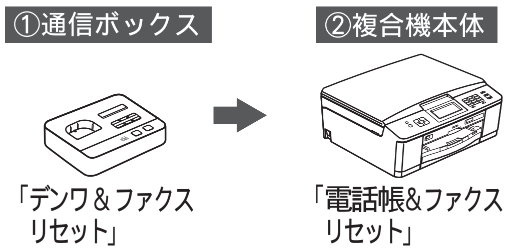
● **RSS の設定内容を初期化する（MFC-J860DN/J860DWN のみ）**

RSS の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。同等の初期化機能が、RSS メニューの中にもあります。



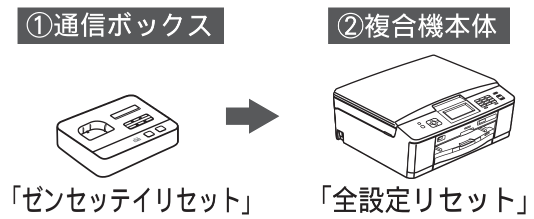
● **電話 / ファクスの通信記録および内容、電話帳情報を消去する**

通信に関わる情報を、お買い上げ時の状態に戻します。



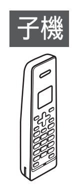
● **すべての機能を初期化する**

通信ボックスと複合機本体をお買い上げ時の状態に戻します。



● **電話の発信記録を消去する**

子機で行います。その個体のみに結果が反映されます。



初期化内容一覧

ー表の見かたー
通＆複：通信ボックスで初期化を実行後、複合機本体で初期化を実行する
複：複合機本体のみで初期化を実行する

初期化機能（メニュー）／初期化される内容	機能設定リセット	ネットワーク設定リセット	RSS 設定リセット[*1]	通信ボックス接続リセット	電話帳 & ファクスリセット	全設定リセット
通信ボックスの各種機能の設定内容	通＆複					通＆複
複合機本体の各種機能の設定内容	通＆複					通＆複
ネットワークの設定内容		通＆複		通＆複		通＆複
複合機本体と通信ボックスとの接続方法		通＆複		通＆複		通＆複
RSS の設定内容[*1]			複			通＆複
ファクスの発信元情報（登録した名前 / 電話番号）					通＆複	通＆複
複合機本体電話帳の内容（グループダイヤルを含む）					通＆複	通＆複
電話の発信履歴（再ダイヤル機能を含む）[*2]						
電話の着信履歴[*3]					通＆複	通＆複
ファクスの発信履歴、着信履歴					通＆複	通＆複
留守録転送の設定					通＆複	通＆複
通信管理レポートの内容					通＆複	通＆複
メモリーに保存されている音声データ					通＆複	通＆複
メモリーに保存されているファクスデータ					通＆複	通＆複
通信待ちのファクスデータ	通＆複				通＆複	通＆複
録音した応答メッセージ	通＆複				通＆複	通＆複
録音した通話内容					通＆複	通＆複
子機電話帳の内容[*2]						

[*1] MFC-J860DN/J860DWN のみ
RSS の設定内容のみをお買い上げ時の状態に戻したいときは、RSS メニューにある【RSS 設定リセット】でも行うことができます。（⇒ 181 ページ）
[*2] 通信ボックスや複合機本体の操作では初期化できません。子機単体で初期化する必要があります。
[*3] 電話の着信履歴は、通信ボックスや複合機本体で消去しても子機には残ります。

初期化のしかた

先に通信ボックスを初期化し、次に複合機本体を初期化します。同じ初期化メニューを、両機で順序どおりに行わなければお買い上げ時の状態に戻らないため、順序は必ずお守りください。
ただし、RSS 設定リセット（MFC-J860DN/J860DWN のみ）は複合機本体だけで行えます。

確認

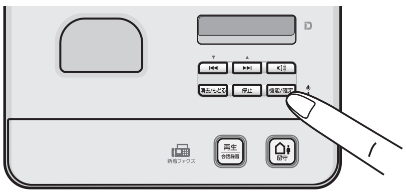
■ 本製品をパソコンに無線 LAN 接続している場合は、次の初期化メニューを実行すると、無線 LAN の設定がすべてリセットされます（⇒ 265 ページ）。

- ネットワークセッテイリセット / ネットワーク設定リセット
- ゼンセッテイリセット / 全設定リセット

この場合は、初期化後、無線 LAN の設定を再度行ってください。
⇒かんたん設置ガイド「パソコンに接続する」

通信ボックス

1 通信ボックスの[機能/確定]を押す



2 [▼]/[▲]で【0. ショキ　セッテイ】を選び、[機能/確定]を押す

3 [▼]/[▲]で【7. セッテイリセット】を選び、[機能/確定]を押す

4 [▼]/[▲]で初期化メニューを選び、[機能/確定]を押す

- 1. キノウセッテイ　リセット
- 2. ネットワークセッテイ　リセット
- 3. ボックスセツゾクリセット
- 4. デンワ＆ファクスリセット
- 5. ゼンセッテイリセット

確認のメッセージ（選んだメニューによって相違）と【▼　リセット　▲　キャンセル】が交互に表示されます。

5 [▼]（リセット）を押す

[▲]（キャンセル）を押すと、初期化されずに 1 階層前に戻ります。

【サイキドウ　シマスカ ?】と【▼　スル　▲　シナイ】が交互に表示されます。

6 [▼]（スル）を押す

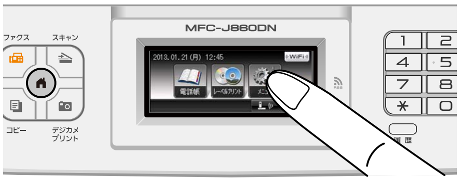
[▲]（シナイ）を押すと、初期化されずに 2 階層前に戻ります。

- 【1. キノウセッテイ　リセット】と【5. ゼンセッテイリセット】を実行した場合：初期化されます。そのあと、電話回線種別の自動設定が始まります。
- 【1. キノウセッテイ　リセット】と【5. ゼンセッテイリセット】以外を実行した場合：自動的に待機状態に戻ります。待機状態になるまで触らずにお待ちください。

通信ボックスの初期化が終わったら、引き続き、複合機本体で同じ初期化メニューを実行してください。

複合機本体

❶【メニュー】を押す



❷【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

❸【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

❹【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、初期化メニューを選ぶ

MFC-J810DN/J810DWN：

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 通信ボックス接続リセット
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

MFC-J860DN/J860DWN：

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 通信ボックス接続リセット
- RSS 設定リセット
- 電話帳＆ファクスリセット
- 全設定リセット

- 【RSS 設定リセット】を選んだ場合：
  ⇒手順❻へ
- 【RSS 設定リセット】以外を選んだ場合：
  先に通信ボックスでリセット操作が実行済みであるかどうかを確認するメッセージが表示されます。まだ通信ボックスで実行していない場合は、【リセットをやめます】を選びます。その場合、いったん初期化は打ち切られます。先に通信ボックスで初期化を実行してください。

❺【はい　実行しました】を押す

【再起動しますか？実行する場合は［はい］を2秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください】と表示されます。
⇒手順❼へ

❻【はい】を押す

❼【はい】を 2 秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待機画面になるまで触らずにお待ちください。
【RSS 設定リセット】を行った場合は、再起動はしません。停止/終了 を押して待機画面に戻ります。

子機の電話帳 / 履歴を消去する

子機電話帳の内容、発信履歴、着信履歴を消去します。

確認

■ 子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。

❶子機の 機能確定 ＊記号1トーン 機能確定 ＊記号1トーン を続けて押す

「コジンジョウホウ ショウキョ？ ／ 1. スル　2. シナイ」と表示されます。

❷ 1ア（スル）を押す

「スベテショウキョ？／ 1. スル　2. シナイ バンゴウニュウリョク」と表示されます。

❸ 1ア（スル）を押す

情報が消去されます。

❹ 切 を押して操作を終了する

子機の電話帳や履歴を削除しても、複合機本体には反映されません。

こんなときは

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属の CD-ROM から、サポートサイトなどの案内メニューを表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

> トップメニューの画面が表示されないときは、「マイ コンピュータ（コンピューター）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 [サービスとサポート] をクリックする

3 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。
- ブラザープリンタースペシャルサイト
  無料素材をダウンロードしたり、お楽しみコンテンツが見られる弊社のウェブサイトを表示します。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 [サービスとサポート] をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする



- NewSoft CD Labeler
  （MFC-J860DN/J860DWN のみ）
  記録ディスクのレーベル面への印刷をサポートするソフトウェアをダウンロードできます。
- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「ソフトウェアダウンロード」から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル中央部で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ファームウェアをインストールするときの注意

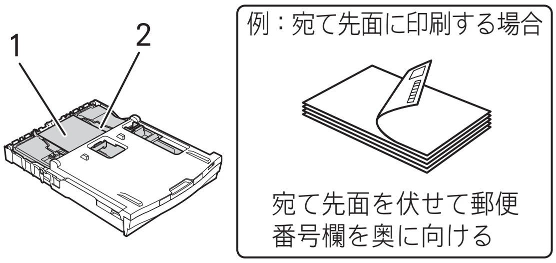
- ファームウェアを更新する際は、通信ボックスと複合機本体が正常に接続している状態で行ってください。
- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの「ファームウェア更新時の注意事項」を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

はがき（年賀状）に印刷するには

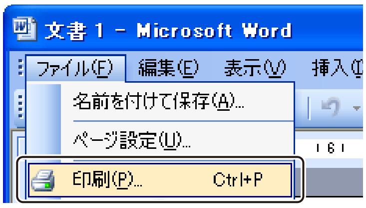
年賀状や暑中見舞いなどのはがきは、スライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）にセットします。印刷手順はお使いの OS やアプリケーションソフトによって異なることがありますが、ここでは基本的な操作方法を説明します。

1 はがき（1）をスライドトレイ（2）にセットする

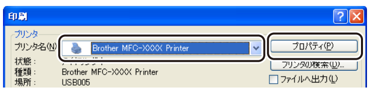
⇒ 44 ページ「スライドトレイにセットする」



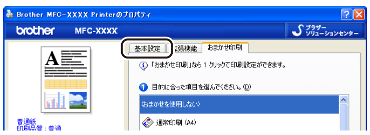
2 パソコンで、はがき用データを作成したアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする



4 ［基本設定］タブをクリックする

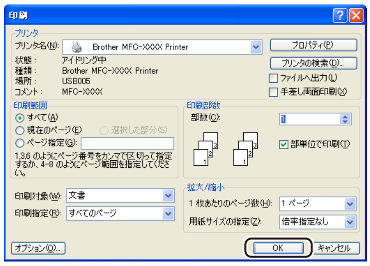


5 ［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、［用紙種類］を［インクジェット紙］、［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。



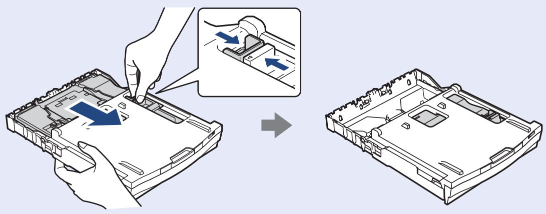
6 ［OK］をクリックする



印刷が始まります。

確認

- 印刷後、はがき、L 判以外のサイズの記録紙に入れかえたときは、リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



- 印刷後、種類やサイズの違う記録紙に入れ替えて印刷するときは、プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

子機を増設する / 登録抹消する

[コキゾウセツ モード]

別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。MFC-J810DWN/J860DWN は 2 台、MFC-J810DN/J860DN は 3 台の子機を増設していただけます。本製品で使用できる子機は最大 4 台です。
使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

- 増設子機（BCL-D110WH（白）、BCL-D110BK（黒））は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイクレクトクラブでお買い求めください。
  ⇒ 325 ページ「消耗品などのご注文について」
- 登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

子機が使用できないときは（臨時着信）

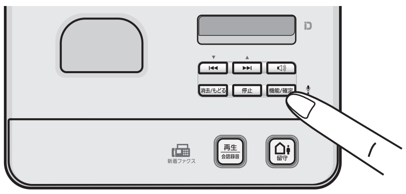
子機のバッテリー切れや紛失、破損などで、一時的に電話が使用できなくなった場合に、本製品には臨時着信機能があります。子機が手元になくても、通信ボックス内蔵のスピーカーとマイクを使って、かかってきた電話に応答することができます。ただし、この機能で電話をかけることはできません。

- 臨時着信には次ページ確認事項のような制約があります。子機を 2 台以上お持ちであれば、別の子機で受けることをお勧めします。
- 巻末に通信ボックス操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

臨時着信準備

通常、着信音は子機から鳴るように設定されています。臨時着信機能を使用するときは、電話がかかってきたことがわかるように、まず、通信ボックスから着信音が鳴るように設定を切り替えます。

1 通信ボックスの [機能/確定] を押す



2 [▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【1. キホン　セッテイ】を選び、[機能/確定] を押す

3 [▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【1. オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【1. チャクシン　オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

5 [▼ ⏮] / [▲ ⏭] で音量を選び、[機能/確定] を押す

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。ここでは、【オフ】以外から選んでください。

6 [▼ ⏮] / [▲ ⏭] で【3. スピーカー　オンリョウ】を選び、[機能/確定] を押す

7 【オフ】以外であることを確認して、[機能/確定] を押す

8 [停止] を押して設定を終了する

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、通信ボックスの [▼ ⏮] と [再生/会話録音] を同時に押す

電話がつながります。

確認

■ 再呼出（⇒ 29 ページ）に切り替わると、この方法で（通信ボックスで）電話に出ることはできません。

2 通信ボックスのマイク（🎤）に向かって話す

スピーカーの音量は [🔊] で大きくできます（3 段階）。

3 通話が終了したら、[再生/会話録音] を押す

電話が切れます。

臨時着信解除

子機が使用可能になったら、⇒ 272 ページ「臨時着信準備」と同じ手順で、通信ボックスの着信音を【オフ】に戻しておきます。

確認

- ■ 通信ボックスと子機の両方から着信音を鳴らすと、キーンという不快な音がするハウリングを起こすため、臨時着信するとき以外は、通信ボックスの着信音は、【オフ】にしてください。
- ■ 臨時着信機能は、停電時には使用できません。
- ■ 臨時着信中の会話録音はできません。通話中に［再生/会話録音］を押すと電話が切れますのでご注意ください。
- ■ 臨時着信中に保留にすることはできません。
- ■ 臨時着信機能を使って内線呼び出しに応答することはできません。
- ■ 臨時着信では、手動ファクス受信、親切受信はできません。
- ■ 臨時着信中は、キャッチホンは受けられません。
- ■ 臨時着信中は、子機への取り次ぎはできません。

停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は複合機本体、通信ボックス、子機のすべてが使用できなくなります。
停電した場合に、保持または消去されるデータは以下のとおりです。

停電になっても消去されないデータ	電話帳（複合機本体 / 子機）、各種登録および設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（複合機本体 / 子機）
停電が数時間続くと消去されるデータ	着信履歴（複合機本体）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、送信メモリー文書

複合機本体のデータ保持のしくみ

本製品は、通信ボックスと子機にバッテリーを搭載しています。そのため、停電になっても数時間はデータを保持しておくことができます。複合機本体にはバッテリーを搭載していないので、「停電が数時間続くと消去されるデータ」であっても、停電直後に消去されてしまいます。しかし、停電が回復して接続再開後 2 分半で、バッテリーを持つ通信ボックスとデータを共有しあうため、通信ボックスのバッテリーによって保持しているデータは復活します。

確認

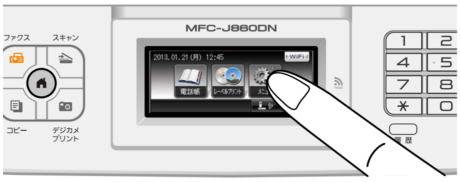
- 日付と時刻は設定し直してください。
  ⇒ 26 ページ「日付と時刻を設定する」
- 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- 通話中やファクスの送受信中に停電になったときは、通信は切断されます。
- 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

本製品のシリアルナンバーを確認する

[製品情報]

複合機本体

1 【メニュー】を押す



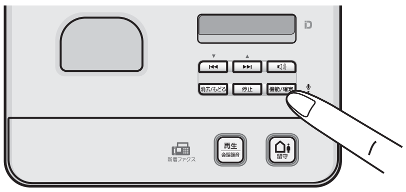
2 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【製品情報】を押す

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 停止 / 終了 を押して確認を終了する

通信ボックス

1 通信ボックスの 機能 / 確定 を押す



2 ▼⏮ / ▲⏭ で【5. セイヒンジョウホウ】を選び、機能 / 確定 を押す

3 ▼⏮ / ▲⏭ で【1. シリアル No.】を選び、機能 / 確定 を押す

画面に、通信ボックスのシリアルナンバーが表示されます。

4 停止 を押して確認を終了する

本製品の設定内容や機能を確認する

［レポート印刷］

複合機本体

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す



3 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【レポート印刷】を押す

4 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ 106 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 115 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ 105 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  複合機本体の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  複合機本体のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  複合機本体の無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒107ページ「着信履歴リストを印刷する」
- 【迷惑リスト】
  迷惑先として指定した電話番号を一覧にします。

5 [モノクロ スタート] を押す

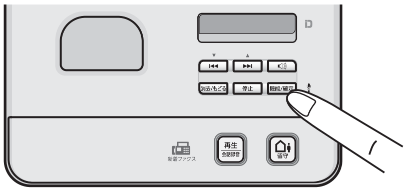
選んだレポートが印刷されます。

6 [停止/終了] を押して操作を終了する

通信ボックス

1 複合機本体に記録紙がセットされていることを確認する

2 通信ボックスの [機能/確定] を押す



3 [▼⏮] / [▲⏭] で【4. レポート　インサツ】を選び、[機能/確定] を押す

4 [▼⏮] / [▲⏭] で印刷したいレポートを選び、[機能/確定] を押す

- 【1. メイワク　リスト】
  迷惑先として指定した電話番号を一覧にします。
- 【2. セッテイナイヨウ　リスト】
  通信ボックスの現在の設定内容を一覧にします。
- 【3. ネットワークセッテイリスト】
  通信ボックスのネットワーク設定状況を一覧にします。

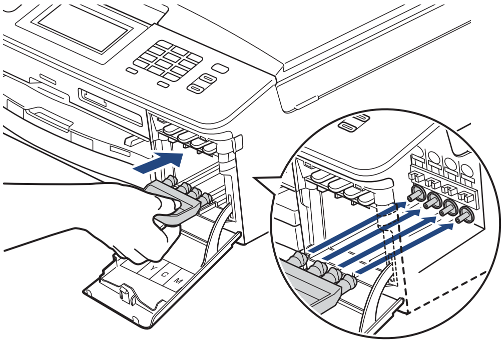
5 [機能/確定] を押す

選んだレポートが、複合機本体で印刷されます。

本製品を輸送するときは

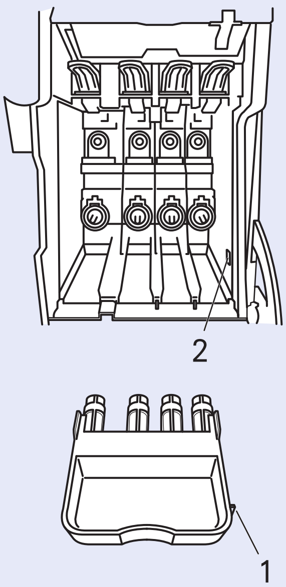
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

● インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。

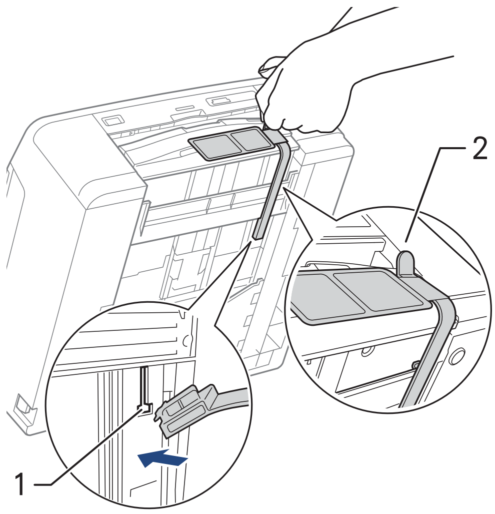


確認

■ 保護部材の突起（1）をカートリッジのセット部内壁の溝（2）にしっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



● 記録紙トレイには、お買い上げ時にセットされていた保護部材を、（1）（2）の順に取り付けてください。保護部材がない場合は、テープなどで固定してください。



● 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。

本製品を廃棄するときは

通信ボックスと子機には、充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。
子機のバッテリーの取り外しかたについては、⇒ 206 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」をご覧ください。

- 被覆ははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端を 1 本ずつテープなどで絶縁し、袋に入れてリサイクル箱へ

Ni-MH

通信ボックスのバッテリーを取り外す

確認

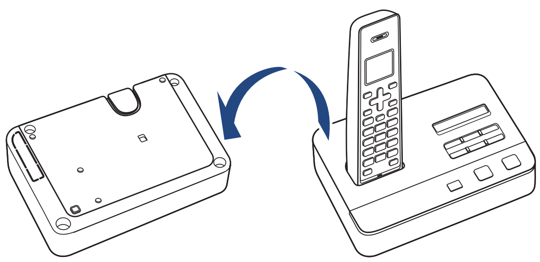
■ 通信ボックスのバッテリーカバー連結部は、切り離すと元に戻せないため、バッテリーの取り外しは廃棄時以外には行わないでください。

1 通信ボックスに保存されているすべての情報を消去する

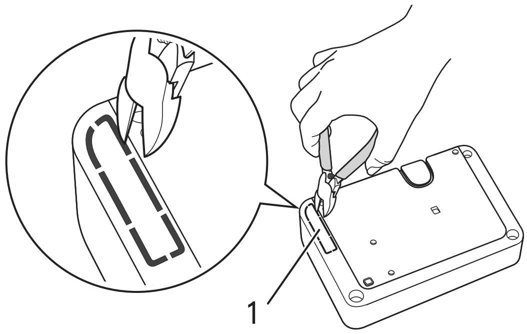
⇒ 266 ページ「通信ボックス」

2 通信ボックスの電源プラグを抜く

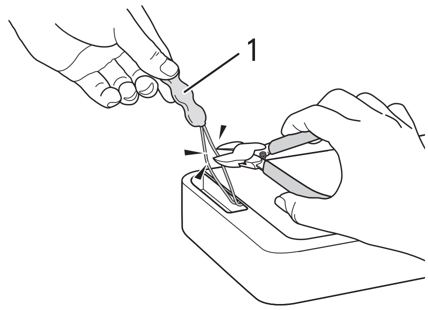
3 子機を外して、通信ボックスを裏返す



4 バッテリーカバー（1）の連結部 6 箇所をニッパーやワイヤーカッターなどを使って切り離す



5 バッテリー（1）を引き出し、コードを切る



6 切り離したバッテリーのコードの先を 1 本ずつテープなどで巻いて絶縁する

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com
- 社団法人 電池工業会
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

付録

文字の入力方法

複合機本体

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ABC】	ABCabc	【TUV】	TUVtuv
【DEF】	DEFdef	【WXYZ】	WXYZwxyz
【GHI】	GHIghi	【;】	;
【JKL】	JKLjkl	【:】	:
【MNO】	MNOmno	【@】	@
【PQRS】	PQRSpqrs	【!】	!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【1】	1	【7】	7
【2】	2	【8】	8
【3】	3	【9】	9
【4】	4	【0】	0
【5】	5	【＊】	＊
【6】	6	【#】	#

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【!?&】	!?&	【,.】	,.
【#$】	#$	【:;】	:;
【+ -】	+ -	【<>】	<>
【=/】	=/	【[ ]】	[ ]
【@% ＊】	@% ＊	【( )】	( )
【" '】	" '	【␣^_】	(スペース) ^_

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
【あア A1 @】 【A1 @】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→英字→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
【×】	選択中の文字を消去します。 【◀】を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。
【◀】【▶】	カーソルを左右に移動します。 同じボタンを続けて入力する場合には、【▶】を押します。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ [*1]	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 [*2]	○	○	○	10

[*1] 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

[*2] 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
【▶】を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【゛゜】を 1 回押す	すず
【か】を 2 回押す	すずき
【変換】を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1 @】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

通信ボックス

通信ボックスでは、画面に表示された選択肢を [▼⏮] / [▲⏭] で選び、[機能/確定] で確定するという方法で入力します。任意で入力できるのは数字と記号（p（ポーズ）を含む）のみです。

入力例

例：暗証番号（⇒ 129 ページ）を「210 ＊」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
[▲⏭] を 3 回押す	2 ー ー ＊
[機能/確定] を 1 回押す	2 ー ー ＊
[▲⏭] を 2 回押す	2 1 ー ＊
[機能/確定] を 1 回押す	2 1 ー ＊
[▲⏭] を 1 回押す	2 1 0 ＊
[機能/確定] を 1 回押す	ウケツケマシタ．

子機

ダイヤルボタンを使って文字や数字を入力します。子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

ボタン	カタカナ	英・数字
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	1
2 カ ABC	カキクケコ	abcABC2
3 サ DEF	サシスセソ	defDEF3
4 タ GHI	タチツテトッ	ghiGHI4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	jklJKL5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	mnoMNO6
7 マ PQRS	マミムメモ	pqrsPQRS7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	tuvTUV8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9
0 ワ	ワヲン、。ー	0
＊ 記号1 ゛゜ トーン	゛ ゜ ー （）/ &	- ( ) / &
# 記号2	（スペース）！ ? @ ＃ ＊ ＋ ＄ ％ . , ｀ ’ : ; _ = < > [ ] ^	

文字の入れかた（機能ボタンの使いかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
カタカナと英数字を切り換える	[文字切替/P] を押す ※押すたびに [カナ]（半角カタカナ）、[英]（アルファベット・数字）が切り替わります。
文字を入れる	[0 ワ] ～ [9 ラ WXYZ]、[＊ 記号1 トーン]、[# 記号2] を押す
電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる	[文字切替/P] を押す
文字を削除する	[十字ボタン] を押して削除したい文字までカーソルを移動し、[クリア 音質] を押す
文字を変更する	[十字ボタン] を押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す
名前の入力時などに文字の間を空ける（スペースを入れる）	[十字ボタン右] を 2 回押す または [# 記号2] を 1 回押す
記号を入力する	入力したい記号ボタン（[＊ 記号1 トーン] または [# 記号2]）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	[十字ボタン右] を押して、カーソルを 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	[機能 確定] を押す

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○[*1]	20 文字
	名前	○	○	11 文字

*1 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは [文字切替/P] で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「スズキ　ケイコ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
[文字切替/P] を押して、[カナ] 入力モードにする	
[3 サ DEF] を 3 回押す	ス
[十字ボタン右] を 1 回押す	ス■
[3 サ DEF] を 3 回押す	スス
[＊ 記号1 トーン] を 1 回押す	スズ_
[2 カ ABC] を 2 回押す	スズ キ
[十字ボタン右] を 2 回押す（または [# 記号2] を 1 回押す）	スズ キ ■
[2 カ ABC] を 4 回押す	スズ キ ケ
[1 ア] を 2 回押す	スズ キ ケイ
[2 カ ABC] を 5 回押す	スズ キ ケイコ

機能一覧

複合機本体の操作パネルやタッチパネル上のボタン、また通信ボックス／子機の操作ボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。それぞれ画面のメッセージに従って操作してください。

複合機本体

みるだけ受信ボタン

みるだけ受信設定時に、操作パネル上のを押して表示される【設定】から、以下の設定が行えます。みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
設定	すべてプリント	メモリー内のすべてのファクスを印刷します。	95 ページ
	すべて消去	メモリー内のすべてのファクスを削除します。	
	みるだけ受信をしない（受信したら印刷）	みるだけ受信を解除します。	

ファクスボタン

操作パネル上のを押して表示される画面で、ファクス送信および関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
履歴		発信／着信履歴を表示します。 ※ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	－	83 ページ
電話帳 / 短縮		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	－	84 ページ
ファクス画質		送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	85 ページ
原稿濃度		原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く	
便利なファクス設定	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	－	88 ページ
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**	81 ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	87 ページ
設定を保持する		変更した設定を保持します。	－	86 ページ
設定をリセットする		設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	

コピーボタン

操作パネル上の［コピー］を押して表示される画面で、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
コピー画質		印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質		139 ページ
記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム		139 ページ
記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判		139 ページ
拡大 / 縮小		コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%**	－	139 ページ
			拡大	240% L 判 ⇒ A4 204%ハガキ ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
			縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
			用紙に合わせる	－	
			カスタム （25 － 400%）	25 － 400（**100**）	
コピー濃度		原稿に合わせて設定します。	－ 2 ／－ 1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2		140 ページ
レイアウト コピー		2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1in1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター（2x1）／ポスター（2x2）／ポスター（3x3）		142 ページ
両面コピー [*1]		両面コピーします。とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	オン	印刷の向き:縦　長辺とじ 印刷の向き:横　長辺とじ 印刷の向き:縦　短辺とじ 印刷の向き:横　短辺とじ	145 ページ
			あんしん設定	**オフ**／あんしん 1 ／あんしん 2	
			オフ		
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。	－		－
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	－		147 ページ
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。	－		148 ページ
	ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするときに、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。	－		149 ページ

[*1] MFC-J860DN/J860DWN のみ

設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
便利なコピー設定	透かしコピー		コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を重ねます。			150 ページ
		テンプレートを使う	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト：**COPY** ／ CONFIDENTIAL ／重要 位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ **I** ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 色：**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄		151 ページ
		スキャン / メディアの画像を使う	スキャンした画像、または、USB フラッシュメモリーやカードから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	スキャン	透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	153 ページ
				メディア	位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	152 ページ
お気に入り設定			コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙タイプ・記録紙サイズ・拡大 / 縮小・コピー濃度・レイアウト コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー「テンプレートを使う」のみ・（MFC-J860DN/J860DWN のみ）両面コピー	保存／名前の変更	お気に入り 1 ／ お気に入り 2 ／ お気に入り 3[*1]	140 ページ
お気に入り			お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／ お気に入り 3[*1]		

[*1] お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

スキャンボタン

操作パネル上の スキャン を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="2">設定内容
（太字：初期設定値）</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td>ファイル：フォルダ保存</td><td>スキャンしたデータをパソコンの指定したフォルダーに保存します。</td><td colspan="2">－</td><td>⇒パソコン活用編</td></tr>
<tr><td rowspan="6">メディア保存</td><td rowspan="6">スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。</td><td>スキャン画質</td><td>カラー 100dpi ／
カラー 200dpi ／
カラー 300dpi ／
カラー 600dpi ／
モノクロ 100dpi ／
モノクロ 200dpi ／
モノクロ 300dpi</td><td rowspan="6">174 ページ</td></tr>
<tr><td>ファイル形式</td><td>スキャン画質でカラーを選択した場合:
PDF ／ JPEG
スキャン画質でモノクロを選択した場合:
TIFF ／ PDF</td></tr>
<tr><td>ファイル名</td><td>－</td></tr>
<tr><td>おまかせ一括スキャン</td><td>オン / オフ</td></tr>
<tr><td>設定を保持する</td><td>－</td></tr>
<tr><td>設定をリセットする</td><td>－</td></tr>
<tr><td>E メール：E メール添付</td><td>スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。</td><td colspan="2">－</td><td rowspan="3">⇒パソコン活用編</td></tr>
<tr><td>OCR：テキストデータ</td><td>スキャンしたデータをテキストに変換してパソコンに保存します。</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>イメージ：PC 表示</td><td>スキャンしたデータをパソコンに保存します。</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>Web サービススキャン [*1]</td><td>スキャンした画像をネットワーク上のパソコンに目的に沿った形式で保存することができます。</td><td colspan="2">スキャン／電子メール用にスキャン／ FAX 用にスキャン／印刷用にスキャン</td><td>⇒パソコン活用編</td></tr>
</table>

[*1] ご利用中のパソコンの OS が Windows Vista®、Windows® 7 の場合にご利用になれる機能です。

デジカメプリントボタン

操作パネル上の［デジカメプリント］を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）			参照ページ
かんたんプリント[*1]	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を簡単な操作でプリントします。自動色補正のみ行えます。 スライドショーの途中でプリントしたい画像があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	（スライドショー　画像個別選択）			170ページ
		（まとめてプリント）	はい／いいえ 100枚目までの画像のプリント枚数をすべて1枚に設定します。設定後自動色補正を行うとすべての画像を一括で補正できます。		169ページ
こだわりプリント[*1]	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。 スライドショーの途中でプリントしたい画像があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	（スライドショー　画像個別選択）	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正[*2] 色あざやか補正[*2] 赤目補正 夜景補正[*2] 逆光補正[*2] ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	167ページ
			トリミング	−	171ページ
インデックスプリント	インデックスシートの印刷または番号を指定して画像のプリントをします。	インデックスシート[*3]		速い／1行6個印刷 きれい／1行5個印刷	165ページ
		番号指定プリント[*1]		−	166ページ

[*1] 画像選択後、プリントする記録紙やサイズなど更に設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。

[*2] 画像を補正した結果を基点に±1色調の変更ができます。

[*3] インデックスシートをプリントする記録紙タイプの設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。

画像プリント前に表示される確認画面の【印刷設定】では、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
プリント画質 *1	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	162 ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／**その他光沢**	162 ページ
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4	162 ページ
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**	
明るさ *2	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	162 ページ
コントラスト *2	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	162 ページ
画質強調 *2	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 **しない**	163 ページ
	<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		
	<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。		
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない	163 ページ
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない	163 ページ
日付印刷 *1	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**	163 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	163 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	163 ページ

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 こだわりプリントの【お好み色補正】では、調整できません。

インデックスシートをプリントするときに【印刷設定】で確認および設定できる内容は以下のとおりです。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢	162 ページ

履歴ボタン

操作パネル上の 履歴 を押して表示される画面で、発信 / 着信履歴を確認できます。また、履歴からファクスを送ったり、そのまま電話帳に登録したりすることもできます。

機能	設定項目		機能説明	参照ページ
発信履歴	ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	83 ページ
着信履歴 *3	設定	電話帳に登録	電話帳に相手先番号と名前を登録します。	112 ページ

*3 ナンバーディスプレイ機能の契約をしている場合は、電話番号と名前（複合機本体の電話帳に登録されている場合のみ）も表示されます。

電話帳ボタン

操作パネル上の 電話帳 または待ち受け画面の【電話帳】を押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
ファクス送信		選んだ相手先にファクスを送信します。	84 ページ
設定	電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	110 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	113 ページ
	変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	111 ページ、114 ページ
	消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	111 ページ、114 ページ
	子機に転送	電話帳に登録されている相手先を子機に転送します。	114 ページ

レーベルプリントボタン（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

待ち受け画面の【レーベルプリント】から、記録ディスクのレーベル面へのコピーや印刷ができます。

設定項目	機能説明	参照
レーベルからコピー	ディスクレーベルを原稿にして、記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
写真からコピー	写真を原稿にして、記録ディスクにコピーします。	
メディアのデータから印刷	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを選んで、記録ディスクに印刷します。	

Wi-Fi 設定用ボタン

待ち受け画面の WiFi を押して表示される画面で無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒かんたん設置ガイド
PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	
WPS(PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編

インクボタン

待ち受け画面の を押して表示される画面で、以下の確認、設定が行えます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照ページ
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	204 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	203 ページ
インク残量	インク残量を確認します。		202 ページ

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
基本設定	モードタイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。「切」を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	切／0 秒／30 秒／1 分／**2 分**／5 分	58 ページ
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／ブラザーBP61 光沢／その他光沢／OHP フィルム	47 ページ
	記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4**／A5／B5／ハガキ／2L 判／L 判	47 ページ
	ボタン確認音量		操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	51 ページ
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	56 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／10 秒／20 秒／**30 秒**	
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／2 分／3 分／**5 分**／10 分／30 分／60 分	59 ページ

● ファクス / 電話

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="3">設定内容
(太字:初期設定値)</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="14">ファクス / 電話</td><td rowspan="7">受信設定</td><td>ファクス無鳴動受信</td><td>電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。</td><td colspan="3">する/しない</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">呼出回数</td><td rowspan="2">在宅モード、留守モードのそれぞれの状況において、電話がかかってきてから本製品が自動で着信するまでの呼出回数を設定します。</td><td colspan="2">在宅モード</td><td>0 ~ 15 /
無制限(7)</td><td rowspan="2">34 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">留守モード</td><td>0 ~ 7 /
トールセーバー(5)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">再呼出設定</td><td rowspan="3">在宅モード時に電話がかかってきた場合の、本製品の応対動作を設定します。【オン】に設定した場合は、再呼出に切り替わるまでの時間と切り替わったあと、ベルが鳴り続けるか、あるいはメッセージを発信するのかを併せて設定します。</td><td rowspan="2">オン</td><td>相手にベル</td><td rowspan="2">20 秒/30 秒/ 40 秒/ 70 秒</td><td rowspan="3">35 ページ</td></tr>
<tr><td>相手にメッセージ</td></tr>
<tr><td colspan="3">オフ</td></tr>
<tr><td>みるだけ受信</td><td>みるだけ受信するかどうかを設定します。</td><td colspan="3">する(画面で確認)/しない(受信したら印刷)</td><td>98 ページ</td></tr>
<tr><td></td><td>親切受信</td><td>自動受信する前に電話を取った場合でも、7 秒後自動的にファクスを受信する機能を設定します。</td><td colspan="3">する/しない</td><td>94 ページ</td></tr>
<tr><td></td><td>自動縮小</td><td>【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかしないかを設定します。</td><td colspan="3">する/しない</td><td>99 ページ</td></tr>
<tr><td></td><td>メモリ受信</td><td>ファクスのメモリー受信の内容を設定します。</td><td colspan="3">オフ/メモリ保持のみ/ PC ファクス受信 *1</td><td>100 ページ
101 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レポート設定</td><td>送信結果レポート</td><td>ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。</td><td colspan="3">オン/オフ</td><td>106 ページ</td></tr>
<tr><td>通信管理レポート</td><td>通信管理レポートの出力間隔を設定します。</td><td colspan="3">レポート出力しない/ 50 件ごと</td><td>105 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファクス出力</td><td>みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。</td><td colspan="3">−</td><td>101 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗証番号</td><td>外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。</td><td colspan="3">−−−*</td><td>129 ページ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">通信待ち一覧</td><td>送信待ちデータなどを確認したり解除したりできます。</td><td colspan="3">−</td><td>107 ページ</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">通信ボックス接続状態</td><td>通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。</td><td colspan="3">−</td><td>78 ページ</td></tr>
</table>

*1 みるだけ受信が設定されていない状態で、【PC ファクス受信】を選ぶと、受信したファクスをパソコンに転送するときに本製品で印刷するかどうかも併せて設定する必要があります。

● **ネットワーク**

本製品をネットワーク環境で使用する場合の設定については、別冊の「かんたん設置ガイド」および付属の CD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　ネットワーク操作編」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）
ネットワーク	TCP/IP	IP 取得方法		IP の取得先を指定します。	Auto／**Static**[*1]／RARP／BOOTP／DHCP
	TCP/IP	IP アドレス		IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	TCP/IP	サブネット マスク		サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	TCP/IP	ゲートウェイ		ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	TCP/IP	ノード名		ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
	TCP/IP	WINS 設定		WINS の解決方法を設定します。	**Auto**／Static
	TCP/IP	WINS サーバ		WINS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
	TCP/IP	DNS サーバ		DNS サーバー（プライマリ／セカンダリ）を設定します。	－
	無線接続ウィザード			無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
	WPS/AOSS			WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
	WPS（PIN コード）			WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
	無線状態	接続状態		無線 LAN の接続状態を表示します。	－
	無線状態	電波状態		無線 LAN の電波状態を 4 段階（強い／普通／弱い／なし）で表示します。	－
	無線状態	SSID		接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	－
	無線状態	通信モード		無線 LAN の通信モードを表示します。	－
	MAC アドレス			MAC アドレスを表示します。	－
	Web 接続設定[*2]	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン / **オフ**
	Web 接続設定[*2]	プロキシ設定	アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－
	Web 接続設定[*2]	プロキシ設定	ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	**8080**
	Web 接続設定[*2]	プロキシ設定	ユーザ名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－
	Web 接続設定[*2]	プロキシ設定	パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	－

*1 ネットワーク利用開始時に、自動的に【DHCP】に切り替わります。

*2 MFC-J860DN/J860DWN のみ

● RSS（MFC-J860DN/J860DWN のみ）

機能	設定項目	機能説明			設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
RSS	RSS	RSS を本製品の待ち受け画面に表示させる／表示させないの設定をします。			オン／**オフ**	185 ページ
	登録サイト	登録されている RSS サイトを一覧表示します。				181 ページ
			メニュー	URL 登録 / 変更	URL を新たに登録、または登録されている RSS サイトの URL を変更します。	
				URL 消去	登録されている RSS サイトを消去します。	
	スクロール速度	待ち受け画面の RSS 表示のスクロール速度を設定します。			速い／**標準**／遅い	189 ページ
	更新間隔	RSS の情報取得間隔を設定します。			**2 時間**／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間、手動更新	182 ページ
	閲覧 PC 設定	コンテンツの概要画面から、パソコンでウェブサイトの表示をするときに、閲覧 PC 設定画面を表示させる／表示させないの設定をします。			(PC リスト表示) ／**閲覧 PC を選択しない**	189 ページ
	RSS ステータス	RSS の取得状態を確認できます。			ー	190 ページ
	RSS 設定リセット	本製品のRSS設定をお買い上げ時の状態に戻します。			ー	181 ページ

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	106 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	115 ページ
	通信管理レポート	現在からさかのぼって、50 件分または最大 200 件分の送・受信結果を印刷します。（印刷できる通信履歴の上限は、通信管理レポートの出力間隔の設定値で決まります。）	105 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	275 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作している無線 LAN の設定内容を印刷します。	275 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	275 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	107 ページ
	迷惑リスト	迷惑指定した電話番号の一覧を印刷します。	275 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	274 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照 ページ
初期設定	時計セット [*1]		画面に表示される現在の日付・時刻（ファクスに記される日付・時刻）を設定します。	ー（**2013/01/01　00：00**）	28 ページ
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：ー 名前：ー	103 ページ
	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ機能の契約状況を設定します。	**あり**／なし	36 ページ
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する／**しない**	75 ページ
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**	
		表示圏外拒否	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**	
		着信拒否モニター	再生中の着信拒否メッセージを、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。	する／**しない**	75 ページ
	キャッチディスプレイ		キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	あり／**なし**	36 ページ
	安心通信モード		通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合に設定を変えます。	**標準**／安心（VoIP）	257 ページ
	ファクス自動再ダイヤル		相手が通話中などの理由でファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	**オン**／オフ	104 ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	263 ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
		通信ボックス接続リセット	通信ボックスと複合機本体の接続方法をお買い上げ時の状態（1 対 1 のアドホック通信）に戻します。	ー	
		RSS 設定リセット [*2]	RSS の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	ー	
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	
	その他	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／**検知しない**	258 ページ
		特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ ISDN ／ PBX	256 ページ
		デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	－
	ディスク印刷位置調整 [*2]		印刷時、「印刷範囲設定」で印刷する画像の位置を調整しても、印刷された画像がディスクからはみ出す場合に、ディスクの初期位置を調整します。上下左右それぞれ 0.1mm 刻みで 2mm まで調整できます。	（**0**）	⇒パソコン活用編

[*1] 通信ボックスを使用せず、複合機本体単体で使用するときは、画面上に日時表示させることができません。

[*2] MFC-J860DN/J860DWN のみ

通信ボックス

通信ボックスの 機能/確定 を押すと、次のメニューが表示されます。

● 基本設定

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
（太字：初期設定値）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1. キホン　セッテイ</td><td rowspan="3">1. オンリョウ</td><td>1. チャクシン　オンリョウ</td><td>臨時着信時など、通信ボックスで着信音を鳴らすときに設定します。</td><td>オフ／ショウ／チュウ／ダイ</td><td>272 ページ</td></tr>
<tr><td>2. ボタンカクニン　オンリョウ</td><td>ボタンを押したときの音量を設定します。</td><td>オフ／ショウ／チュウ／ダイ</td><td>51 ページ</td></tr>
<tr><td>3. スピーカー　オンリョウ</td><td>録音メッセージ再生音量など、通信ボックスのスピーカー音量を設定します。</td><td>オフ／ショウ／チュウ／ダイ</td><td>51 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. エキショウ　コントラスト</td><td>画面に表示される文字の濃さを調整します。</td><td>5 段階（3）</td><td>56 ページ</td></tr>
</table>

● ファクス / デンワ

<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="2">設定内容
（太字：初期設定値）</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="8">2. ファクス / デンワ</td><td rowspan="7">1. ジュシン　セッテイ</td><td>1. ムメイドウ　ジュシン</td><td>電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。</td><td colspan="2">スル／シナイ</td><td>33 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2. ヨビダシ　カイスウ</td><td rowspan="2">在宅モード、留守モードのそれぞれの状況において、電話がかかってきてから本製品が自動で着信するまでの呼出回数を設定します。</td><td>ザイタク モード</td><td>00 ～ 15 ／ムセイゲン（07）</td><td rowspan="2">34 ページ</td></tr>
<tr><td>ルス モード</td><td>00 ～ 07 ／トールセーバー（05）</td></tr>
<tr><td>3. サイ　ヨビダシ　セッテイ</td><td>在宅モード時に電話がかかってきた場合の、本製品の応対動作を設定します。</td><td colspan="2">オン（デンワ　ヨビダシ）／オフ（ファクス　センヨウ）</td><td rowspan="3">35 ページ</td></tr>
<tr><td>（応答のしかた）</td><td>【3. サイヨビダシ　セッテイ】を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定したときの応対動作として、ベルかメッセージのどちらかを選びます。</td><td colspan="2">アイテニ　ベル／アイテニ　メッセージ</td></tr>
<tr><td>（再呼び出し時間）</td><td>【3. サイヨビダシ　セッテイ】を【オン（デンワ　ヨビダシ）】に設定したときの再呼び出し時間を選びます。</td><td colspan="2">20 ビョウ／30 ビョウ／40 ビョウ／70 ビョウ</td></tr>
<tr><td>4. シンセツ　ジュシン</td><td>自動受信する前に電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。</td><td colspan="2">スル／シナイ</td><td>93 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">2. アンショウ　バンゴウ</td><td>外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。</td><td colspan="2">－－－＊</td><td>129 ページ</td></tr>
</table>

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
2. ファクス/デンワ	3. ツウシン　マチ　カクニン		相手が通信中である場合など、本製品で通信待機しているファクスを確認したり、確認後、送信を中止したりできます。	ー		108 ページ
	4. ホリュウメロディ		電話の保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30 (**ハナノワルツ**)		54 ページ
	5. ルスバンデンワ　セッテイ	1. オウトウ　メッセージ	留守モードのとき、かかってきた電話の相手に対する応答メッセージと、在宅モードでも電話に出られないときの応答メッセージをそれぞれ設定します。新たなメッセージを登録しない場合は、本製品で設定されているメッセージが再生されます。	ルス オウトウ 1	オウトウ ロクオン／オウトウ ショウキョ／オウトウ サイセイ	124 ページ
				ルス オウトウ 2		
				ザイタク オウトウ		
		2. ロクオン　ジカン	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。	0 ビョウ（オウトウノミ）／ロクオン 30 ビョウ／**ロクオン 60 ビョウ**／ロクオン 120 ビョウ／ロクオン 180 ビョウ		123 ページ
		3. ルスロク　モニター	電話の相手が残している音声メッセージを、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。	**オン**／オフ		125 ページ
		4. ルスロク　テンソウ	留守モードのときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	オン／**オフ**		132 ページ
	6. メイワク　シテイ	1. チャクシンリレキカラトウロク	次回同じ番号から電話がかかってきても、着信音を鳴らさないようにできます。着信履歴から設定します。いったん設定してもあとから解除できます。	ー		74 ページ
		2. ショウキョ				

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、別冊の「かんたん設置ガイド」および付属のCD-ROM に収録されている「ユーザーズガイド　ネットワーク操作編」をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)
3. ネットワーク	1.IP　シュトクホウホウ		IP の取得先を指定します。	Auto ／ **Static**[*1] ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
	2.IP　アドレス		IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	3. サブネットマスク		サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	4. ゲートウェイ		ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
	5. ムセン　ジョウタイ	1. セツゾクジョウタイ	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
		2. デンパジョウタイ	無線 LAN の電波状態を表示します。	－
		3.SSID	接続先の無線LANのSSID（ネットワーク名）を表示します。	－
		4. ツウシンモード	無線 LAN の通信モードを表示します。	－
	6.MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	0. ネットワークセッテイリセット		無線LANの設定をすべて初期値に戻します。	－

[*1] ネットワーク利用開始時に、自動的に【DHCP】に切り替わります。

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
4. レポート　インサツ	1. メイワク　リスト	迷惑指定した電話番号の一覧を印刷します。	275 ページ
	2. セッテイナイヨウ　リスト	通信ボックスの現在の設定内容の一覧を印刷します。	
	3. ネットワークセッテイリスト	通信ボックスのネットワーク設定内容の一覧を印刷します。	

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
5.セイヒン ジョウホウ	1. シリアル　No.	通信ボックスのシリアルナンバーを表示します。	274 ページ

● サービス

機能		設定項目	機能説明	参照ページ
6. サービス	0. データ　テンソウ	1. ファクス　テンソウ	複合機本体でファクスが印刷できない場合に、待機中のファクスデータを別のファクス機に転送することができます。	229 ページ
		2. レポート　テンソウ	複合機本体でファクスが印刷できない場合に、通信管理レポートを別のファクス機で印刷することができます。	229 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
0. ショキ　セッテイ	1. トケイセット		通信ボックスの日付/時刻を設定します。	ー（**2013/01/01 00:00**）	27 ページ
	2. カイセンシュベツ　セッテイ		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ　カイセン／ダイヤル　10PPS／ダイヤル　20PPS／**ジドウ　セッテイ**	25 ページ
	3. ナンバー　ディスプレイ	1. ナンバー　ディスプレイ	ナンバーディスプレイ機能の契約状況を設定します。	**アリ**／ナシ	36 ページ
		2. ヒツウチ　チャクシンキョヒ	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	スル／**シナイ**	75 ページ
		3. コウシュウデンワキョヒ	公衆電話からの着信を拒否します。	スル／**シナイ**	
		4. ヒョウジケンガイキョヒ	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	スル／**シナイ**	
		5. チャクシンキョヒモニター	再生中の着信拒否メッセージを、スピーカーから聞く（モニターする）かどうかを設定します。	スル／**シナイ**	75 ページ
	4. キャッチディスプレイ		キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	アリ／**ナシ**	36 ページ
	5. コキゾウセツ　モード		機能/確定 にて増設子機（別売り）の ID 登録を開始します。登録後、増設子機が使用できます。		271 ページ
			消去/もどる にてすべての子機の登録を抹消します。個別には行えません。	スル／シナイ	
	6. アンシン　ツウシン　モード		通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合に設定を変えます。	**ヒョウジュン**／アンシン　(VoIP)	257 ページ
	7. セッテイリセット	1. キノウセッテイ　リセット	通信ボックスの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	リセット／キャンセル	266 ページ
		2. ネットワーク　セッテイリセット	通信ボックスのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	リセット／キャンセル	
		3. ボックスセツゾクリセット	通信ボックスと複合機本体の接続方法をお買い上げ時の状態に戻します。	リセット／キャンセル	
		4. デンワ&ファクスリセット	発進元情報や通信履歴など、電話とファクスに関する内容をすべて消去します。	リセット／キャンセル	
		5. ゼンセッテイリセット	通信ボックスのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	リセット／キャンセル	

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照 ページ
0. ショキ　セッテイ	8. ソノタ	1. ダイヤルトーン セッテイ	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	ケンチ　スル／ **ケンチ　シナイ**	258 ページ
		2. トクベツカイセン タイオウ	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**イッパン**／ ISDN ／ PBX	256 ページ
		3. ツウワ　オンシツ チョウセイ	外線通話中に相手の声が聞こえにくいときに設定を変えます。	**セッテイ 1** ／セッテイ 2 ／セッテイ3／セッテイ4	259 ページ
		4. コキ　ツウシン チャンネル	使用環境によって、通話状況が良くないときに設定します。	セッテイ 1 ／セッテイ 2 ／**セッテイ 3**	260 ページ

子機

電話帳ボタン

を押して表示される画面で、電話帳の登録 / 変更が行えます。

設定項目		機能説明	設定内容	参照ページ
デンワチョウトウロク		子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	117 ページ
(ナマエ)	ヘンコウ	電話帳に登録した内容を変更・削除します。	−	117 ページ
	ショウキョ			
	テンソウ	電話帳に登録されている相手先を複合機本体に転送します。		119 ページ

機能ボタン

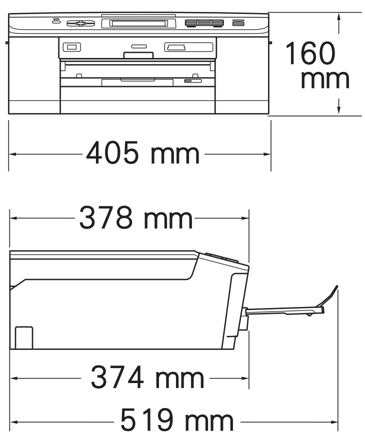
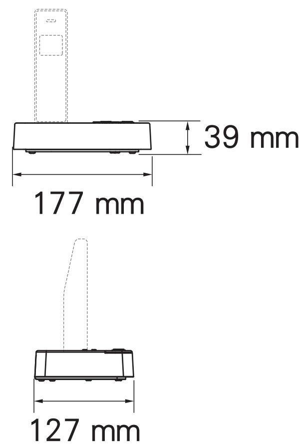
待ち受け状態で を押して表示される画面で、各機能を設定できます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
メイドウオンセッテイ	1. チャクシンオン	着信音を選択します。	**ベル**／アヴェ・マリア／オオキナフルドケイ／ガボット／キラキラボシ／シキヨリ［ハル］／ハナノワルツ	55 ページ
	2. チャクシン ナリワケ	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		74 ページ
	3. ボタンカクニンオン	ボタンを押したときの音を設定します。	**ON** ／ OFF	53 ページ
ハッシンリレキ	1 ケン ショウキョ	発信履歴から 1 件削除します。	−	118 ページ
	ゼンケン ショウキョ	発信履歴の内容をすべて削除します。	−	118 ページ
	デンワチョウトウロク	発信履歴から電話帳に登録します。	−	118 ページ
チャクシンリレキ [*1]	1 ケン ショウキョ	着信履歴から 1 件削除します。	−	118 ページ
	ゼンケン ショウキョ	着信履歴の内容をすべて削除します。	−	118 ページ
	デンワチョウトウロク	着信履歴から電話帳に登録します。	−	118 ページ
ガメンノコントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 〜 7 段階 (4)	57 ページ
トケイセッテイ		現在の日付と時刻を登録します。	−	28 ページ
ツウワパワー		子機の電波環境が悪いときに設定します。	**ヒョウジュン**／ツヨイ	261 ページ
コキ ゾウセツ		増設子機の ID 登録をします。	−	271 ページ

[*1] ナンバーディスプレイ機能の契約をしていない場合は、着信履歴を残すことはできません。

仕様

基本設定

		複合機本体	通信ボックス
記録方式		インクジェット式	
メモリー容量		64MB	32MB
LCD（液晶ディスプレー）		Wide 3.3TFTカラー LCD （Wide 8.3cm/82.8mm TFT Color LCD）	1行16桁
電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力	コピー時	約23W[*1 *2]	
	待機時	約6W[*1]	約3W[*3]
	スリープモード時	約2W[*1]	
	電源OFF時	約0.2W[*1]	
	子機通話時		約3.4W[*4]
	急速充電時		約3.9W[*3]
外形寸法			
本体質量		MFC-J810DN/J810DWN：8.1kg MFC-J860DN/J860DWN：8.2kg **※インクカートリッジを含む**	0.4kg
稼働音	動作時	50dB（A）以下[*5]	
温度	動作時	10～35℃	10～35℃
	最高印刷品質	20～33℃	
湿度 ※結露なきこと	動作時	20～80%	20～80%
	最高印刷品質	20～80%	
原稿サイズ		幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm	

[*1] USB 接続時
[*2] 画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン
[*3] 子機接地、バックライト消灯、LCD 消灯時
[*4] 電波状態により異なる場合があります。
[*5] お使いの機能により数値は変わります。

印刷用紙

給紙	**記録紙トレイ** ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1]、OHPフィルム[*1 *2] ■記録紙サイズ[*3]： A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5、A5、A6、インデックスカード、2L判、はがき、往復はがき、COM-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒 幅：90mm〜215.9mm 長さ：148mm 〜 297mm 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒38ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：最大100 枚（80 g/m^2 普通紙）	
	スライドトレイ ■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙[*1] ■記録紙サイズ[*3]： ポストカード、L判、はがき 幅：89mm〜101.6mm 長さ：127mm 〜 152.4mm 記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒38ページ「使用できる記録紙」 ■最大記録紙容量：20枚（0.25mm以下）	
排紙	最大50枚（80g/m^2普通紙）	

[*1] 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

[*2] OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

[*3] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 38 ページ「使用できる記録紙」

ファクス

型式	ITU-T Group3
通信速度	最大14,400bps（自動フォールバック機能付き）
最大有効読取幅	204mm （A4）
最大有効記録幅	204mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット（256階調） カラー：24ビット（1色につき8ビット/ 256階調)
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85本/mm • ファイン/ 写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm •「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	50件
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 *1	最大400枚
メモリー代行受信（通信ボックス）*1	最大400枚

*1 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー / モノクロ	あり/あり
コピー読み取り幅	最大210mm
連続複写枚数	最大99枚
拡大縮小	25～400（%）
解像度	最高1200dpi×1200dpi
自動両面コピー（MFC-J860DN/J860DWN のみ）	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、A5、JIS B5

デジカメプリント

互換性のあるメディア [*1]		• メモリースティック™ （16MB～128MB） • メモリースティックPRO™ （256MB～32GB） （MagicGate™ の音楽データには対応していません。） • メモリースティック デュオ™ （16MB～128MB） • メモリースティック PROデュオ™ （256MB～32GB） • メモリースティック マイクロ™ （M2™ ）（256MB～32GB） （アダプターが必要です。） • マルチメディアカード （32MB～2GB） • マルチメディアカード plus （128MB～4GB） • マルチメディアカード mobile （64MB～1GB） （アダプターが必要です。） • SDメモリーカード （16MB～2GB） • miniSDカード（16MB～2GB） （アダプターが必要です。） • microSDカード（16MB～2GB） （アダプターが必要です。） • SDHCメモリーカード（4GB～32GB） • miniSDHCカード（4GB～ 32GB） （アダプターが必要です。） • microSDHCカード（4GB～32GB） （アダプターが必要です。） • SDXCメモリーカード（48GB～64GB） • USBフラッシュメモリー [*2]
解像度		最高1200dpi×2400dpi
拡張ファイル	メディアファイルフォーマット	DPOF形式（ver.1.0、ver.1.1）、 EXIF形式/DCF形式（ver. 2.1まで）
	対応画ファイルフォーマット	写真プリント：JPEG[*3]、AVI [*4]、MOV[*4] メディア保存：JPEG、PDF（カラー）、TIFF、PDF（モノクロ）
ふちなし印刷用紙		A4、はがき、2L判、L判[*5]

[*1] メモリーカード、アダプター、USB フラッシュメモリードライブは含まれません。

[*2] USB2.0 規格
16MB ～ 32GB の USB マスストレージ規格
サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

[*3] プログレッシブ JPEG フォーマットには対応していません。

[*4] モーション JPEG のみです。

[*5] 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 38 ページ「使用できる記録紙」

スキャナー

カラー / モノクロ	あり/あり
TWAIN 対応	あり（Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7） （Mac OS X v10.5.8、10.6.ｘ、10.7.ｘ*2）
WIA 対応	あり（Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7）
ICA 対応	あり（Mac OS X v10.6.ｘ、10.7x）
カラー階調	入力：30ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：10ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi（補間）*3 最大1200×2400dpi
スキャナー読み取り幅	横方向：最大210mm 縦方向：最大291mm

*1 Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

*2 Mac OS X の最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）よりダウンロードすることができます。

*3 WIA ドライバー（Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
印刷幅 *1	204mm ［210mm（ふちなし印刷）*2］
ふちなし印刷用紙 *3	A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、はがき、2L判、L判
自動両面印刷（MFC-J860DN/J860DWN のみ）	• 記録紙タイプ：普通紙 • 記録紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、JIS B5、A5、A6、はがき

*1 A4 用紙を印刷した場合。

*2 ふちなし印刷を設定した場合。

*3 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 38 ページ「使用できる記録紙」

インターフェイス

USB[*1*2]	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n

[*1] 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

[*2] サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。

ネットワーク（LAN）

ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-Fax 送信機能、PC-Fax 受信機能（Windows® のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light[*1] も使用できます。

[*1] 高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）から、Brother BRAdmin Professional ユーティリティーの最新バージョンをダウンロードして使用してください。

無線セキュリティー	SSID (32 chr)、WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK （AES）	
無線セットアップサポートユーティリティー	AOSS™	あり
	WPS	あり

コードレス子機

使用周波数	2.40GHz～2.4835GHz
変調方式	周波数ホッピング方式
使用可能距離	見通し距離約100m
充電完了時間	約12時間
使用可能時間（充電完了後）*1	待機状態：約200時間 連続通話：約7時間
使用環境	温度：5℃～35度 湿度：20～80％
電源	DC3.6V（子機用バッテリー使用）
消費電力	－
外形寸法	44（横幅）×29（奥行き）×163（高さ）mm
質量	約150g（子機用バッテリー含む）

*1 お使いの環境によっては短くなることがあります。

充電器（MFC-J810DWN/J860DWN に付属）

使用環境	温度：5℃～35度 湿度：20～80％
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約1.4W（充電中）/ 約0.5W（待機中）
外形寸法	75（横幅）×75（奥行き）×32（高さ）mm
質量	約125g

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th><th rowspan="2">インターフェイス</th><th rowspan="2">CPU/システムメモリー</th><th rowspan="2">必要なメモリー</th><th rowspan="2">推奨メモリー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td rowspan="10">Windows®</td><td>Windows® XP Home*1
Windows® XP Professional*1</td><td rowspan="4">プリント、
PC-FAX*3、
スキャン、
リムーバブルディスク*4</td><td rowspan="4">USB*2、
無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサー相当</td><td>128 MB</td><td>256MB</td><td rowspan="2">150MB</td><td rowspan="2">1GB</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition*1</td><td>64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td><td>256 MB</td><td>512 MB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®*1</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® 4 プロセッサー相当
64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.3GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7*1</td><td>1GB（32 ビット）
2GB（64 ビット）</td><td>1GB（32 ビット）
2GB（64 ビット）</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td rowspan="6">プリント</td><td rowspan="6">無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサー相当</td><td rowspan="3">256 MB</td><td rowspan="3">512 MB</td><td rowspan="6">50MB</td><td rowspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td>64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサー相当</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 R2 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td>64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td><td rowspan="3">512MB</td><td>1GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサー相当
64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）</td><td>64 ビットのプロセッサー（Intel® 64またはAMD64）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Macintosh</td><td>Mac OS X v10.5.8</td><td rowspan="3">プリント、
PC-FAX 送信*3、
スキャン、
リムーバブルディスク*4</td><td rowspan="3">USB*2、
無線 LAN（IEEE 802.11b/g/n）</td><td>PowerPC G4/G5
Intel® プロセッサー</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td rowspan="3">80MB</td><td rowspan="3">550MB</td></tr>
<tr><td>Mac OS X v10.6.x</td><td rowspan="2">Intel® プロセッサー</td><td>1GB</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Mac OS X v10.7.x</td><td>2GB</td></tr>
</table>

*1 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティーを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*4 本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で［リムーバブル ディスク］として使用できます。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

＝あ＝

● **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**
Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**
ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**
ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**
Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**
同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

＝な＝

● **ナンバーディスプレイ**
電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**
受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● **プリンタードライバー**
パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポスターコピー**
1 枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**
ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**
受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**
記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リモートセットアップ**
本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**
外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **ログオン（ログイン）**
パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● **2in1**
2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4in1**
4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話どうしの接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7 で標準サポートされています。

索引

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ろ

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC12BK
イエロー（黄）	LC12Y
シアン（青）	LC12C
マゼンタ（赤）	LC12M
4 個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC12-4PK
黒 2 個パック［ブラック（黒）2 個］	LC12BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ 130 ページ「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「＊」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 無音：音声メッセージはありません。
4. リモコンコード（うら面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

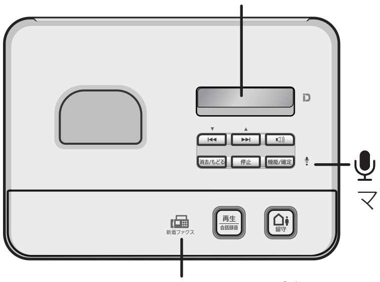
操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※1）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※2）	93

※1：中止するときは 9 を入力してください。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。
◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況のチェック（※3）	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

通信ボックス操作早見表



▼⏮	次項目選択・メッセージ頭出しボタン	▲⏭	前項目選択・メッセージスキップボタン	🔊	音量ダイレクト調整ボタン
消去/もどる	値消去／前画面バック・音声消去ボタン	停止	停止・終了ボタン	機能/確定	機能設定開始・確定ボタン
再生 会話録音	会話（通話）録音・メッセージ一括再生ボタン	留守	留守番機能設定・未再生メッセージ再生ボタン		

ファクス手動受信

		ジュシン　シマスカ？ ↓↑ ▼ ハイ　▲ イイエ	
・・・電話をとったとき、受話口から「ポーポー」（ファクス通信音）と聞こえる・・・	▲⏭ ➡		▼⏮

ファクス受信を知らせるメッセージ表示を止める

フクゴウキ　ニ　テンソウズミ ↓↑ テイシ　ヲ　オシテクダサイ		
・・・（ファクスアイコン）が点滅・・・	停止	・ファクスを受信しました。**新着ファクスを複合機本体で確認してください。** ・点滅が終了しないときは、ユーザーズガイド 基本編「故障かな？と思ったときは」で状況を確認してください。

通信待ち確認

	2. ファクス／デンワ	3. ツウシン　マチ　カクニン	選択（確認する）	
機能/確定 ➡	▼⏮／▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮／▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡	▼⏮／▲⏭ ➡	停止

通信待ち解除

同上	解除する（取りやめる）通信を選択	テイシ ▼ スル ▲ シナイ		
同上	▼⏮／▲⏭ ➡ 機能/確定 ➡		▼⏮ ➡	停止

留守番機能のセット

🔊 留守応答メッセージが再生されます	留守応答メッセージ選択（自分で録音したものがあるとき）	🔊 選択した留守応答メッセージが再生されます	
留守		留守 セット後、留守応答メッセージ再生中に ▼⏮／▲⏭ で留守応答メッセージを選択	（再生終了を待たずにメッセージ確認を終える場合は 停止）

留守番機能の解除

🔊 未再生の留守録メッセージ → 未再生の録音通話の順に再生されます	
留守	▼⏮ で、再生中のメッセージの頭出し　▼⏮ の連続押しで、前のメッセージの頭出し ▲⏭ で、次のメッセージにスキップ　消去/もどる で、再生中のメッセージの削除（再確認されるので再度 消去/もどる）

留守録メッセージ・録音通話の再生／削除

🔊 未再生メッセージがあるとき：未再生の留守録メッセージ → 未再生の録音通話の順に再生されます 未再生メッセージがないとき：全留守録メッセージ → 全録音通話の順に再生されます	
再生 会話録音	▼⏮ で、再生中のメッセージの頭出し　▼⏮ の連続押しで、前のメッセージの頭出し ▲⏭ で、次のメッセージにスキップ　消去/もどる で、再生中のメッセージの削除（再確認されるので再度 消去/もどる）

留守録メッセージ・録音通話の一括削除

	オンセイ　ショウキョ？ ↓↑ ▼ スル　▲ シナイ	
消去/もどる ➡		▼⏮

＜キリトリ線＞

通信ボックス操作早見表

通話録音			
		録音開始 （最大 180 秒）	・通話終了とともに録音も停止 ・通話中に 180 秒が経過すると録音は停止
	・・・通話中・・・	[再生 会話録音]	(180 秒を待たずに録音を終える場合は [停止])

臨時着信 (子機が使えない)			
・・・着信音が鳴っている・・・ ※通信ボックスを使う臨時着信では、再呼出に切り替わると電話に出られません。	▼[⏮] ＋ [再生 会話録音] 同時に押す	相手と通話 [🔊] で、スピーカー音量調整可能	[再生 会話録音] (回線切断)

ここからは各種機能の設定です。設定値は、次に設定変更するまで有効です。

上段：画面
下段：操作

音量

	1. キホン　セッテイ	1. オンリョウ	1. チャクシン　オンリョウ 2. ボタンカクニン　オンリョウ 3. スピーカー　オンリョウ	好みの音量を選択	
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

画面コントラスト

	1. キホン　セッテイ	2. エキショウ　コントラスト	好みのコントラストを選択	
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

親切受信

	2. ファクス / デンワ	1. ジュシン　セッテイ	4. シンセツ　ジュシン	【シンセツ　ジュシン : スル】 【シンセツ　ジュシン : シナイ】	
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

保留メロディ

	2. ファクス / デンワ	4. ホリュウメロディ	好みのメロディを選択	
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

応答メッセージ録音

	2. ファクス / デンワ	5. ルスバンデンワ　セッテイ	1. オウトウ　メッセージ	ルス　オウトウ 1 ルス　オウトウ 2 ザイタク　オウトウ
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →

オウトウ　ロクオン	録音開始	今録音したメッセージが再生される	
▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	マイクに向かって 20 秒以内で話す (20 秒を待たずに録音を終える場合は [停止] →)	(最後まで再生しなくてもいい場合は [停止] →)	[停止]

留守録メッセージ録音時間

	2. ファクス / デンワ	5. ルスバンデンワ　セッテイ	2. ロクオン　ジカン	相手がメッセージを残せる時間を選択	
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

時計設定

	0. ショキ　セッテイ	1. トケイセット	ネン : 20_ _	ツキ : _ _
[機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →

ヒヅケ : _ _	ジコク : _ _ : _ _　「時間」と「分」をおのおの設定 (24 時間制)	
▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] → ▼[⏮]/▲[⏭] → [機能/確定] →	[停止]

＜キリトリ線＞

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
＜お振込み（銀行・郵便）＞・・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振り込み手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 　　　ゆうちょ銀行　振替口座　00860 － 1 － 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収･リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q＆A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からも簡単なサポート情報をみることができます。

サポートサイト

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ブラザーマイポータル

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

050-3786-7712　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス　1年無償保証　SERVICE EXPRESS ブラザー サービス エクスプレス

製品ご購入後1年間無償保証いたします。 ※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
  ※修理の際は故障部位にかかわらず、複合機本体、通信ボックス、子機すべてをいったん回収させていただきます。あらかじめご了承ください。
  ※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。
- 3日以内に修理品を返送。
  弊社到着後、3日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。（印刷物は 2 年です）

brother

ブラザー工業株式会社
〒 467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1